for プロバイダー SOHO

操作マニュアル

次世代フィルタリングテクノロジー「ZBRAIN」搭載製品

はじめに

ごあいさつ

このたびは、デジタルアーツ株式会社の「i-フィルター for プロバイダー SOHO」をお使いいただき、まことにありがとうございます。お使いになる前に本書をよくお読みの上、正しくお使いください。
また、デジタルアーツ株式会社のホームページ（http://www.daj.jp/）でも、「i-フィルター for プロバイダー SOHO」の情報をご提供しています。本書と合わせてご覧いただくことをお勧めします。

「ZBRAIN」（ジーブレイン）は、デジタルアーツ株式会社が培ってきたデータベース収集技術のノウハウと、特許 ※ を取得した Web フィルタリング方式が結実した、独自のフィルタリングテクノロジーです。

※ 日本【特許第 3605343 号】、米国 、アジア、欧州等世界 27 の国と地域で取得

商標・登録商標

デジタルアーツ /DIGITAL ARTS、ZBRAIN、アイフィルター / i-フィルター はデジタルアーツ株式会社の登録商標です。
Microsoft、Windows、Windows 8.1、Windows 8、Windows 7、Windows Vista、Windows XP、Internet Explorerは、米国 Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
Microsoft Corporationのガイドラインに従って画面写真を使用しています。
Celeron は、米国およびその他の国におけるインテル コーポレーションまたはその子会社の商標または登録商標です。
Adobe、Adobe ロゴ、Adobe PDF ロゴ、および Reader は、Adobe Systems Incorporated（アドビ システムズ社）の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
その他、記載されている会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

注意事項

本書の内容の一部または全部について、無断で複写、複製、転載することは禁止されています。
アップデート（バージョンアップ）等に伴い、本文中の内容（画像を含む）は、予告なく変更される場合があります。
対象サイトがすべてブロックされることを保証するものではありません。

i-フィルター / Copyright ©2000-2014 デジタルアーツ株式会社

本書の読みかた

本書で使っている絵記号・略語について、説明しています。

■ 絵記号について

本書で使っている絵記号の意味は、以下のとおりです。

・機能についての注意事項やお使いになる上の制限を説明しています。

・機能についてのメモや便利な使い方を説明しています。

■ 略語について

本書では、以下の略語で表記しています。また、商標、登録商標を省略しています。

・「i-フィルター for プロバイダー SOHO」を「i-フィルター」と表記しています。
・Windows 8.1 Pro、Windows 8.1を Windows 8.1と表記しています。
・Windows 8 Pro、Windows 8を Windows 8と表記しています
・Windows 7 Ultimate、Windows 7 Professional、Windows 7 Home Premium、Windows 7 Starterを Windows 7と表記しています
・Windows Vista Ultimate、Windows Vista Home Premium、Windows Vista Home Basic Windows Vista Businessを Windows Vistaと表記しています。
・Windows XP Professional、Windows XP Home Edition、Windows XP Media Center Edition 2005を Windows XPと表記しています。

目次

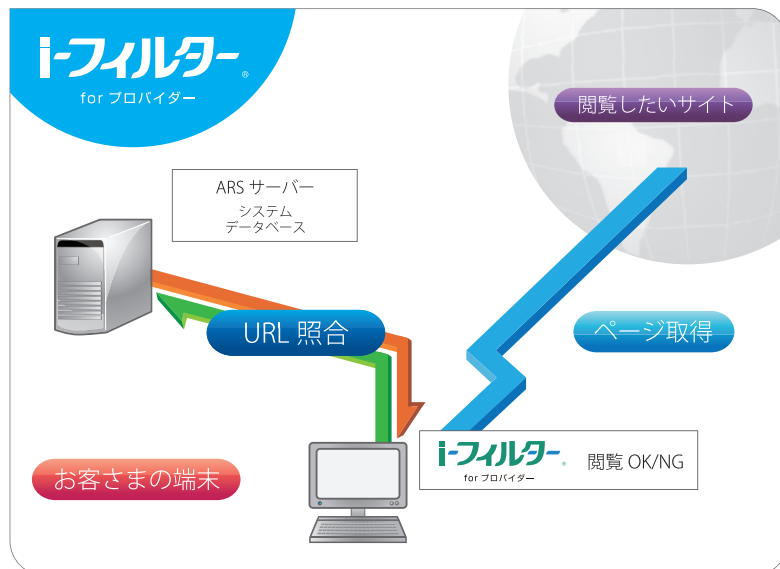
1「i-フィルター」について

「i-フィルター」の概要について説明しています。

「i-フィルター」とは

本製品である「i-フィルター」について説明します。

自由度と信頼性の高いフィルターデータ

「i-フィルター」は、ARS（アクティブレイティングシステム）という方式でフィルタリングを行います。
① お客さまがブラウザー上で見たい URL を指定します。（リンクをクリックする、検索するなど）
② 「i- フィルター」は、その URL を ARS サーバーに送信し、同時にそのサイトへ情報を取得しに行きます。
③ ARS サーバーは、その URL がフィルターデータの「どのカテゴリ」に属するかの情報を返します。
④ お客さまの設定で制限するよう指定されたカテゴリであれば、サイトを表示させません。

フィルタリングしてサイトを表示させなくすることを「ブロックする」と呼びます。
「i-フィルター」では、フィルタリングするために各国の研究成果に基づいたデジタルアーツ株式会社独自の格付け基準（カテゴリ分類）を設けています。そのカテゴリ分類に従って制限をかけたいURLのリストを収集しています。日本では、日本独自のデータ収集を行い、データベースに反映しているのです。数秒、数分の高い頻度で情報が更新されるインターネットで、最新のフィルターデータを入手し、最も適したフィルタリング設定をすることで、安心・安全・快適にインターネットを使えます。
フィルターの詳しい設定方法については、【フィルターを設定しよう】（P.12）をご覧ください。

ビジネスや公共の場にも対応

「i-フィルター」はビジネスや公共の場でも力を発揮します。
例えば、会社員が就業中に会社のパソコンからアダルトサイトやギャンブルサイト、転職情報などを見るのは好ましくありません。「i-フィルター」を使えば、ビジネスに関係のないサイトをブロックすることができ、さらに情報漏洩対策も行えます。また、公共の場に設置したパソコンで、有害サイトにアクセスされるのも問題です。公共施設のサイトや関連したサイトのみを表示するよう設定すれば、本来の用途以外に使われることはありません。
フィルタリングソフトをお使いの約95%以上※の方に「i-フィルター」をお選びいただいています。この実績が皆様に信頼されていることを証明します。　※2012年3月 BCNによるフィルタリングソフト販売実績より

フィルターデータについて

インターネットの情報にフィルターをかけるには、フィルターデータを使います。
フィルターデータは、どのようにつくられているのでしょうか。フィルターデータについて説明します。

日々更新されるフィルターデータ

フィルターデータに登録される見せたくない URLの情報は、精度を重視しています。
毎営業日、日本語・英語・中国語圏の専任スタッフが、完全目視でフィルターのカテゴリ（分類）を確認し、
データベースに登録しています。毎営業日に最新のフィルターデータを手に入れているので、めまぐるしく情報が
更新されるインターネットに、最新のフィルターをかけられます。
詳しくは、【「i-フィルター」を最新の状態にする（データ更新）】（P.91）をご覧ください。

フィルターもカスタマイズ

フィルターは年齢別の推奨設定を選択することもできますが、フィルタリングしたいカテゴリ（分類）をひとつひとつ
選んで設定し、お好みに応じたフィルターをつくることもできます。その他にも、特定の単語を表示させないように
設定したり、インターネット利用時間を制限するなど、さまざまにカスタマイズすることができます。
「i-フィルター」では、きめ細かく自由度の高いフィルターをかけられます。
詳しくは、【フィルターを設定しよう】（P.12）をご覧ください。

フィルターデータ収集言語

「i-フィルター」のフィルターデータ収集言語は日本語、英語および中国語です。ただし、日本語ページ、英語ページ、
中国語ページのすべてに対応しているものではありません。

フィルターデータ追加修正依頼フォーム

「i-フィルター」をご利用いただき、「i-フィルター」が遮断すべき情報を遮断しなかったと感じられた場合、あるいは
遮断すべきではない情報が遮断された場合にはデジタルアーツのウェブサイトの「フィルターデータ追加修正依頼
フォーム」より、情報をご提供ください。
弊社カテゴライズ基準に基づき内容を精査の上、データベースに反映させていただきます。
ただし、お寄せいただいた情報が必ずしもそのまま、またはすべて弊社マスターデータベースに反映されるものでは
ないことを、予めご了承ください。

「i-フィルター」の動作環境について

「i-フィルター」を使うために必要な環境について説明します。

「i-フィルター」を使うには、以下の環境が必要です。

Windows OS （各日本語版）	Windows 8.1 Pro Windows 8.1 Windows 8 Pro Windows 8 Windows 7 Ultimate (Service Pack 1 対応) Windows 7 Professional (Service Pack 1 対応) Windows 7 Home Premium (Service Pack 1 対応) Windows 7 Starter (Service Pack 1 対応) Windows Vista Ultimate (Service Pack 1 以上) Windows Vista Business (Service Pack 1 以上) Windows Vista Home Premium (Service Pack 1 以上) Windows Vista Home Basic (Service Pack 1 以上)	Windows XP Professional(Service Pack 3 以上) Windows XP Home Edition(Service Pack 3 以上) Windows XP Media Center Edition 2005
CPU	1GHz 以上のプロセッサー	Celeron 533MHz 以上
メモリー	1GB 以上	256MB 以上
ハードディスク	120MB 以上の空き容量	
ディスプレイ解像度	800×600（SVGA）以上	
対応ウェブブラウザー	Internet Explorer、FireFox、GoogleChrome、Opera ウェブブラウザーは最新のバージョンを使用してください。	
その他	インターネットに接続できる環境	

注意

- インターネットの設定でプロキシサーバーを設定しているときは、「i-フィルター」でもプロキシサーバーの設定を行ってください。詳しくは、【プロキシサーバーの設定をする】（P.98）をご覧ください。
- ページスキャンフィルター、単語フィルター、個人情報保護機能は Internet Explorerのみ HTTPS（SSLの暗号化通信をHTTPに実装したプロトコル）に対応しております。
- Windows 8.1、Windows 8、Windows 7、Windows Vistaは、32bit版と 64bit版に対応しています。
- OS発売元において同 OSのサポート期間が終了している場合、同 OSに起因する不具合については弊社ではサポート対応ができませんので、予めご了承ください。

2「i-フィルター」を使ってみよう

「i-フィルター」をインストールして、かんたんに使う方法について説明しています。

「i-フィルター」をインストールする

「i-フィルター」をインストールする方法を説明しています。

注意

・インストールするときは、必ず管理者（Administrator）権限で Windowsにログオンしてください。
・必ずインターネットに接続した状態でインストールを行ってください。

1 ほかのアプリケーションを終了させます。

2 ご契約のプロバイダーから指定されたサイトより、インストールプログラムをダウンロードし、デスクトップなどわかりやすい場所に保存します。ダウンロードしたインストールプログラムのファイルをダブルクリック（設定によってはシングルクリック）します。

3 ［かんたんインストール］ボタンをクリックします。

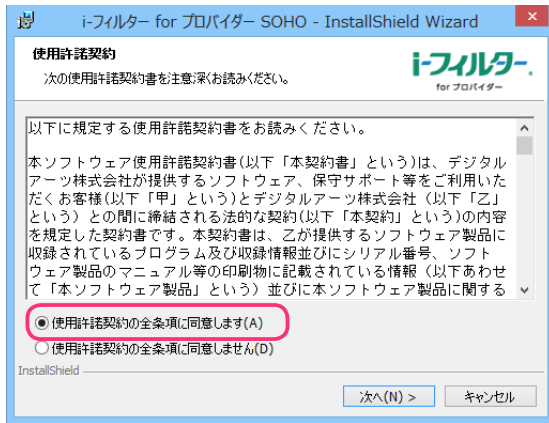
補足

・［詳細インストール］ボタンをクリックすると、インストール先を変えたり、デスクトップに「i-フィルター」のアイコンを表示するかどうかを選べます。通常のインストール先は、「C:¥Program Files¥Digital Arts¥IFAE2」または「C:¥Program Files(x86)¥Digital Arts¥IFAE2」です。
・［操作マニュアルを見る］ボタンをクリックすると、本操作マニュアルが表示されます。
・本操作マニュアルをパソコン上で見られない場合は、Adobe Readerというソフトウェアが必要です。 Get ADOBE READER をクリックして、Adobe Readerをお使いのパソコンにインストールしてください。
・［閉じる］ボタンをクリックすると、インストールを取りやめます。

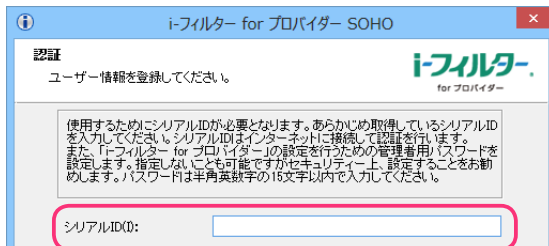
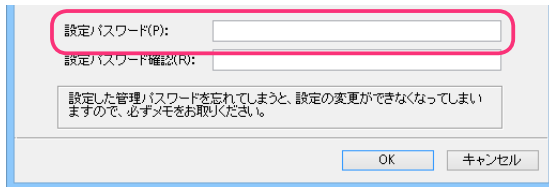
4 「次のプログラムにこのコンピューターへの変更を許可しますか？」というメッセージが表示されたら、［続行］ボタンをクリックします。

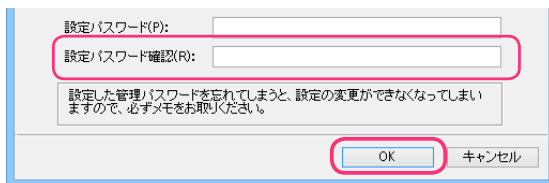
補足

・Windows XPの場合は、この操作は必要ありません。手順 5に進んでください。

5 ［使用許諾契約の全条項に同意します］を選択し、［次へ］ボタンをクリックします。

注意
・使用許諾契約にご同意いただけないと、インストールを続けられません。

6 ［インストール］ボタンをクリックします。

7 シリアル IDを入力します。

注意
・ご契約のプロバイダーによっては、この画面が表示されない場合があります。手順 8に進んでください。
・シリアル IDは、ご契約のプロバイダーより入手してください。

8 ［管理パスワード］に設定したい管理パスワードを入力します。

- 管理パスワードとは､「i-フィルター」の設定を変えたり､利用状況を見るときに使う大切なパスワードです。ほかの利用者に知られないようなパスワードにしてください。
- 管理パスワードは､15字以内の半角英数字を入力してください。
- 管理パスワードは､大文字と小文字が区別されます。
- 管理パスワードを空欄のままでも設定できますが､セキュリティのため、管理パスワードを設定することをお勧めします。

- 「i-フィルター for プロバイダー SOHO」の場合、この操作は必要ありません。手順 10に進んでください。
- 「i-フィルター for プロバイダー SOHO」の場合、管理パスワードは初期設定で「ifadmin」となります。

9 確認のため、設定したい管理パスワードを再度入力し、［OK］ボタンをクリックします。

- 手順 8と同じ管理パスワードを入力してください。

10 ［完了］ボタンをクリックします。

- 「i-フィルター」がインストールされます。通知領域（タスクトレイ）に ⓘ が表示されます。
- インストール後、パソコンを再起動してください。

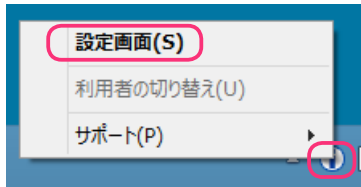
- 通知領域（タスクトレイ）の ⓘ は､「i-フィルター」の機能をすぐに呼び出せるので便利です。
  詳しくは､【通知領域(タスクトレイ）のアイコンを使う】（P.107）をご覧ください。
- 通知領域（タスクトレイ）の ⓘ は、表示させせないよう設定することもできます。
  詳しくは､【通知領域(タスクトレイ）にアイコンを表示する／しない】（P.96）をご覧ください。

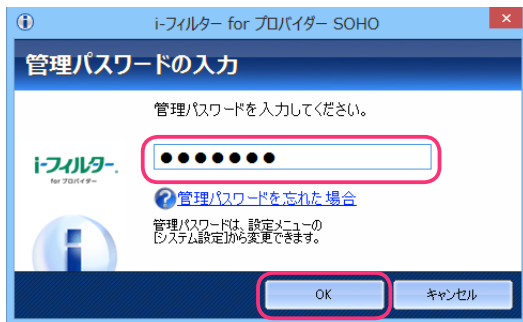
「i-フィルター」を使う

「i-フィルター」の基本的な使い方を説明しています。

設定画面を表示する

「i-フィルター」の設定や利用状況の確認は、設定画面から行います。設定画面の表示方法を説明しています。

1 通知領域（タスクトレイ）の をクリックして、［設定画面］をクリックします。

- 通知領域（タスクトレイ）の をダブルクリックしても同様の操作です。
- 通知領域（タスクトレイ）の は、設定によって表示されないことがあります。
  詳しくは、【通知領域（タスクトレイ）にアイコンを表示する／しない】（P.96）をご覧ください。
- お客さまの設定により通知領域（タスクトレイ）のアイコンが隠れている場合があります。
  通知領域（タスクトレイ）の［△］をクリックし、隠れていたアイコンを表示させてください。
- デスクトップ上の をダブルクリック（設定によってはシングルクリック）しても同様の操作です。

2 管理パスワードの入力画面で、管理パスワードを入力し［OK］ボタンをクリックします。

- 管理パスワードは、大文字と小文字が区別されます。
- 管理パスワードを忘れてしまった場合は、［管理パスワードを忘れた場合］をクリックして、画面の指示に従ってください。詳しくは、【困ったときには（管理パスワード）】（P.117）をご覧ください。
- 「管理パスワードは空（なし）に設定されています。［OK］ボタンをクリックしてください。」と表示されている場合には［OK］ボタンをクリックして先に進めます。

設定画面のトップページが表示されます。

- 設定画面のトップページについて詳しくは、【設定画面のトップページについて】（P.8）をご覧ください。

設定画面のトップページについて

設定画面のトップページでは、以下のことが行えます。

① ［ON］ボタン［OFF］ボタン
「i-フィルター」の機能をオン／オフにできます。
詳しくは、【フィルターをオン／オフする】（P.10）をご覧ください。

② 現在設定されている利用者が表示されます。

③ ［フィルタリング設定］ボタン
フィルターを設定できます。詳しくは、【フィルターを設定しよう】（P.12）をご覧ください。

④ ［インターネット利用状況確認］ボタン
インターネットの利用状況をグラフやランキングで確認できます。
詳しくは、【インターネット利用状況を知ろう】（P.80）をご覧ください。

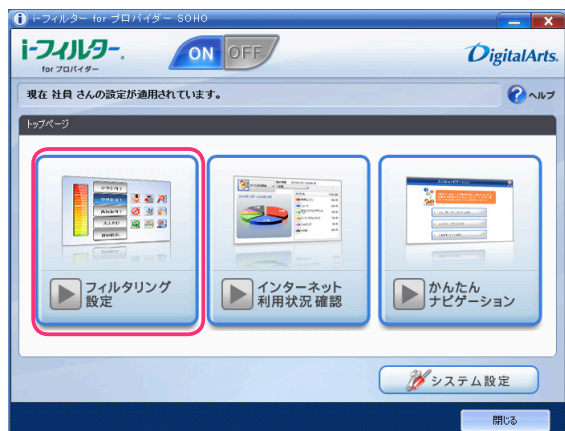
⑤ ［かんたんナビゲーション］ボタン
フィルターの設定方法を目的からかんたんに見つけ出せます。
詳しくは、【かんたんナビゲーションで操作がすぐわかる】（P.11）をご覧ください。

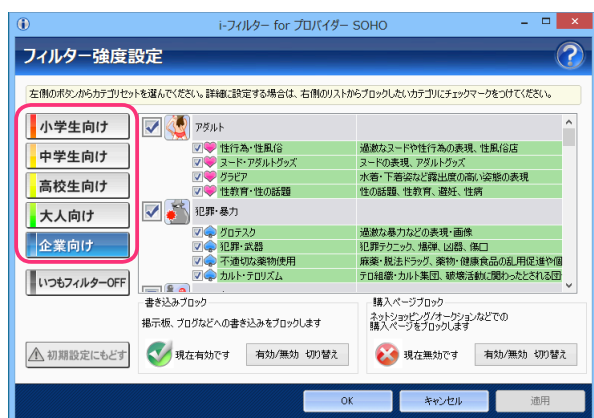
⑥ ［システム設定］ボタン
「i-フィルター」の設定を行います。詳しくは、【「i-フィルター」を使いこなそう（システム設定）】（P.91）をご覧ください。

⑦ ［ヘルプ］ボタン
「i-フィルター」のヘルプを表示します。詳しくは、【ヘルプを見る】（P.108）をご覧ください。

フィルターを設定する

かんたんにフィルターを設定する方法を紹介します。初期設定では「社員」という利用者が登録され、「企業向け」のフィルターが設定されています。「社員」のインターネットへのアクセスに「大人向け」のフィルターをかけるよう設定を変更する方法を説明しています。

1 設定画面のトップページで、[フィルタリング設定] ボタンをクリックします。

2 [フィルター強度設定] ボタンをクリックします。

3 対象となる年代(例:大人向け)をクリックして、[OK] ボタンをクリックします。

補足

・[大人向け] 以外にも、次のカテゴリセットを選ぶことができます。

［小学生向け］	お子さまにも安心してインターネットをお使いいただける環境を整えます。 この設定では、ショッピングや懸賞サイト、ウェブメールなどもブロック対象に含まれます。
［中学生向け］	インターネットの便利な面を利用しつつ、刺激の強い内容はブロックします。 チャットや掲示板など不特定多数とのコミュニケーションもブロック対象に含まれます。
［高校生向け］	情報源としてのインターネットを十分に活用できる環境です。特に刺激の強い内容や、犯罪や暴力、不正 IT 技術に関する内容のほか、SNS や出会いなどのコミュニケーションもブロックされます。
［大人向け］	不正 IT 技術や、特に有害な情報やサイトがブロックされます。
［企業向け］	業務外で使われる可能性の高いサイトがブロックされます。業務の種類によって、業務に使われるカテゴリのチェックマークをはずしてください。

補足

- フィルターの強度を細かく設定することもできます。詳しくは、【フィルター強度を設定する】(P.21) をご覧ください。
- ［いつもフィルター OFF］ボタンをクリックすると、フィルターをかけずにインターネットをお楽しみいただけます。詳しくは【個人情報を守りつつインターネットのアクセスを許可する】(P.24) をご覧ください。
- ［書き込みブロック］で［有効／無効 切り替え］ボタンをクリックして、有効にします を表示させると、掲示板やブログなどで、情報を発信させないよう設定できます。詳しくは、【掲示板・ブログへの書き込みを禁止する】(P.22) をご覧ください。
- ［購入ページブロック］で［有効／無効 切り替え］ボタンをクリックし、有効にします を表示させると、ネットショッピング、オークションなどで購入できないよう設定できます。詳しくは、【ショッピングを禁止する】(P.23) をご覧ください。
- ［初期設定にもどす］ボタンをクリックすると、フィルターの強度設定の各カテゴリセットを初期設定にもどします。

フィルターをオン／オフする

フィルターをかけるには、フィルターをオンにする必要があります。フィルター機能のオン、オフのどちらが設定されているかは、設定画面の上部と通知領域(タスクトレイ) のアイコンにより知ることができます。

オン（青色）：フィルター機能がオンです。

オフ（灰色）：フィルター機能がオフです。

■「i-フィルター」をオフにする

「i-フィルター」の機能を一時的に停止させることができます。

補足

- **いつもフィルター OFFとの違いについては、【教えて !「i-フィルター」】(P.121) をご覧ください。**

1 「i-フィルター」の設定画面で、［OFF］ボタンをクリックします。

「i-フィルター」の機能がオフになります。
「i-フィルター」を再起動することで再び「i-フィルター」の機能がオンになります。

■「i-フィルター」をオンにする

オフ状態の「i-フィルター」の機能を有効にすることができます。

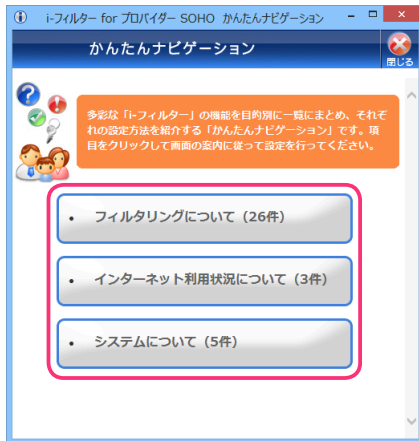
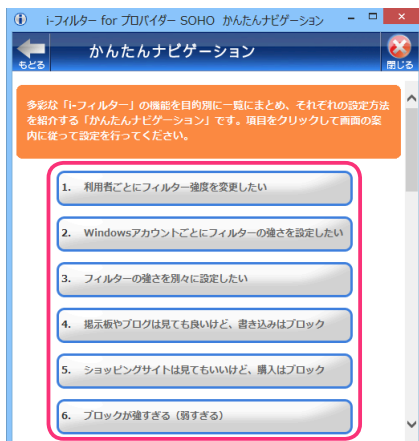
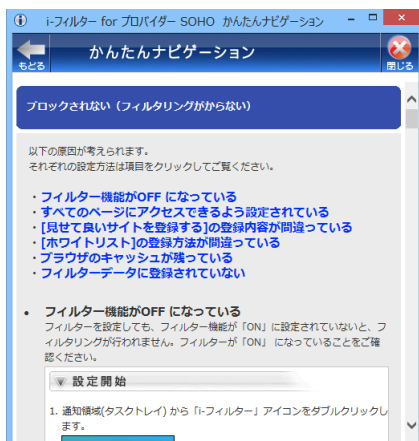
1 「i-フィルター」の設定画面で、［ON］ボタンをクリックします。

「i-フィルター」の機能がオンになります。

かんたんナビゲーション操作ですぐわかる

かんたんナビゲーションでは、目的を選ぶだけで「i-フィルター」の使い方をかんたんに探すことができます。
かんたんナビゲーションを活用して、「i-フィルター」による安心・安全・快適なインターネットをお楽しみください。

1 設定画面のトップページで、［かんたんナビゲーション］ボタンをクリックします。

2 知りたい項目を選びます。

3 目的を選びます。

4 知りたい項目を確認します。

- ［もどる］ボタンをクリックすると、前の画面にもどります。
- ［上へもどる］ボタンをクリックすると、ページの冒頭にもどります。
- ［閉じる］ボタンをクリックすると、かんたんナビゲーション画面が閉じます。

3 フィルターを設定しよう

フィルターを設定する方法を説明しています。

利用者について

複数の人が 1台のパソコンを使うとき、「i-フィルター」は利用者ごとにインターネットアクセスをフィルタリングできます。

「i-フィルター」の利用者とは

複数の利用者で「i-フィルター」を使う方法を説明しています。複数の人が同じパソコンで「i-フィルター」を使うには、2つの方法があります。

① **複数の利用者を作って、Windowsのユーザーアカウントを使い分ける方法**

Windowsのユーザーアカウントと「i-フィルター」の利用者を関連付けることにより、Windowsのログオン時に利用者が切り替わります。この方法で「i-フィルター」を使うには、新たに利用者をつくる必要があります。
詳しくは、【新しい利用者をつくる】をご覧ください。

② **複数の利用者を作って、1つの Windowsユーザーアカウントで使う方法**

Windows起動時は既定で起動するよう設定された利用者で起動されますが、ログオフ／ログオンせずに利用者を切り替えられます。この方法で「i-フィルター」を使うには、新たに利用者をつくる必要があります。
利用者をつくる方法については【新しい利用者をつくる】、フィルターをかける利用者を切り替える方法については【利用者を切り替える】（P.16）をご覧ください。

①の「i-フィルター」の利用者を新たに作って、利用者ごとにフィルターを使い分けることをお勧めします。

Windowsのユーザーアカウントと「i-フィルター」の利用者を関連付ければ、ログオンとともにユーザーアカウントに適したフィルターが自動的にかかります。

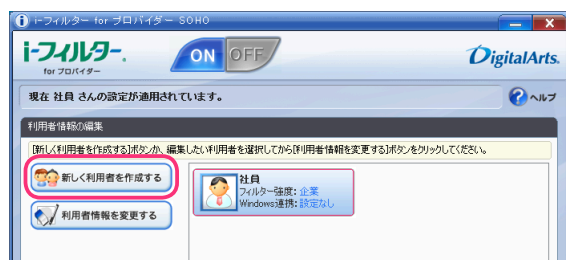
新しい利用者をつくる

複数の人にフィルターを使い分けるには、新しい利用者を作ります(最大 6人まで)。

後から利用者の情報を変えたり（P.15）、削除する（P.18）こともできます。

1 設定画面のトップページで、［フィルタリング設定］ボタンをクリックします。

2 ［利用者の追加・編集・削除］ボタンをクリックします。

3 ［新しく利用者を作成する］ボタンをクリックします。

4 利用者情報の編集ページで、利用者の情報を設定し［次へ］ボタンをクリックします。

設定項目	設定内容
アイコン	[▼] をクリックし、利用者の目印となるアイコンを選びます。 ※6 種類から選べます。
名前	利用者の名前を入力します。 ※ ほかの利用者とは異なる名前を入力してください。 ※ 全角半角を問わず、20 字以内で入力してください。
生年月日（西暦）	利用者の生年月日を入力します。 ※ 年は半角数字で西暦を入力してください。
関連付ける Windows アカウント	Windows のユーザーアカウントと「i- フィルター」の利用者を関連付けるときに設定します。［▼］をクリックし、関連付けたい Windows ユーザーアカウントを選びます。Windows のユーザーアカウントと「i- フィルター」の利用者を関連付けない場合は、「< 関連付けを行わない >」を選びます。

5 利用者に適用するフィルターを設定し、［登録］ボタンをクリックします。

・カテゴリセットのフィルター強度設定については、【フィルターを設定する】(P.9) をご覧ください。

新しい利用者が登録されます。

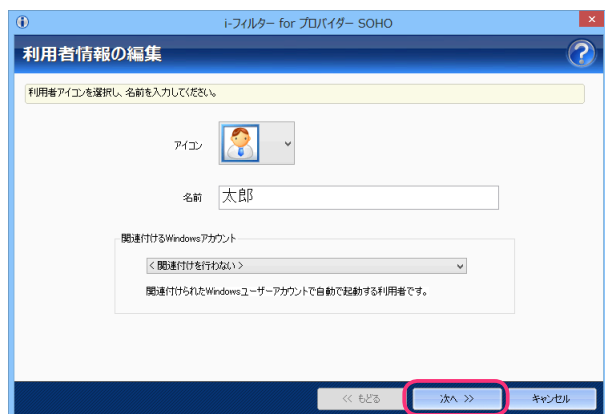
利用者情報を変える

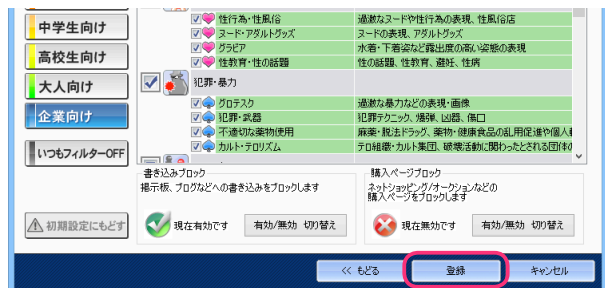
利用者の情報を変えることができます。

1 設定画面のトップページで、［フィルタリング設定］ボタンをクリックします。

2 ［利用者の追加・編集・削除］ボタンをクリックします。

3 情報を変えたい利用者をクリックし、［利用者情報を変更する］ボタンをクリックします。

4 必要に応じて利用者情報を変えて、［次へ］ボタンをクリックします。

・利用者情報の内容については【新しい利用者をつくる】（P.13）の手順 4をご覧ください。

5 必要に応じてフィルターを設定し、［登録］ボタンをクリックします。

・カテゴリセットのフィルター強度設定については【フィルターを設定する】（P.9）をご覧ください。

利用者情報が変わります。

利用者を切り替える

複数の利用者で「i-フィルター」を使っている場合は、利用者を切り替えてフィルターをかけられます。

■「i-フィルター」の設定画面から利用者を切り替える

「i-フィルター」の設定画面から利用者を切り替える方法を説明しています。

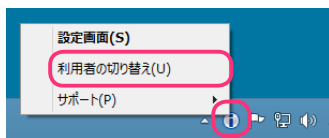
1 設定画面のトップページで、［フィルタリング設定］ボタンをクリックします。

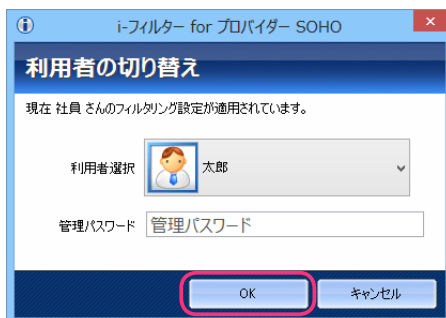
2 ［設定を行う利用者の選択］で、フィルターを使う利用者をクリックします。

フィルターを使う利用者が切り替わります。

■ 通知領域(タスクトレイ)のアイコンから利用者を切り替える

通知領域(タスクトレイ)の ⓘ から利用者を切り替える方法を説明しています。

1 通知領域(タスクトレイ)の ⓘ をクリックし、［利用者の切り替え］をクリックします。

2 ［利用者選択］で［▼］をクリックして、フィルターを使う利用者を選び、［管理パスワード］に管理パスワードを入力して［OK］ボタンをクリックします。

補足

- ［管理パスワード］は、大文字・小文字が区別されます。

フィルターを使う利用者が切り替わります。

起動時の利用者を選ぶ

「Windwos起動時の利用者」を選べます。この利用者を「既定で起動する利用者」と呼びます。既定で起動する利用者は、フィルタリング設定画面で、「既定で起動する利用者」と赤字で表示されます。また、利用者の選択画面では、赤い枠で囲まれて表示されます。

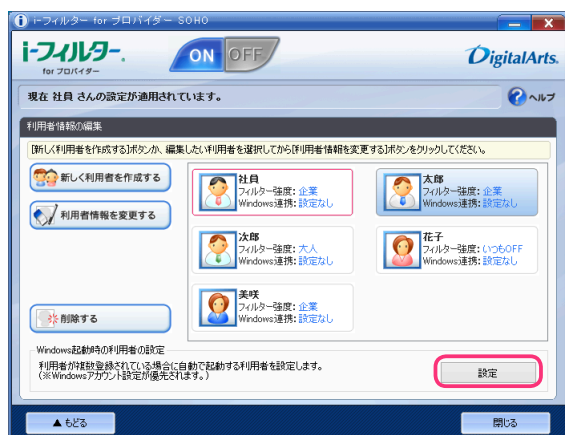
次回、起動時は既定で起動する利用者のフィルターがかかります。

注意

- Windowsのユーザーアカウントと「i-フィルター」の利用者を関連付けている場合は、この設定は適用されません。

1 設定画面のトップページで、[フィルタリング設定] ボタンをクリックします。

2 [利用者の追加・編集・削除] ボタンをクリックします。

3 「Windows 起動時の利用者」に設定する利用者クリックし、[設定] ボタンをクリックします。

利用者が赤い枠で囲まれて表示されます。

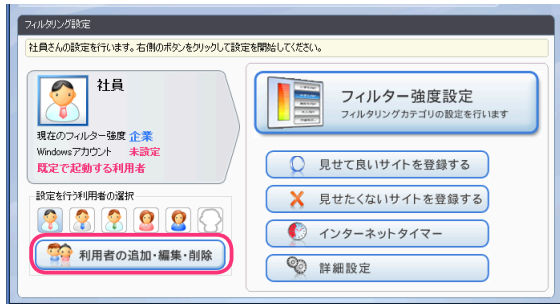
利用者を削除する

利用者を削除することができます。ただし、「i-フィルター」に最初から登録されている「社員」(名前は変えられます)を削除することはできません。

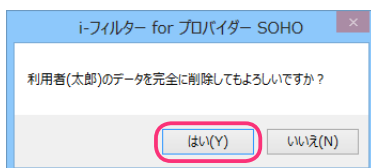
注意

・1度削除した利用者を元にもどすことはできません。

1 設定画面のトップページで、[フィルタリング設定] ボタンをクリックします。

2 [利用者の追加・編集・削除] ボタンをクリックします。

3 削除したい利用者をクリックし、[削除する] ボタンをクリックします。

4 [はい] ボタンをクリックします。

補足

・現在フィルターを使っている利用者を削除すると、「i-フィルター」に最初から登録されている「社員」(名前は変えられます)のフィルタリング設定が適用されます。
・「既定で起動する利用者」に設定されている利用者を削除すると「i-フィルター」に最初から登録されている「社員」(名前は変えられます)に「既定で起動する利用者」を関連付けられます。

利用者が削除されます。

フィルタリング設定のいろいろ

フィルタリング設定はさまざまな方法があります。フィルタリングの方法について説明します。
フィルタリングの方法は、大きく分けて 6つあります。各方法の複数の機能を併用することで、さらに高い精度のフィルター環境を得られます。環境やポリシーに応じたフィルタリング方法をお使いください。
フィルターがかかる優先順位については、【教えて!「i-フィルター」】(P.121) をご覧ください。

① サイトをブロックする方法

- **フィルター強度**
  カテゴリによって見せたくないサイトをブロックできます。カテゴリセットの設定を選ぶことで、年齢に応じたカテゴリに該当するサイトがブロックされます。
  詳しくは【フィルターを設定する】(P.9) 、【フィルター強度を設定する】(P.21) をご覧ください。

- **見せたくないサイト(禁止 URL)**
  見せたくないサイトをブロックします。URLを登録することで独自の見せたくない (禁止 URL) リストをつくることができます。詳しくは 【見せたくないサイトを登録する(禁止 URL)】(P.30) をご覧ください。

- **ページスキャン**
  「i-フィルター」の URLデータベースに登録されていないサイトを独自のフィルタリングエンジンでチェックします。詳しくは【サイトの内容を自動的に判断する (ページスキャンの設定)】(P.57) をご覧ください。

- **見せたくない単語(単語フィルター)**
  指定したサイト内で、登録した単語を探して、該当する単語があったサイトをブロックしたり、伏字にすることができます。詳しくは【見せたくない単語を設定する(単語フィルター)】(P.48) をご覧ください。

- **PICSフィルター**
  PICSとは、ホームページを作った人が自分のコンテンツに規制信号(PICSラベル)を付加することで、受信者がアクセスするかどうかを選べるという機能です。PICSフィルターを使った場合は、アクセス先のサイトにPICSラベルがあるかどうかを読み取って、PICSラベルがあるサイトをブロックします。
  詳しくは【規制信号のあるサイトを見せたくない(PICSフィルター)】(P.58) をご覧ください。

- **検索結果フィルター**
  検索サイトで検索した結果に、ブロック対象サイトを表示させなくできます。
  詳しくは【見せたくないサイトを検索結果に表示させない(検索結果フィルター)】(P.47) をご覧ください。

- **不正操作時の設定**
  「i-フィルター」に対して不正操作が行われた可能性がある際に、自動的にすべてのサイトをブロックするかどうかを設定できます。詳しくは【不正な操作時の設定をする(不正操作時の設定)】(P.77) をご覧ください。

- **接続失敗時の設定**
  ARSサーバーに接続できなかった際に、自動的にすべてのサイトをブロックするかどうかを設定できます。
  詳しくは【ARSサーバー接続に失敗したときの設定をする(接続失敗時の設定)】(P.78) をご覧ください。

② 表示を許可する方法

- **見せて良いサイト(許可 URL)**
  見ても良い URLを見せて良いサイトに登録することで、「i-フィルター」のデータベースでブロックされていても、登録したサイトを見られます。詳しくは【見せて良いサイトを登録する(許可 URL)】(P.25) をご覧ください。

- **いつもフィルター OFF**
  すべてのサイトを見ることができます。ただし、インターネットタイマー、個人情報保護機能は有効にできます。
  詳しくは【個人情報を守りつつインターネットのアクセスを許可する】(P.24) をご覧ください。

③ 情報発信をブロックする方法

- **個人情報の保護**
  個人名や住所、クレジットカード番号などを登録しておくと、掲示板や送信フォームから個人情報を送信しようとしたときに送信をブロックします。詳しくは【個人情報を守る(個人情報保護)】(P.42) をご覧ください。

- **書き込みの禁止**
  掲示板やブログ、SNSやチャットなどから、トラブルが起こったり、個人情報が漏れたりすることもあります。
  コミュニケーションカテゴリ(ウェブメール、ホスティングを除く) に属するサイトでの情報発信を禁止することができます。詳しくは【掲示板・ ブログへの書き込みを禁止する】(P.22) をご覧ください。

- **ショッピングの禁止**
  ショッピングカテゴリや金融・経済カテゴリ（投資情報、不動産を除く）に属する
  サイトでの情報発信を禁止することができます。詳しくは【ショッピングを禁止する】（P.23）をご覧ください。

④ 表示を制限する方法

- **ホワイトリスト**
  URLを登録することで、登録したサイトだけを表示させます。ホワイトリストを使うと、フィルター強度設定、
  見せて良いサイト、見せたくないサイト、検索結果フィルター、単語フィルター、ページスキャン、PICSフィルター、
  ダウンロード禁止は無視されます。詳しくは【登録したサイトだけを見せる（ホワイトリスト）】（P.70）を
  ご覧ください。

⑤ インターネットアクセスを制限する方法

- **インターネットアクセスの日時制限（インターネットタイマー）**
  インターネットにアクセスできる時間を設定できます。曜日と時間を指定してインターネットを禁止する時間帯、
  許可する時間帯をそれぞれ設定できます。また、1日の制限時間を設定することもできます。
  詳しくは【インターネットを使う日時を制限する（インターネットタイマー）】（P.36）をご覧ください。

⑥ ファイルのダウンロードを禁止する方法

- **ダウンロード禁止**
  ファイルの拡張子を指定して、該当するファイルのダウンロードを禁止することができます。
  詳しくは【ファイルをダウンロードさせない（ダウンロード禁止）】（P.59）をご覧ください。

フィルターの強度を設定する

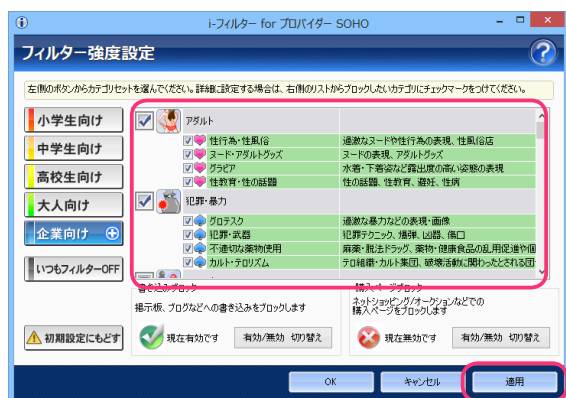
サイトをブロックするためのフィルター強度（カテゴリ）の設定方法を説明しています。

フィルター強度を設定する

フィルター強度（カテゴリ）の設定方法を説明しています。

1 設定画面のトップページで、［フィルタリング設定］ボタンをクリックします。

2 フィルターをかける利用者をクリックし、［フィルター強度設定］ボタンをクリックします。

3 設定したいカテゴリセットをクリックし、必要があればブロックしたいカテゴリにチェックマークをつけて、［OK］ボタンまたは［適用］ボタンをクリックします。

- カテゴリセットのフィルター強度設定については【フィルターを設定する】（P.9）をご覧ください。
- カテゴリの内容については【フィルターのカテゴリ一覧】（P.124）をご覧ください。
- ［いつもフィルター OFF］ボタンをクリックすると、フィルターをかけずにインターネットをお楽しみいただけます。詳しくは【個人情報を守りつつインターネットのアクセスを許可する】（P.24）をご覧ください。
- ［書き込みブロック］で ✔ 有効にします を表示させると、掲示板やブログなどで情報を発信させないよう設定できます。詳しくは【掲示板・ブログへの書き込みを禁止する】（P.22）をご覧ください。
- ［購入ページブロック］で ✔ 有効にします を表示させると、ネットショッピングやオークションなどで購入させないよう設定できます。詳しくは【ショッピングを禁止する】（P.23）をご覧ください。
- ［初期設定にもどす］ボタンをクリックすると、各カテゴリセットの初期設定にもどします。
- ［OK］ボタンをクリックすると、フィルター強度設定画面が閉じます。

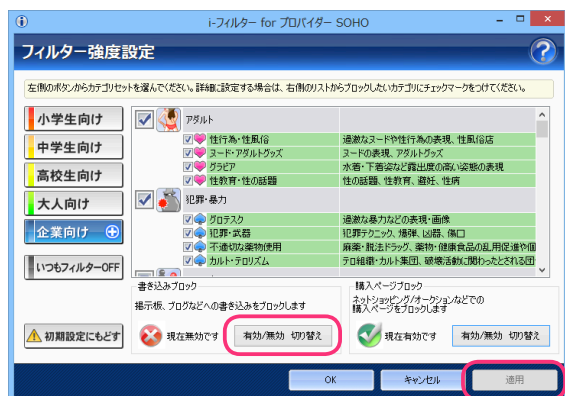
掲示板・ブログへの書き込みを禁止する

掲示板、ブログ、SNS、チャットなど、コミュニケーションカテゴリに属するサイト（ウェブメール、ホスティングを除く）で、情報の発信をすべてブロックすることができます。

1 設定画面のトップページで、［フィルタリング設定］ボタンをクリックします。

2 書き込みを禁止する利用者をクリックし、［フィルター強度設定］ボタンをクリックします。

3 ［書き込みブロック］で［有効／無効 切り替え］ボタンをクリックして、✔有効にします を表示させ、［OK］ボタンまたは［適用］ボタンをクリックします。

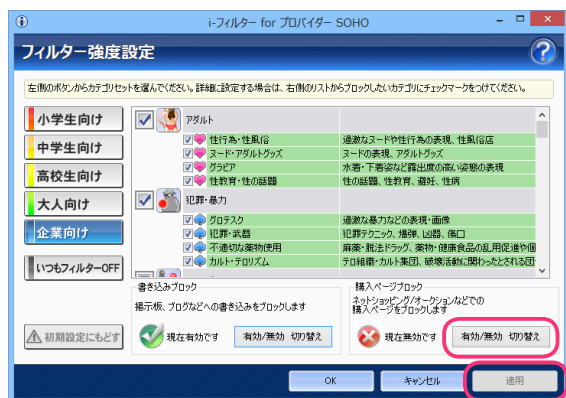
補足

- 書き込みブロックを無効にしたい場合は、［有効／無効 切り替え］ボタンをクリックして、✖無効にします を表示させます。
- この画面で、フィルター強度を設定することができます。詳しくは【フィルター強度を設定する】(P.21) をご覧ください。
- ［いつもフィルター OFF］ボタンをクリックすると、フィルターをかけずにインターネットをお使いいただけます。詳しくは【個人情報を守りつつインターネットのアクセスを許可する】(P.24) をご覧ください。
- ［初期設定にもどす］ボタンをクリックすると、フィルターの強度設定を初期設定にもどします。
- ［OK］ボタンをクリックすると、フィルター強度設定画面が閉じます。

ショッピングを禁止する

ショッピングカテゴリ、または金融･経済カテゴリ（投資情報、不動産を除く）に該当するサイトでの購入操作をブロックすることができます。

1 設定画面のトップページで、［フィルタリング設定］ボタンをクリックします。

2 書き込みを禁止する利用者をクリックし、［フィルター強度設定］ボタンをクリックします。

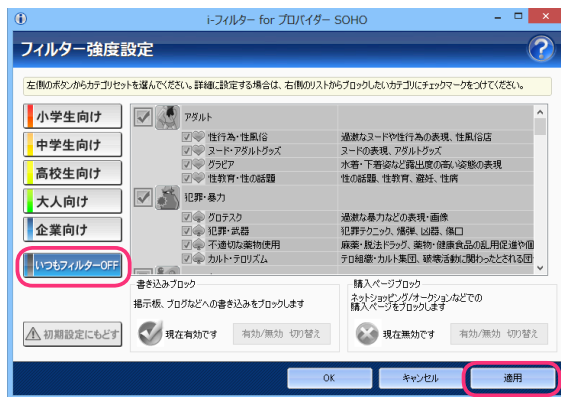
3 ［購入ページブロック］で［有効／無効 切り替え］ボタンをクリックして、✅有効にします を表示させ、［OK］ボタンまたは［適用］ボタンをクリックします。

- 購入ページブロックを無効にしたい場合は、［有効／無効 切り替え］ボタンをクリックして、❌無効にします を表示させます。
- この画面で、フィルター強度を設定することができます。
  詳しくは【フィルター強度を設定する】（P.21）をご覧ください。
- ［いつもフィルター OFF］ボタンをクリックすると、フィルターをかけずにインターネットをお楽しみいただけます。
  詳しくは【個人情報を守りつつインターネットへのアクセスを許可する】（P.24）をご覧ください。
- ［初期設定にもどす］ボタンをクリックすると、フィルター強度設定を初期設定にもどします。
- ［OK］ボタンをクリックすると、フィルター強度設定画面が閉じます。

個人情報を守りつつインターネットのアクセスを許可する

利用者を選んで、すべてのサイトを見ることが許可できます。
いつもフィルター OFFの設定にした場合も、インターネットタイマー、個人情報保護、ブロック画面のフィルター設定は有効です。

1 設定画面のトップページで、［フィルタリング設定］ボタンをクリックします。

2 すべてのサイトを見ることを許可する利用者をクリックし、［フィルター強度設定］ボタンをクリックします。

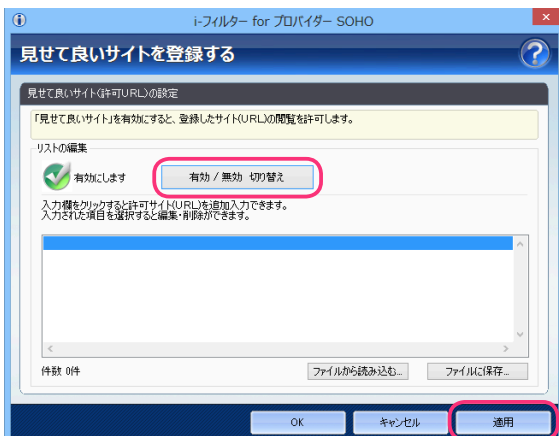
3 ［いつもフィルター OFF］ボタンをクリックして、［OK］ボタンまたは［適用］ボタンをクリックします。

・［OK］ボタンをクリックすると、フィルター強度設定画面が閉じます。

見せて良いサイトを登録する（許可 URL）

ブロックされたサイトを見せて良いサイトとして、アクセスを許可することができます。見せて良いサイトとして登録した URLを、「許可 URL」と呼びます。
見せて良いサイトのリストはすべての利用者で共用しますが、見せて良いサイト機能の有効／無効は、利用者ごとに適用できます。

1 設定画面のトップページで、［フィルタリング設定］ボタンをクリックします。

2 見せて良いサイトを有効にする利用者をクリックし、［見せて良いサイトを登録する］ボタンをクリックします。

3 見せて良いサイトの機能を有効にする場合は、［有効／無効 切り替え］ボタンをクリックして、有効にします を表示させ、［OK］ボタンまたは［適用］ボタンをクリックします。

補足

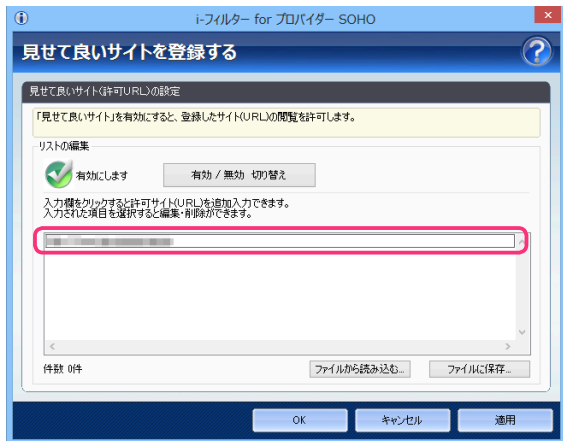
- 見せて良いサイトを無効にしたい場合は、［有効／無効 切り替え］ボタンをクリックして、無効にします を表示させます。
- 入力欄に URLを入力することで、見せて良いサイトを登録できます。
  詳しくは【見せて良いサイトを登録する】をご覧ください。
- ［ファイルから読み込む］ボタンをクリックすると、見せて良いサイトをファイルから読み込めます。
  詳しくは【見せて良いサイトをファイルから読み込む】（P.27）をご覧ください。
- ［ファイルに保存］ボタンをクリックすると、見せて良いサイトをファイルに保存できます。
  詳しくは【見せて良いサイトをファイルに保存する】（P.28）をご覧ください。
- ［OK］ボタンをクリックすると、見せて良いサイトを登録する画面が閉じます。

見せて良いサイトを登録する

見せて良いサイトを登録する手順を説明しています。
見せて良いサイトは、1件につき半角 500文字以内、1000件まで登録できます。

1 設定画面のトップページで、［フィルタリング設定］ボタンをクリックします。

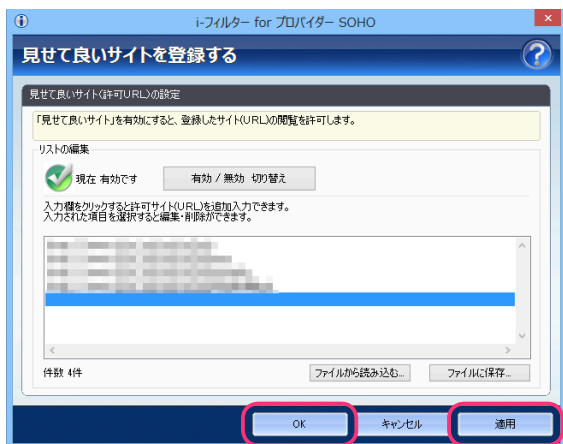
2 ［見せて良いサイトを登録する］ボタンをクリックします。

3 入力欄をクリックし、青く表示された入力欄を再度クリックして、見せて良いサイトの URL を入力します。

注意

- 見せて良いサイトに登録した URLと部分的に一致する URLを持つサイトはすべて表示されます。例えば「www.daj」と登録すると、http://www.daj.jp/ifilter や http://www.daj.co.jp といったサイトは表示されます。
- 見せて良いサイトとして「http」を登録すると、すべてのサイトが表示されます。これはすべてのサイトで「http」を含むためです。
- 「https」ではじまるサイトは、性質上ホスト名しか参照することができません。URLのホスト名の部分のみを入力してください。例えば https://www.daj.jp/ifilter の場合、www.daj.jp と入力します。

補足

- 1件の URLは、半角 500文字以内で入力してください。
- 「?」、「*」をワイルドカードとして使うことはできません。

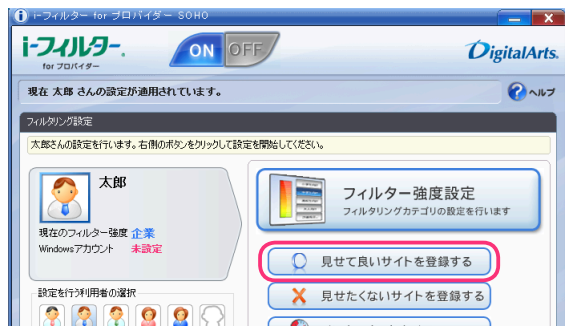
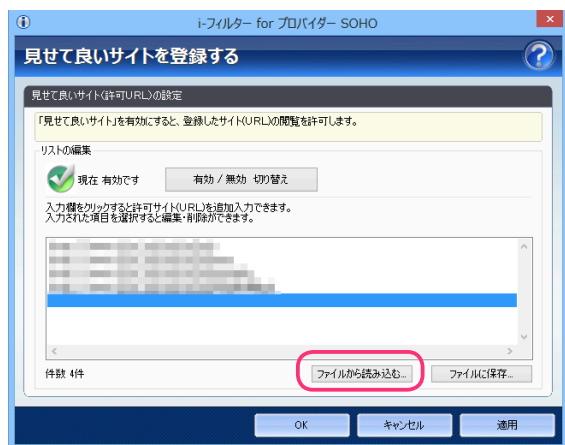
4 必要があれば手順 3 を繰り返し、［OK］ボタンまたは［適用］ボタンをクリックします。

補足

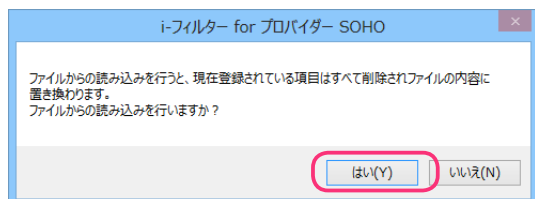
- 1,000件までの見せて良いサイトを登録できます。
- 登録した URLをクリックすると、URLを変えることができます。
- ［キャンセル］ボタンをクリックすると、そのとき追加した URLは削除されます。
- ［OK］ボタンをクリックすると、見せて良いサイトを登録する画面が閉じます。

見せて良いサイトをファイルから読み込む

見せて良いサイトのリストをファイルから読み込むことができます。たくさんのサイトを登録するときに便利です。
あらかじめ URLのリストがテキスト形式で保存されている必要があります。URLは改行で区切ってください。
見せて良いサイトのリストには、1件につき半角 500文字以内、1,000件まで登録できます。

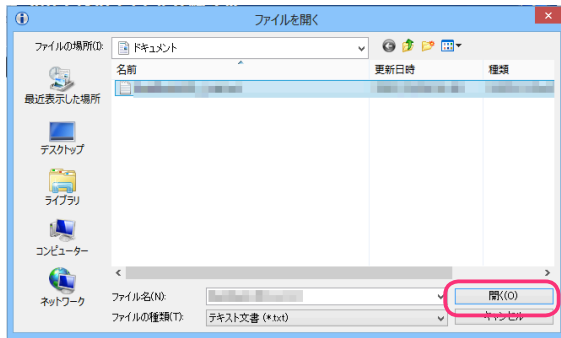
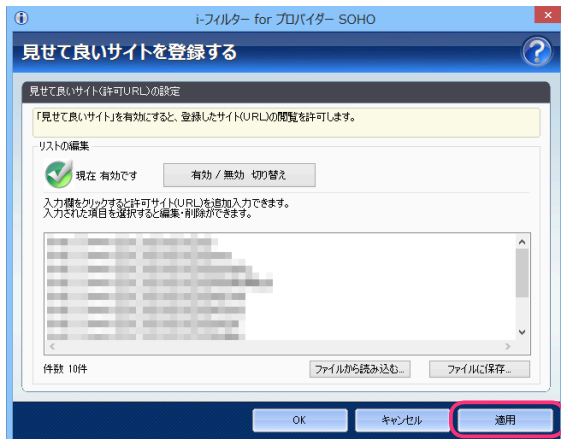
1 設定画面のトップページで、［フィルタリング設定］ボタンをクリックします。

2 ［見せて良いサイトを登録する］ボタンをクリックします。

3 ［ファイルから読み込む］ボタンをクリックします。

- ［ファイルに保存］ボタンをクリックすると、見せて良いサイトをファイルに保存できます。
  詳しくは、【見せて良いサイトをファイルに保存する】(P.28) をご覧ください。

4 以下のメッセージが表示されたら、［はい］をクリックします。

- ファイルからの読み込みを行うと、現在登録されている内容は、すべてファイルの内容に置き換わります。

5 読み込むファイルを指定して、[開く] ボタンをクリックします。

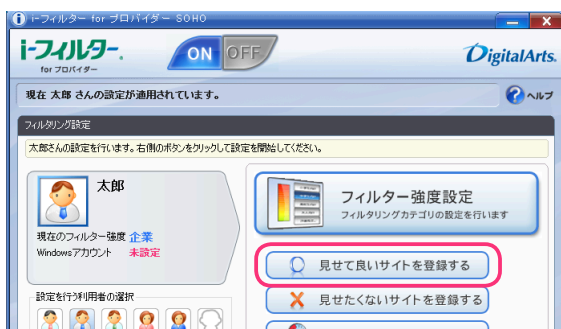
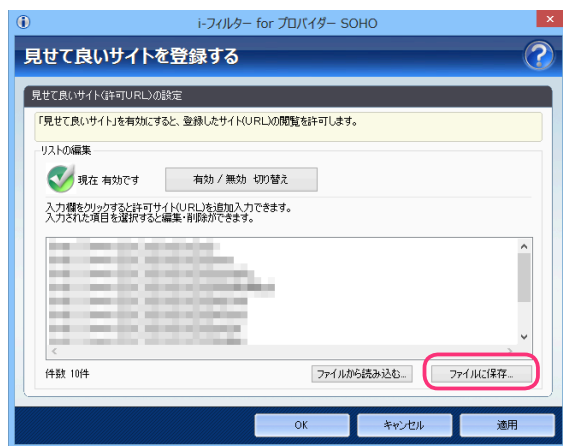
6 [OK] ボタンまたは [適用] ボタンをクリックします。

補足

- [キャンセル] ボタンをクリックすると、ファイルから読み込んだリストは適用されず、元の設定にもどってしまいます。
- [OK] ボタンをクリックすると、見せて良いサイトを登録する画面が閉じます。

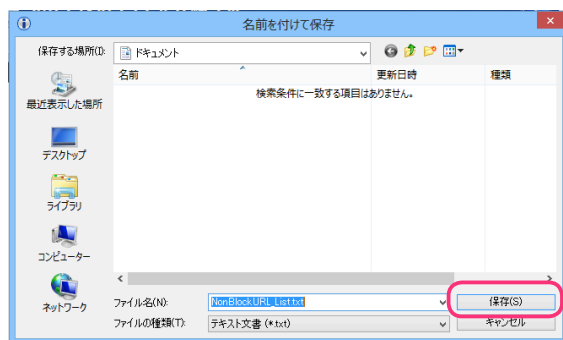
見せて良いサイトをファイルに保存する

見せて良いサイトのリストをファイルに保存することができます。
URLを改行で区切った、テキスト形式で保存されます。

1 設定画面のトップページで、[フィルタリング設定] ボタンをクリックします。

2 [見せて良いサイトを登録する] ボタンをクリックします。

3 ［ファイルに保存］ボタンをクリックします。

補足

•ボタンをクリックすると、見せて良いサイトをファイルから読み込めます。
•詳しくは【見せて良いサイトをファイルから読み込む】(P.27)をご覧ください。

4 保存する場所を指定して、必要があれば［ファイル名］に見せて良いサイトリストのファイル名を入力し、［保存］ボタンをクリックします。

•ファイル名を変えない場合は、「NonBlockURL_List.txt」というファイル名で保存されます。

見せて良いサイトのリストがファイルに保存されます。

見せて良いサイトを削除する

見せて良いサイトから、サイトを削除する手順を説明しています。

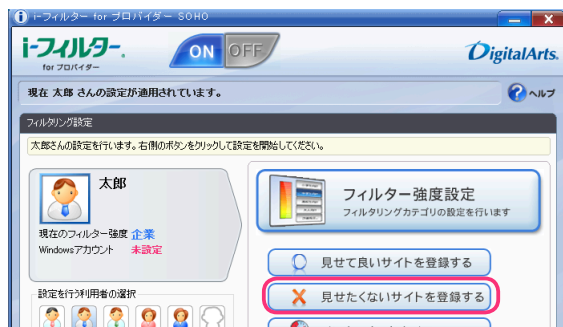
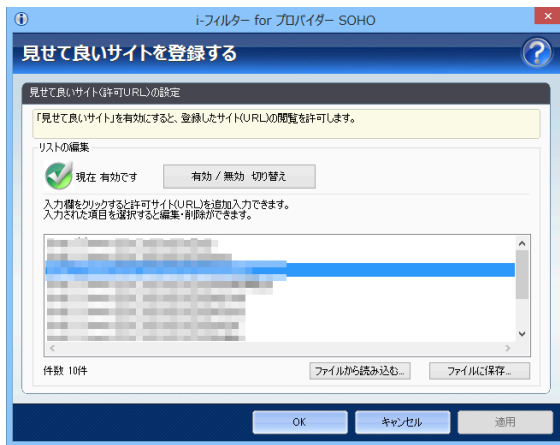
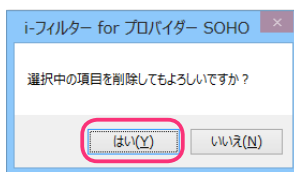
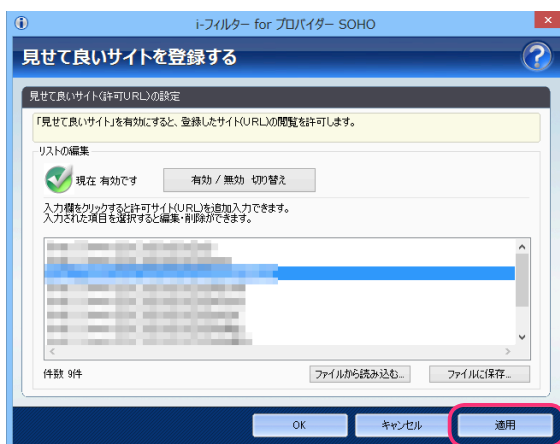
1 設定画面のトップページで、［フィルタリング設定］ボタンをクリックします。

2 ［見せて良いサイトを登録する］ボタンをクリックします。

3 削除したい URL を選び、Delete キーを押します。

4 ［はい］をクリックします。

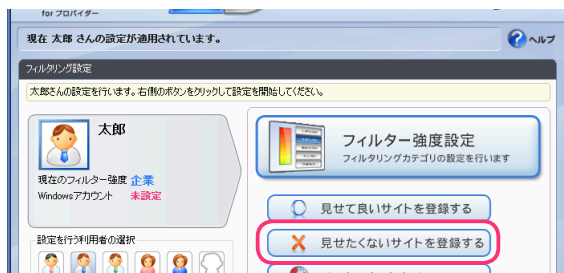
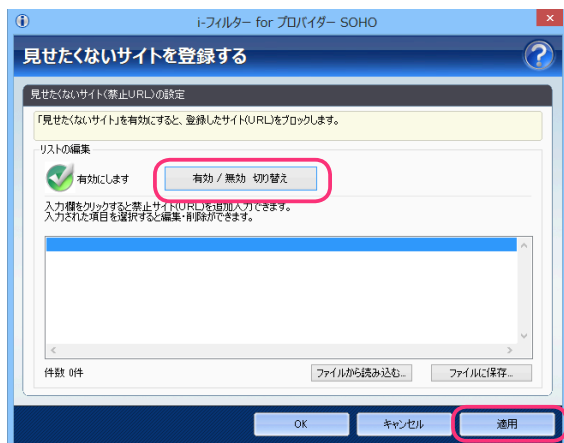
5 必要があれば手順 3、4 を繰り返し、［OK］または［適用］ボタンをクリックします。

補足

- ［キャンセル］ボタンをクリックすると、そのとき削除した URLは、元にもどってしまいます。
- ［OK］ボタンをクリックすると、見せて良いサイトを登録する画面が閉じます。

見せたくないサイトを登録する（禁止 URL）

個別にブロックしたいサイトを、見せたくないサイトとしてブロックすることができます。見せたくないサイトとして登録した URLを「禁止 URL」と呼びます。見せたくないサイトのリストはすべての利用者で共用しますが、見せたくないサイト機能の有効／無効は、利用者ごとに適用できます。

1 設定画面のトップページで、［フィルタリング設定］ボタンをクリックします。

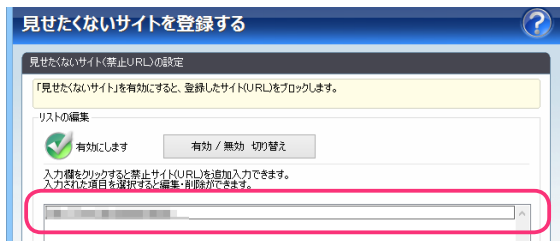
2 見せたくないサイトを有効にする利用者をクリックし、［見せたくないサイトを登録する］ボタンをクリックします。

3 見せたくないサイトの機能を有効にする場合は、［有効／無効 切り替え］ボタンをクリックして、有効にします を表示させ、［OK］ボタンまたは［適用］ボタンをクリックします。

- 見せたくないサイトを無効にしたい場合は、［有効／無効 切り替え］ボタンをクリックして、無効にします を表示させます。
- 入力欄に URLを入力することで、見せたくないサイトを登録できます。
  詳しくは、【見せたくないサイトを登録する】をご覧ください。
- ［ファイルから読み込む］ボタンをクリックすると、見せたくないサイトをファイルから読み込めます。
  詳しくは、【見せたくないサイトをファイルから読み込む】（P.32）をご覧ください。
- ［ファイルに保存］ボタンをクリックすると、見せたくないサイトをファイルに保存できます。
  詳しくは、【見せたくないサイトをファイルに保存する】（P.34）をご覧ください。
- ［OK］ボタンをクリックすると、見せたくないサイトを登録する画面が閉じます。

見せたくないサイトを登録する

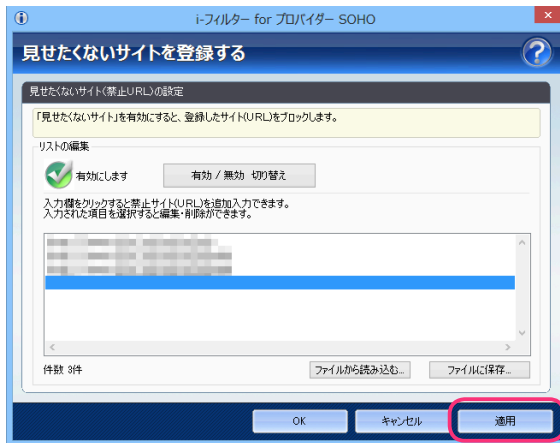
見せたくないサイトを登録する手順を説明しています。見せたくないサイトは、1件につき半角 500文字以内、1,000件まで登録できます。

1 設定画面のトップページで、［フィルタリング設定］ボタンをクリックします。

2 ［見せたくないサイトを登録する］ボタンをクリックします。

3 入力欄をクリックし、青く表示された入力欄を再度クリックして、見せたくないサイトの URL を入力します。

- 見せたくないサイトに登録した URLと部分的に一致する URLを持つサイトはすべてブロックされます。例えば「www.daj」と登録すると、http://www.daj.jp/ifilter や http://www.daj.co.jp といったサイトはブロックされます。
- 見せたくないサイトとして「http」を登録すると、すべてのサイトが表示されなくなります。これはすべてのサイトで「http」を含むためです。
- 「https」ではじまるサイトは、性質上ホスト名しか参照することができません。URLのホスト名の部分のみを入力してください。例えば https://www.daj.jp/ifilter の場合、www.daj.jp と入力します。

- 1件の URLは、半角 500文字以内で入力してください。
- 「?」、「*」をワイルドカードとして使うことはできません。

4 必要があれば手順 3 を繰り返し、[OK] または [適用] ボタンをクリックします。

- 1,000件までの見せたくないサイトを登録できます。
- 登録した URLをクリックすると、URLを変えることができます。
- ［キャンセル］ボタンをクリックすると、そのとき追加した URLは削除されます。
- ［OK］ボタンをクリックすると、見せたくないサイトを登録する画面が閉じます。

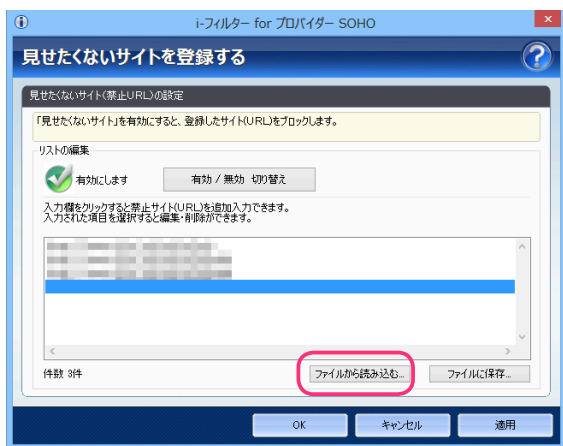
見せたくないサイトをファイルから読み込む

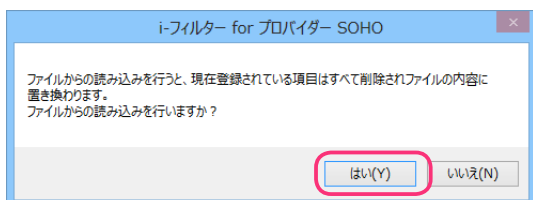
見せたくないサイトのリストをファイルから読み込むことができます。たくさんのサイトを登録するときに便利です。あらかじめ URLのリストがテキスト形式で保存されている必要があります。URLは改行で区切っておいてください。見せたくないサイトのリストには、1件につき半角 500文字以内、1,000件まで登録できます。

1 設定画面のトップページで、［フィルタリング設定］ボタンをクリックします。

2 ［見せたくないサイトを登録する］ボタンをクリックします。

3 ［ファイルから読み込む］ボタンをクリックします。

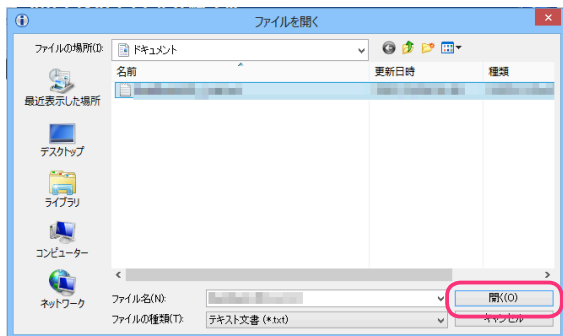
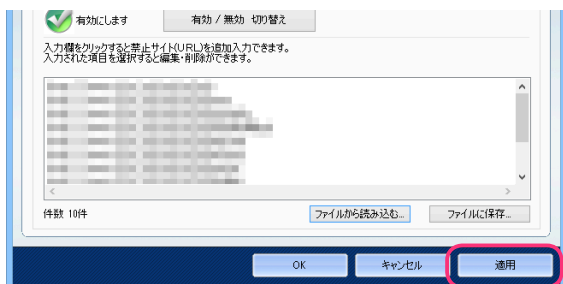
補足

- ［ファイルに保存］ボタンをクリックすると、見せたくないサイトをファイルに保存できます。
  詳しくは、【見せたくないサイトをファイルに保存する】(P.34) をご覧ください。

4 以下のメッセージが表示されたら、［はい］をクリックします。

注意

•ファイルからの読み込みを行うと、現在登録されている内容は、すべてファイルの内容に置き換わります。

5 読み込むファイルを指定して、［開く］ボタンをクリックします。

6 ［OK］ボタンまたは［適用］ボタンをクリックします。

補足

- ［キャンセル］ボタンをクリックすると、ファイルから読み込んだリストは適用されず、元の設定にもどってしまいます。
- ［OK］ボタンをクリックすると、見せたくないサイトを登録する画面が閉じます。

見せたくないサイトをファイルに保存する

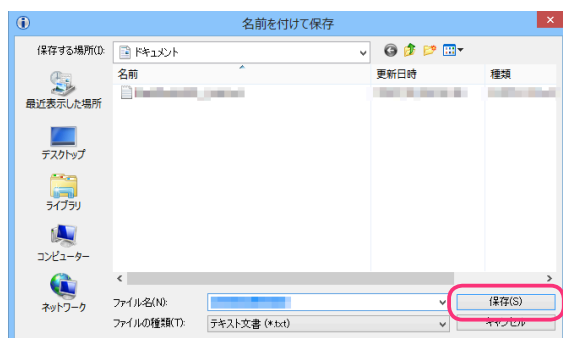
見せたくないサイトのリストをファイルに保存することができます。
URLを改行で区切った、テキスト形式で保存されます。

1 設定画面のトップページで、［フィルタリング設定］ボタンをクリックします。

2 ［見せたくないサイトを登録する］ボタンをクリックします。

3 ［ファイルに保存］ボタンをクリックします。

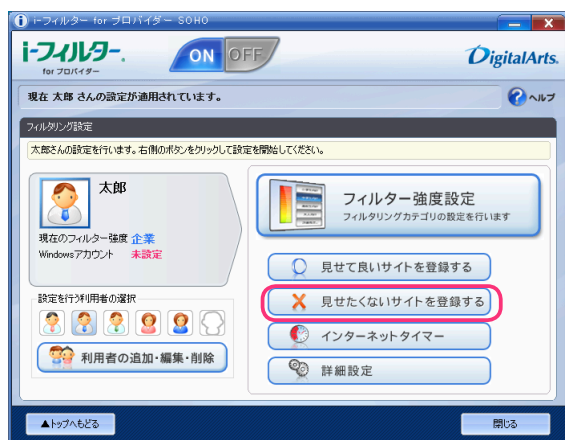
- ［ファイルから読み込む］ボタンをクリックすると、見せたくないサイトをファイルから読み込めます。
  詳しくは、【見せたくないサイトをファイルから読み込む】（P.32）をご覧ください。

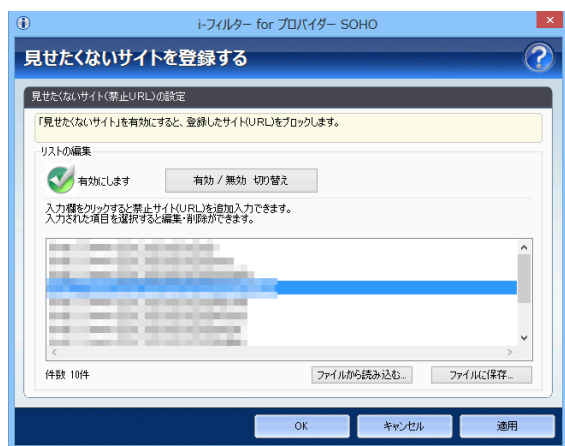
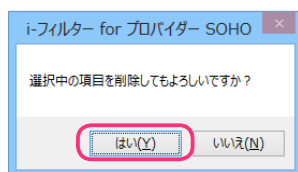
4 保存する場所を指定して、必要があれば［ファイル名］に見せたくないサイトリストのファイル名を入力し、［保存］ボタンをクリックします。

•ファイル名を変えない場合は、「BlockURL_List.txt」というファイル名で保存されます。

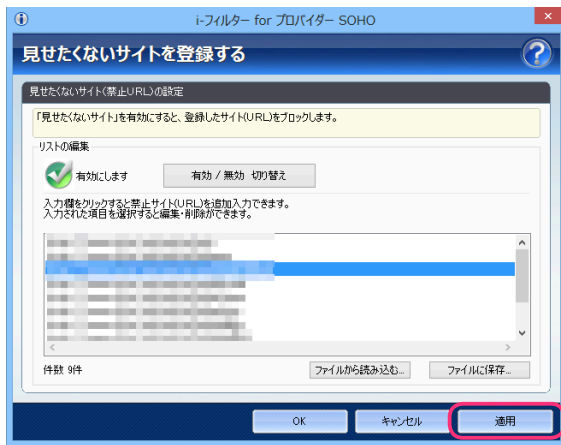
見せたくないサイトのリストがファイルに保存されます。

見せたくないサイトを削除する

見せたくないサイトから、サイトを削除する手順を説明しています。

1 設定画面のトップページで、[フィルタリング設定] ボタンをクリックします。

2 [見せたくないサイトを登録する] ボタンをクリックします。

3 削除したい URL を選び、Delete キーを押します。

4 [はい] をクリックします。

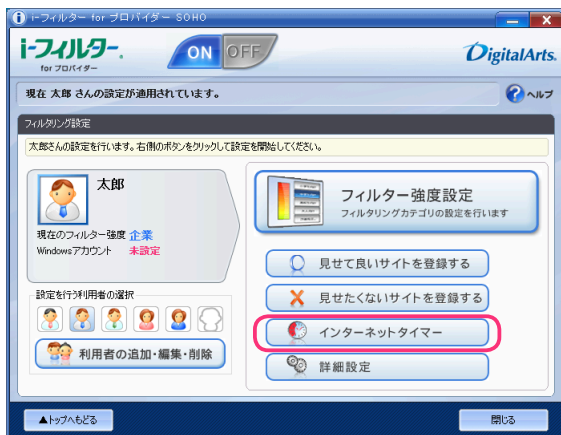
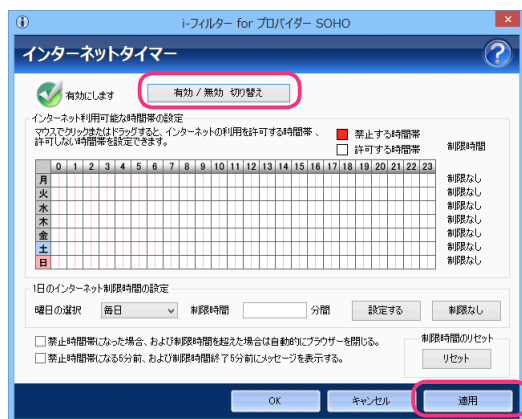
5 必要があれば手順 3、4 を繰り返し、[OK] または [適用] ボタンをクリックします。

- [キャンセル] ボタンをクリックすると、そのとき削除した URLは元にもどってしまいます。
- [OK] ボタンをクリックすると、見せたくないサイトを登録する画面が閉じます。

インターネットを使う日時を制限する（インターネットタイマー）

曜日ごとにインターネットを使える時間帯を設定したり、1日に利用可能な時間を設定することができます。
この機能を「インターネットタイマー」と呼びます。

- インターネットタイマーの設定をした場合、設定内容によってはインターネットに接続できなくなります。
- 「i-フィルター」を管理する利用者には、インターネットタイマーの設定をしないことをお勧めします。

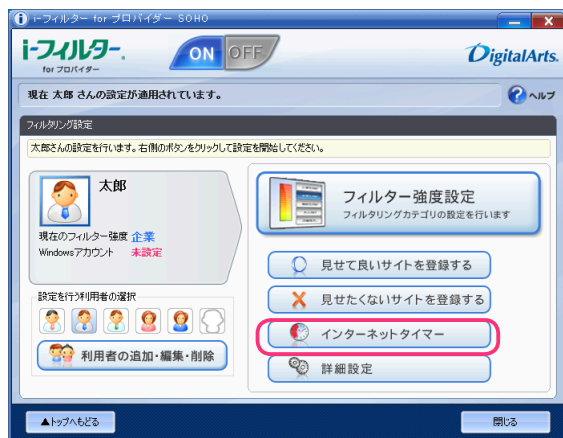
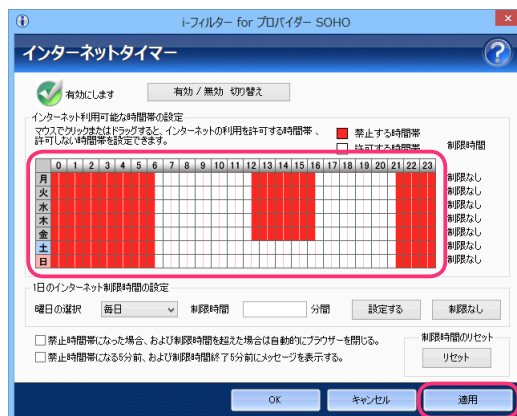
1 設定画面のトップページで、[フィルタリング設定] ボタンをクリックします。

2 インターネットタイマーを設定する利用者をクリックし、[インターネットタイマー] ボタンをクリックします。

3 ［有効／無効 切り替え］ボタンをクリックして、✓有効にします を表示させ、［OK］ボタンまたは［適用］ボタンをクリックします。

- インターネットタイマーを無効にしたい場合は、［有効／無効 切り替え］ボタンをクリックして、無効にします を表示させます。
- ［インターネット利用可能な時間帯の設定］では、曜日ごとにインターネットを使える時間帯を設定できます。詳しくは、【インターネットを使う時間帯を制限する】（P.38）をご覧ください。
- ［1日のインターネット制限時間の設定］では、1日にインターネットを使える時間を制限できます。詳しくは、【インターネットを使う制限時間を設定する】（P.39）をご覧ください。
- ［禁止時間帯になった場合、および制限時間を超えた場合は自動的にブラウザーを閉じる］にチェックマークをつけると、設定した禁止時間帯または制限時間になると自動的にブラウザーが閉じるよう設定できます。このとき、複数のブラウザーを起動していると、ブラウザーを閉じるメッセージが複数回表示されることがあります。
- ［禁止時間帯になる 5分前、および制限時間終了 5分前にメッセージを表示する］にチェックマークをつけると、設定した禁止時間帯または制限時間になる 5分前にメッセージが表示されるよう設定できます。
- ［OK］ボタンをクリックすると、インターネットの利用時間を設定する画面が閉じます。

インターネットを使う時間帯を制限する

曜日ごとに、インターネットを使える時間帯を制限することができます。例えば、20時から 8時までは インターネットを禁止することで、深夜に使われるのを防げます。

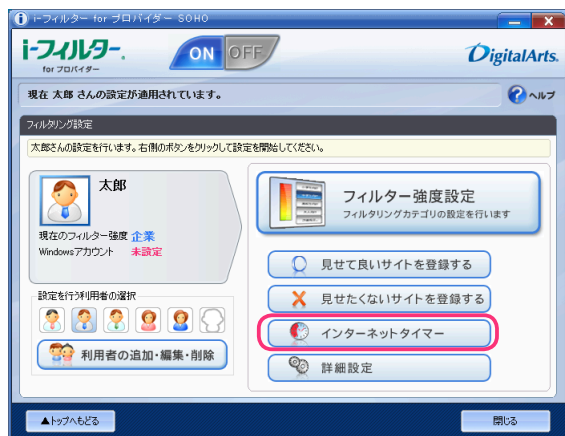
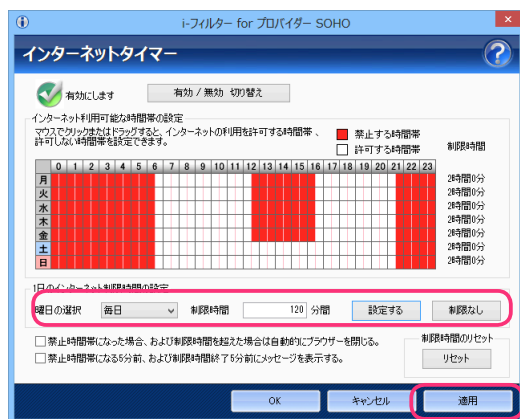
1 設定画面のトップページで、［フィルタリング設定］ボタンをクリックします。

2 インターネットタイマーを設定する利用者をクリックし、［インターネットタイマー］ボタンをクリックします。

3 ［インターネット利用可能な時間帯の設定］で、インターネットを禁止／許可する時間を設定し、［OK］ボタンまたは［適用］ボタンをクリックします。

- ［インターネット利用可能な時間帯の設定］で時間帯をクリックまたはドラッグすると、［禁止する時間帯］と［許可する時間帯］の設定が切り替わります。赤色が禁止する時間帯、白色が許可する時間帯です。
- 禁止／許可する時間帯は、30分単位で設定できます。
- 禁止／許可する時間帯は、曜日ごとに設定できます。
- インターネットアクセスを遮断する場合は、表のすべてをクリックまたはドラッグして赤色にし禁止設定にします。
- ［1日のインターネット制限時間の設定］では、1日にインターネットを使える時間を制限できます。
- ［禁止時間帯になった場合、および制限時間を超えた場合は自動的にブラウザーを閉じる］にチェックマークをつけると、設定した禁止時間帯または制限時間になると自動的にブラウザーが閉じるよう設定できます。
  このとき、複数のブラウザーを起動していると、ブラウザーを閉じるメッセージが複数回表示されることがあります。
- ［禁止時間帯になる 5分前、および制限時間終了 5分前にメッセージを表示する］にチェックマークをつけると、設定した禁止時間帯または制限時間になる 5分前にメッセージが表示されるよう設定できます。
- ［OK］ボタンをクリックすると、インターネットタイマー画面が閉じます。

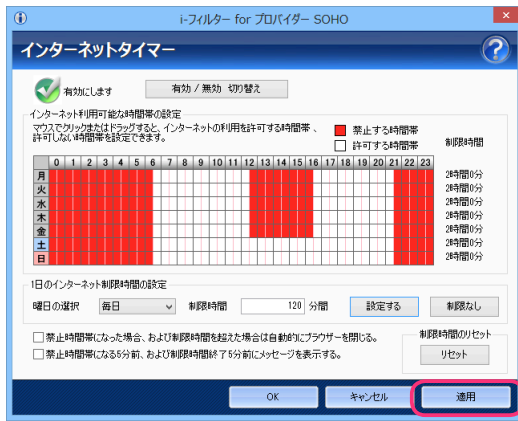
インターネットを使う制限時間を設定する

1日にインターネットを使える時間を制限することができます。曜日ごとに設定できるので、平日は 1時間、週末は 3時間まで、といった柔軟な制限時間を設定できます。

1 設定画面のトップページで、［フィルタリング設定］ボタンをクリックします。

2 インターネットタイマーを設定する利用者をクリックし、［インターネットタイマー］ボタンをクリックします。

3 ［1 日のインターネット制限時間の設定］の［曜日の選択］で制限する曜日を選び、［制限時間］にインターネットを使える時間を設定し、［設定する］ボタンをクリックします。

- ［インターネット利用可能な時間帯の設定］では、インターネットを使える時間帯を設定できます。
  詳しくは、【インターネットを使う時間帯を制限する】（P.38）をご覧ください。
- ［曜日の選択］で［毎日］を選んだ場合は、すべての曜日に同じ制限時間が設定されます。
- ［曜日の選択］で［平日］を選んだ場合は、月〜金曜日に同じ制限時間が設定されます。
- ［曜日の選択］で［土日］を選んだ場合は、土、日曜日に同じ制限時間が設定されます。
- 制限時間の単位は分です。
- ［制限時間］には、数字を入力してください。
- ［制限時間］に「0」を入力すると、指定した曜日は、インターネットアクセス禁止となります。
  また、［制限時間］に「1440」以上の数字を入力すると、制限が解除されます（1440分は 24時間です）。
- 通知領域（タスクトレイ）の ⓘ にマウスカーソルをあわせると、現在の残り時間がポップアップで表示されます。
- 制限を解除する場合は、［曜日の選択］で曜日を選び、［制限なし］ボタンをクリックします。
- 制限時間カウントのタイミングについては、【教えて！「i-フィルター」】（P.121）をご覧ください。
- ［禁止時間帯になった場合、および制限時間を超えた場合は自動的にブラウザーを閉じる］にチェックマークをつけると、設定した禁止時間帯または制限時間になると自動的にブラウザーが閉じるよう設定できます。このとき、複数のブラウザーを起動していると、ブラウザーを閉じるメッセージが複数回表示されることがあります。
- ［禁止時間帯になる 5分前、および制限時間終了 5分前にメッセージを表示する］にチェックマークをつけると、設定した禁止時間帯または制限時間になる 5分前にメッセージが表示されるよう設定できます。
- 制限時間カウントをリセットする場合は、［制限時間のリセット］欄の［リセット］ボタンをクリックします。
  詳しくは、【インターネットを使う制限時間をリセットする】（P.40）をご覧ください。

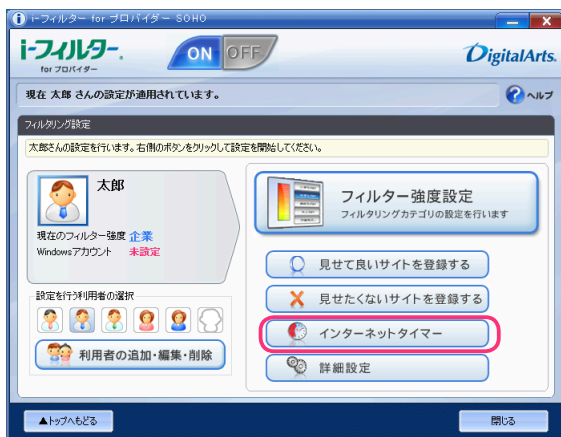
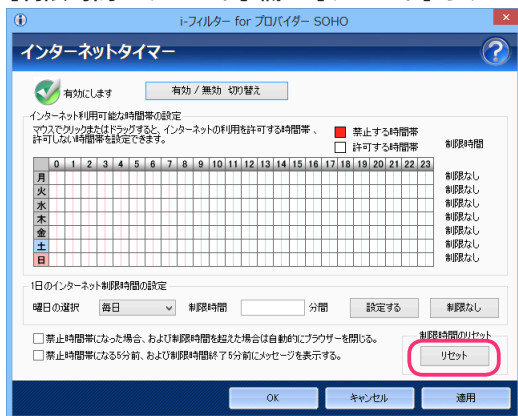
4 必要があれば手順 3 を繰り返して設定し、[OK] ボタンまたは [適用] ボタンをクリックします。

補足

- [OK] ボタンをクリックすると、インターネットタイマー画面が閉じます。

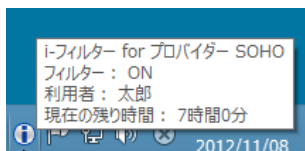
インターネットを使う制限時間をリセットする

1日に使えるインターネットの制限時間を超えた場合に、制限時間をリセットすることができます。

1 設定画面のトップページで、[フィルタリング設定] ボタンをクリックします。

2 インターネットタイマーを設定をする利用者をクリックし [インターネットタイマー] ボタンをクリックします。

3 [制限時間のリセット] 欄の [リセット] ボタンをクリックします。

- [OK] ボタンをクリックすると、インターネットタイマー画面が閉じます。

インターネットを使う制限時間の残り時間を確認する

通知領域（タスクトレイ）の にマウスカーソルをあわせると、現在の残り時間がポップアップで表示されます。

- 1日のインターネット制限時間の設定をしているときしか表示されません。
- 制限時間を超えた場合は、「インターネット禁止時間」と表示されます。

その他のフィルターを設定する（詳細設定）

その他のフィルターの設定方法を説明しています。さまざまなケースに対応できるよう、以下のフィルターを用意しています。

- **個人情報を守る（個人情報保護）**
  登録した氏名やパスワード、クレジットカード番号などを発信しないよう設定できます。
- **見せたくないサイトを検索結果に表示させない（検索結果フィルター）**
  ブロックされるサイトを検索結果にも表示させないよう設定できます。
- **見せたくない単語を設定する（単語フィルター）**
  登録した単語を伏字にしたり、単語を含むサイトをブロックするよう設定できます。
- **サイトの内容を自動的に判断する（ページスキャンの設定）**
  フィルターデータに未登録のサイトを内容から判断し、自動的にブロックするよう設定できます。
- **規制信号のあるサイトを見せたくない（PICSフィルター）**
  サイトの作成者が自主的に発信している規制信号を元にブロックするよう設定できます。
- **ファイルをダウンロードさせない（ダウンロード禁止）**
  ファイルの拡張子を登録して、該当するファイルをダウンロードさせないよう設定できます。
- **ブロック画面の設定をする（ブロック画面）**
  サイトがブロックされたときに表示されるブロック画面を選択、設定できます。
- **登録したサイトだけを見せる（ホワイトリスト）**
  登録したサイトだけにアクセスすることができるホワイトリスト機能について設定できます。
- **不正な操作時の設定をする（不正操作時の設定）**
  「i-フィルター」に対して不正な操作が行われた可能性がある際、自動的にブロックするかどうか設定できます。
- **ARSサーバー接続に失敗したときの設定をする（接続失敗時の設定）**
  ARSサーバーに接続できなかった際に、自動的にブロックするかどうか設定できます。

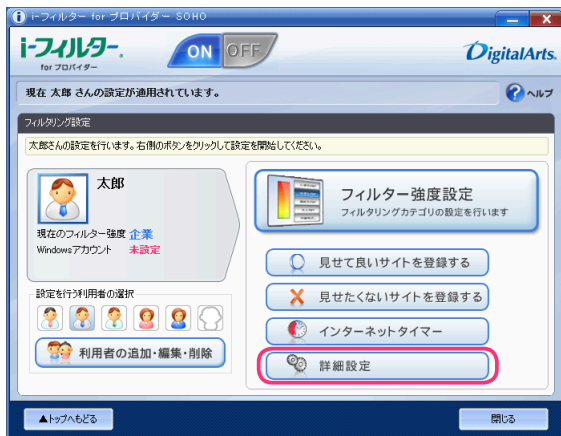
個人情報を守る（個人情報保護）

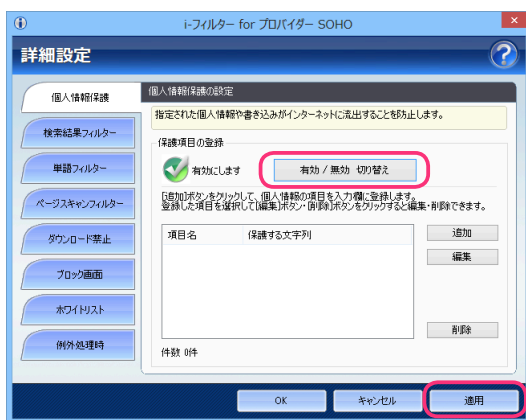
氏名やパスワード、クレジット番号などの大切な個人情報がインターネットから漏洩しないように、個人情報を指定して、該当する情報を発信しないよう設定できます。保護する個人情報は、すべての利用者で共用しますが、個人情報保護機能の有効／無効は、利用者ごとに適用できます。

注意

- 個人情報保護機能は、Internet Explorerのみ HTTPS（SSLの暗号化通信を HTTPに実装したプロトコル）に対応しております。

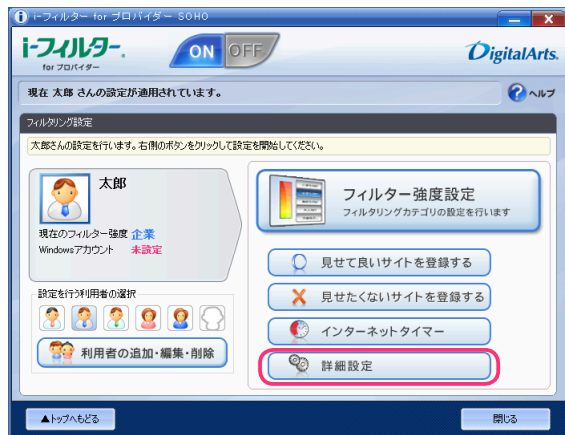
1 設定画面のトップページで、［フィルタリング設定］ボタンをクリックします。

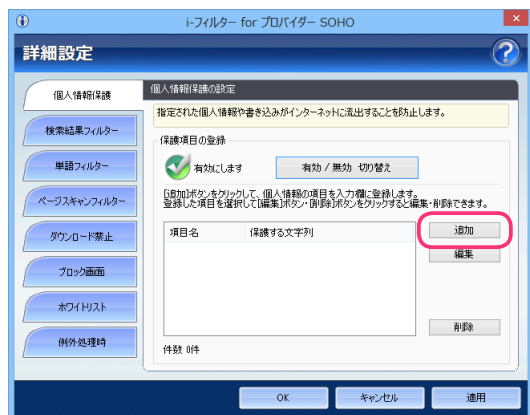
2 個人情報保護機能を設定する利用者をクリックし、［詳細設定］ボタンをクリックします。

3 ［有効／無効 切り替え］ボタンをクリックして、有効にします を表示させ、［OK］ボタンまたは［適用］ボタンをクリックします。

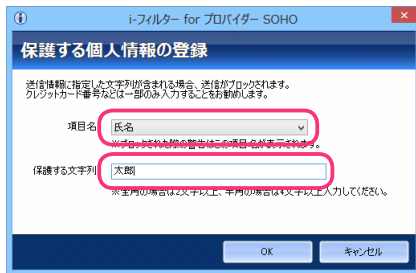
補足

- 詳細設定画面でほかのページが表示されている場合は、［個人情報保護］ボタンをクリックします。
- 個人情報保護機能を無効にしたい場合は、［有効／無効 切り替え］ボタンをクリックして、 無効にします を表示させます。
- ［OK］ボタンをクリックすると、詳細設定画面が閉じます。

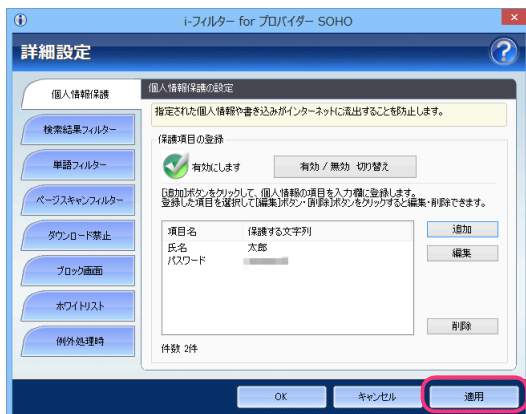
■ 守りたい個人情報を追加する

個人情報として守りたい情報を追加する手順を説明しています。個人情報の設定は、1件につき全角（2文字以上）半角（4文字以上）問わず 100文字以内、100件まで登録できます。

1 設定画面のトップページで、［フィルタリング設定］ボタンをクリックします。

2 ［詳細設定］ボタンをクリックします。

3 ［追加］ボタンをクリックします。

- 詳細設定画面でほかのページが表示されている場合は、［個人情報保護］ボタンをクリックします。

4 ［項目名］から守りたい個人情報の項目を選び、［保護する文字列］に守りたい文字を入力し、［OK］ボタンをクリックします。

- ［項目名］で選べる項目は、以下のとおりです。
  氏名／パスワード／クレジットカード番号／ E-Mailアドレス／その他
- ［保護する文字列］には、全角の場合は 2文字以上、半角の場合は 4文字以上を入力してください。
  全角半角問わず 100文字まで入力できます。
- ［保護する文字列］に入力した文字が短すぎると、意図しないページがブロックされることがあります。
- ［保護する文字列］にクレジットカード番号を入力する場合は、番号のすべてを入力せず、一部のみを入力することをお勧めします。より安全にクレジットカード番号を管理することができます。

5 必要があれば手順 3、4 を繰り返して、［OK］ボタンまたは［適用］ボタンをクリックします。

- ［キャンセル］ボタンをクリックすると、そのとき追加した項目は削除されます。
- ［OK］ボタンをクリックすると、詳細設定画面が閉じます。

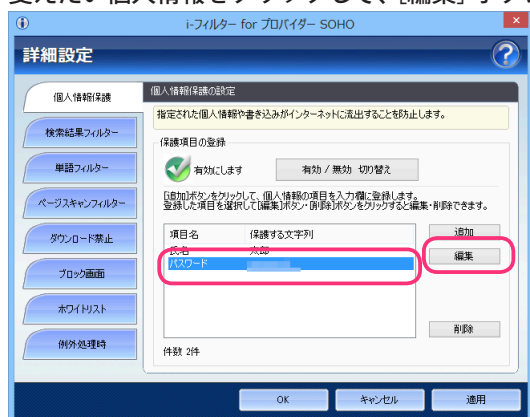
■ 守りたい個人情報を変える

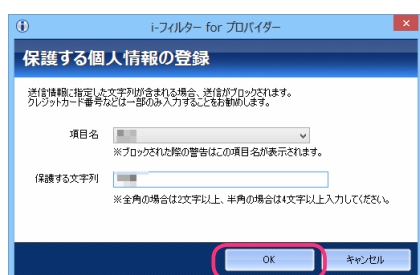
登録済みの個人情報を変える手順を説明しています。

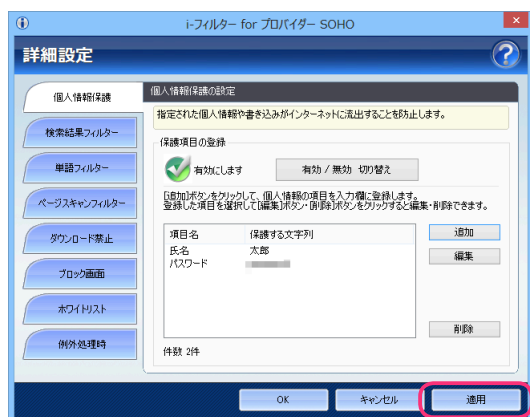
1 設定画面のトップページで、［フィルタリング設定］ボタンをクリックします。

2 ［詳細設定］ボタンをクリックします。

3 変えたい個人情報をクリックして、[編集] ボタンをクリックします。

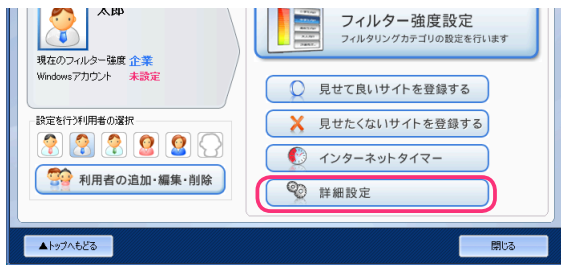
補足

- 詳細設定画面でほかのページが表示されている場合は、[個人情報保護] ボタンをクリックします。

4 [項目名] から守りたい項目を選び、[保護する文字列] に守りたい文字を入力し、[OK] ボタンをクリックします。

- [項目名] で選べる項目は、以下のとおりです。
  氏名／パスワード／クレジットカード番号／ E-Mailアドレス／その他
- [保護する文字列] には、全角の場合は 2文字以上、半角の場合は 4文字以上を入力してください。
  全角半角問わず 100文字まで入力できます。
- [保護する文字列] に入力した文字が短すぎると、意図しないページがブロックされることがあります。
- [保護する文字列] にクレジットカード番号を入力する場合は、番号のすべてを入力せず、一部のみを入力することをお勧めします。より安全にクレジットカード番号を管理することができます。

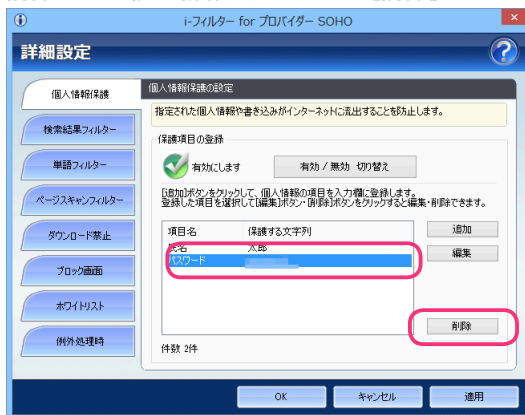
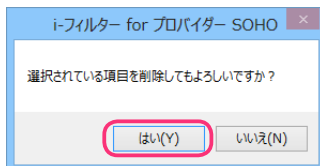
5 必要があれば手順 3、4 を繰り返して [OK] ボタンまたは [適用] ボタンをクリックします。

- [キャンセル] ボタンをクリックすると、個人情報設定は変わらず、元の設定にもどってしまいます。
- [OK] ボタンをクリックすると、詳細設定画面が閉じます。

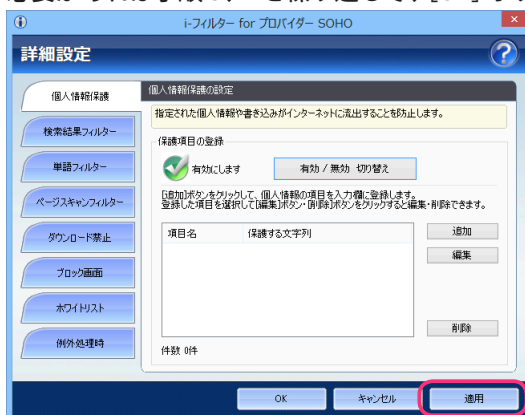
■ 守りたい個人情報を削除する

登録済みの個人情報を削除する手順について説明しています。

1 設定画面のトップページで、［フィルタリング設定］ボタンをクリックします。

2 ［詳細設定］ボタンをクリックします。

・詳細設定画面でほかのページが表示されている場合は、［個人情報保護］ボタンをクリックします。

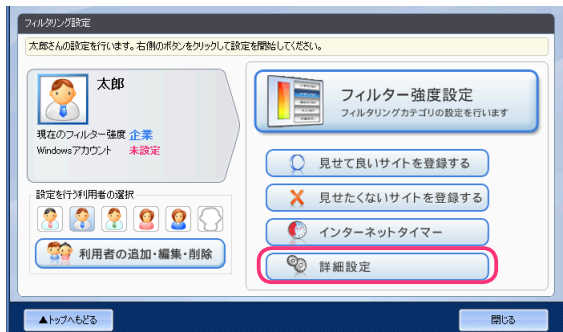
3 削除したい個人情報設定を選び、［削除］ボタンをクリックします。

4 ［はい］ボタンをクリックします。

5 必要があれば手順 3、4 を繰り返して、［OK］ボタンまたは［適用］ボタンをクリックします。

補足

・［キャンセル］ボタンをクリックすると、個人情報設定は変わらず、元の設定にもどってしまいます。
・［OK］ボタンをクリックすると、詳細設定画面が閉じます。

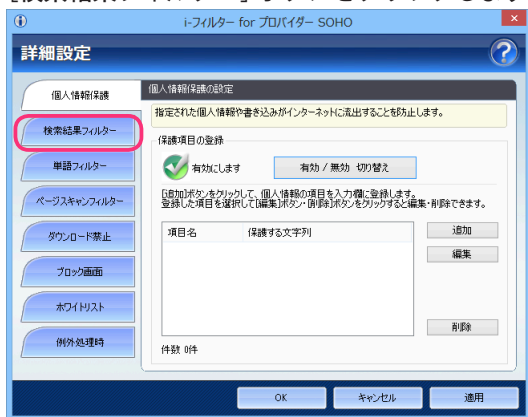
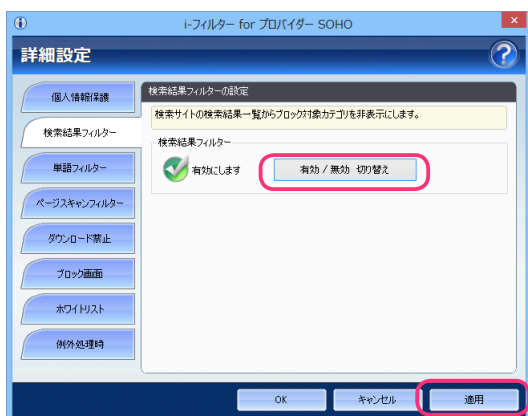
見せたくないサイトを検索結果に表示させない（検索結果フィルター）

ブロックされるサイトを検索サイトの検索結果一覧にも表示させないよう設定できます。
例えば「アダルト」カテゴリをブロックするよう設定している場合、検索結果にアダルト関連のサイトは含まれません。この機能を「検索結果フィルター」と呼びます。検索結果フィルターは、利用者ごとに設定できます。

1 設定画面のトップページで、［フィルタリング設定］ボタンをクリックします。

2 検索結果フィルターを設定する利用者をクリックし、［詳細設定］ボタンをクリックします。

3 ［検索結果フィルター］ボタンをクリックします。

4 ［有効／無効 切り替え］ボタンをクリックして 有効にします を表示させ、［OK］ボタンまたは［適用］ボタンをクリックします。

注意

- 検索結果フィルターの対象は、ページの先頭から200KBytesまでの内容です。

補足

- 検索結果フィルター機能を無効にしたい場合は、［有効／無効 切り替え］ボタンをクリックして、 無効にします を表示させます。
- ［OK］ボタンをクリックすると、詳細設定画面が閉じます。

見せたくない単語を設定する（単語フィルター）

指定した単語を「＊＊＊」（伏字）で表示させたり、指定した単語を含むサイトをブロックすることができます。
例えば「ヌード」という単語を指定しておくと、「ヌード」という文字が「＊＊＊」に換わって表示されたり、
「ヌード」という文字を含むサイトをブロックすることができます。この機能を「単語フィルター」と呼びます。
単語フィルターのリストはすべての利用者で共用しますが、単語フィルター機能の有効／無効、伏字にする、
ブロックにするといった設定は、利用者ごとに適用できます。

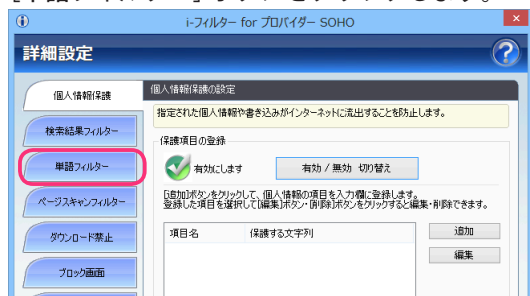
• 単語フィルターは、Internet Explorerのみ HTTPS（SSLの暗号化通信を HTTPに実装したプロトコル）に対応しております。

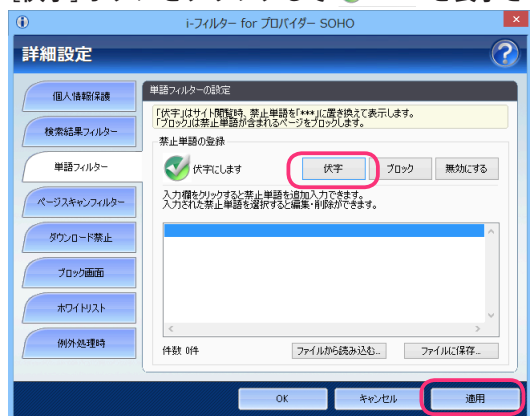
■ 見せたくない単語を伏字にする

見せたくない単語を「＊＊＊」という伏字で表示させる手順を説明しています。例えば「ヌード」という単語を見せたくない単語として設定している場合、「ヌード」という文字が「＊＊＊」で表示されます。

1 設定画面のトップページで、[フィルタリング設定] ボタンをクリックします。

2 単語フィルターを設定する利用者をクリックし、[詳細設定] ボタンをクリックします。

3 [単語フィルター] ボタンをクリックします。

4 [伏字] ボタンをクリックして ✓伏字にします を表示させ [OK] または [適用] ボタンをクリックします。

注意

- 短すぎる単語を入力すると、ほとんどのサイトがブロックされることがあります。ご注意ください。
- ひらがなや漢字などの全角文字を登録したとき、ブロック対象となるページの文字コードに制限があります。
  以下の文字コードのみブロックされます。
  日本語（シフトJIS）/日本語（EUC）/Unicode（UTF-8）
- ページから単語を検索するときの検索対象は、ページの先頭から80KBytesまでの内容です。

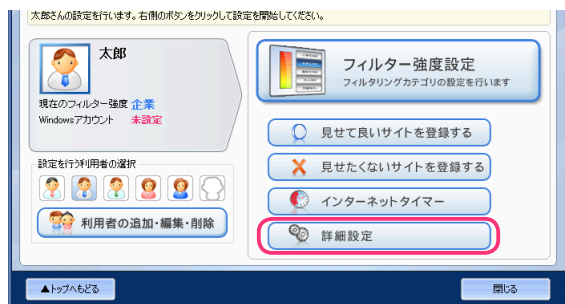
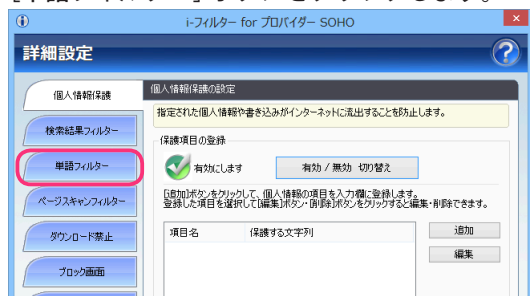
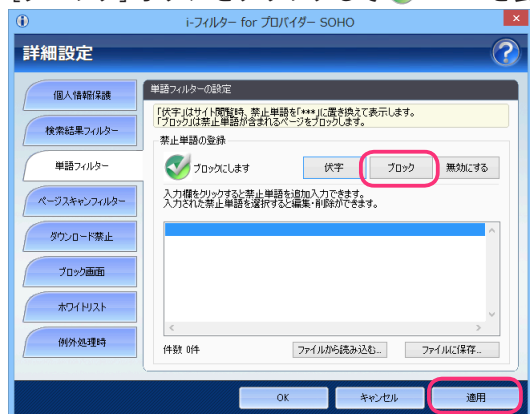
補足

- ［ブロック］ボタンをクリックすると、見せたくない単語を含むサイトをブロックするよう設定できます。
  詳しくは、【見せたくない単語を含むサイトをブロックする】（P.49）をご覧ください。
- ［無効にする］ボタンをクリックすると、見せたくない単語として登録した単語がすべて表示されるよう設定できます。
  詳しくは、【見せたくない単語の設定を無効にする】（P.56）をご覧ください。
- ［ファイルから読み込む］ボタンをクリックすると、見せたくない単語のリストをファイルから読み込むことができます。
  詳しくは、【見せたくない単語をファイルから読み込む】（P.52）をご覧ください。
- ［ファイルに保存］ボタンをクリックすると、見せたくない単語のリストをファイルに保存することができます。
  詳しくは、【見せたくない単語をファイルに保存する】（P.53）をご覧ください。
- ［OK］ボタンをクリックすると、詳細設定画面が閉じます。

■ 見せたくない単語を含むサイトをブロックする

見せたくない単語を含むサイトをブロックする手順を説明しています。例えば「ヌード」という単語を見せたくない単語として設定している場合、「ヌード」という文字を含むサイトがブロックされます。

1 設定画面のトップページで、［フィルタリング設定］ボタンをクリックします。

2 単語フィルターを設定する利用者をクリックし、［詳細設定］ボタンをクリックします。

3 ［単語フィルター］ボタンをクリックします。

4 ［ブロック］ボタンをクリックして ブロックにします を表示させ［OK］または［適用］ボタンをクリックします。

3
フィルターを設定しよう

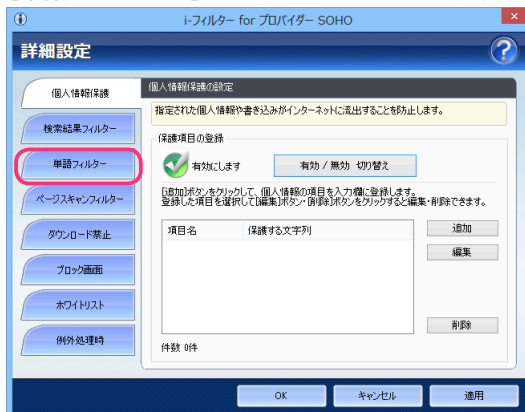
- [伏字] ボタンをクリックすると、見せたくない単語を伏字で表示するよう設定できます。詳しくは、【見せたくない単語を伏字にする】(P.48) をご覧ください。
- [無効にする] ボタンをクリックすると、見せたくない単語として登録した単語がすべて表示されるよう設定できます。詳しくは、【見せたくない単語の設定を無効にする】(P.56) をご覧ください。
- [ファイルから読み込む] ボタンをクリックすると、見せたくない単語のリストをファイルから読み込むことができます。詳しくは、【見せたくない単語をファイルから読み込む】(P.52) をご覧ください。
- [ファイルに保存] ボタンをクリックすると、見せたくない単語のリストをファイルに保存することができます。詳しくは、【見せたくない単語をファイルに保存する】(P.53) をご覧ください。
- [OK] ボタンをクリックすると、詳細設定画面が閉じます。

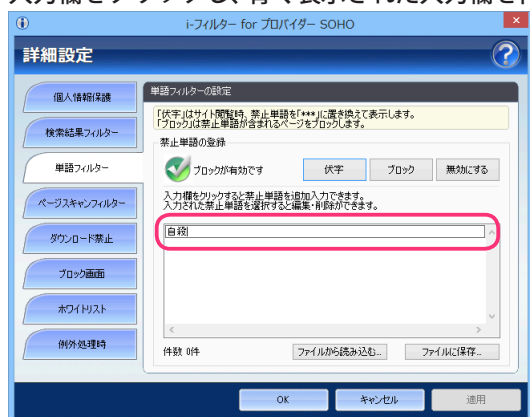
■ 見せたくない単語を登録する

見せたくない単語を登録する手順を説明しています。見せたくない単語は、1件につき全角(2文字以上) 半角(4文字以上) 問わず 100文字以内、100件まで登録できます。

1 設定画面のトップページで、[フィルタリング設定] ボタンをクリックします。

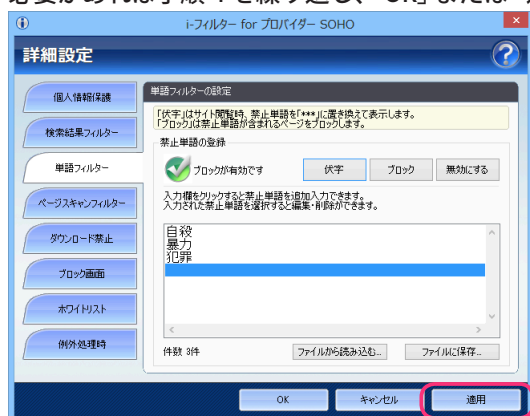
2 [詳細設定] ボタンをクリックします。

3 [単語フィルター] ボタンをクリックします。

4 入力欄をクリックし、青く表示された入力欄を再度クリックして、見せたくない単語を入力・編集します。

注意

- 短すぎる単語を入力すると、ほとんどのサイトがブロックされることがありますので、ご注意ください。
- ひらがなや漢字などの全角文字を登録したとき、ブロック対象となるページの文字コードに制限があります。
  以下の文字コードのみブロックされます。
  日本語（シフト JIS）/日本語（EUC）/Unicode（UTF-8）
- ページから単語を検索するときの検索対象は、ページの先頭から 80KBytesまでの内容です。

補足

- 全角半角問わず、100文字まで入力できます。
- 全角 2文字、半角 4文字未満は登録できません。
- 「?」、「*」をワイルドカードとして使うことはできません。

5 必要があれば手順 4 を繰り返し、「OK」または「適用」ボタンをクリックします。

補足

- 見せたくない単語は、100件まで登録できます。
- 登録した単語をクリックすると、単語を変えることができます。
- ［伏字］ボタンをクリックすると、見せたくない単語を伏字で表示するよう設定できます。
  詳しくは、【見せたくない単語を伏字にする】（P.48）をご覧ください。
- ［ブロック］ボタンをクリックすると、見せたくない単語を含むサイトをブロックするよう設定できます。
  詳しくは、【見せたくない単語を含むサイトをブロックする】（P.49）をご覧ください。
- ［無効にする］ボタンをクリックすると、見せたくない単語として登録した単語がすべて表示されるよう設定できます。詳しくは、【見せたくない単語の設定を無効にする】（P.56）をご覧ください。
- ［ファイルから読み込む］ボタンをクリックすると、見せたくない単語のリストをファイルから読み込むことができます。詳しくは、【見せたくない単語をファイルから読み込む】（P.52）をご覧ください。
- ［ファイルに保存］ボタンをクリックすると、見せたくない単語のリストをファイルに保存することができます。
  詳しくは、【見せたくない単語をファイルに保存する】（P.53）をご覧ください。
- ［OK］ボタンをクリックすると、詳細設定画面が閉じます。

■ 見せたくない単語をファイルから読み込む

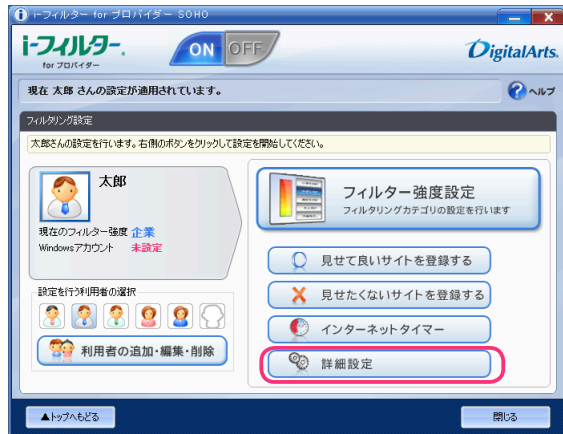
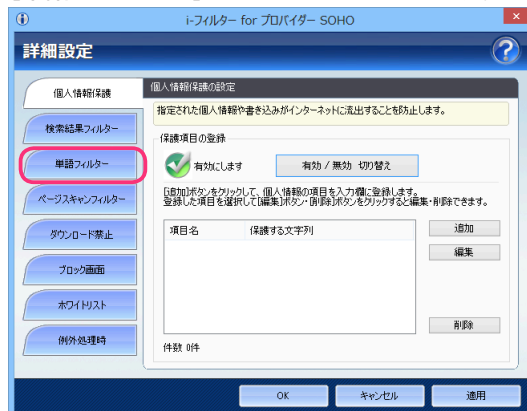
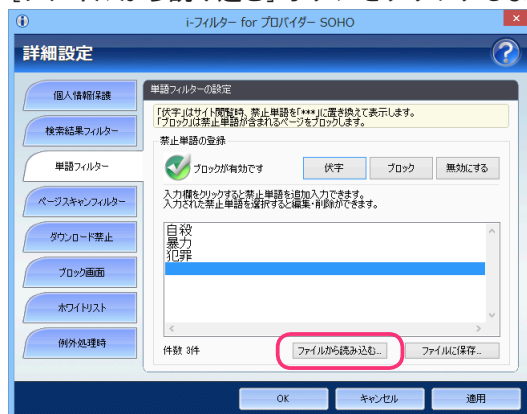
見せたくない単語のリストをファイルから読み込むことができます。たくさんの見せたくない単語を登録するときに便利です。あらかじめ単語のリストがテキスト形式で保存されている必要があります。
単語は改行で区切っておいてください。見せたくない単語は、1件につき全角（2文字以上）半角（4文字以上）問わず 100文字以内、100件まで登録できます。

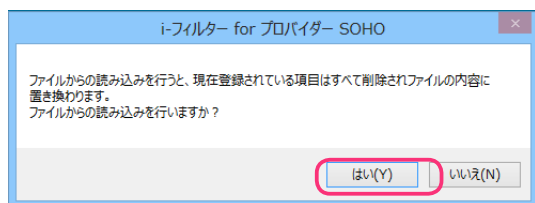
1 設定画面のトップページで、［フィルタリング設定］ボタンをクリックします。

2 ［詳細設定］ボタンをクリックします。

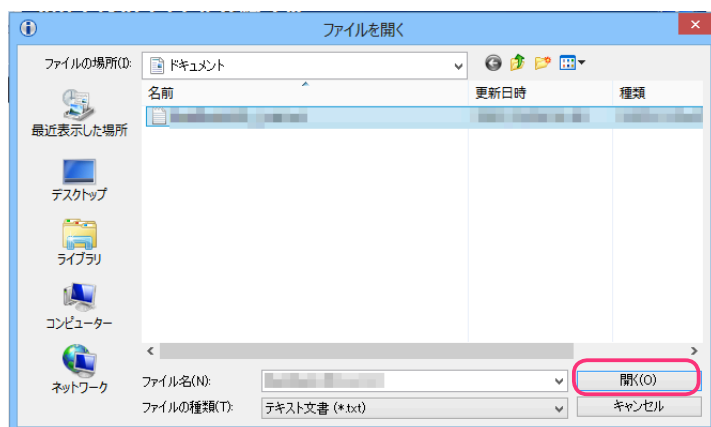
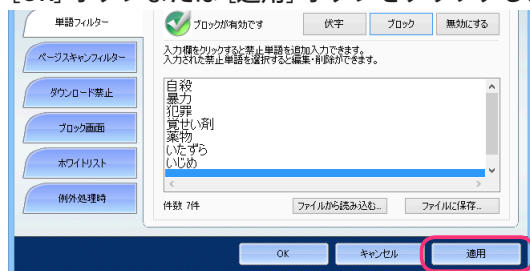
3 ［単語フィルター］ボタンをクリックします。

4 ［ファイルから読み込む］ボタンをクリックします。

補足

- ［ファイルに保存］ボタンをクリックすると、見せたくない単語をファイルに保存できます。
  詳しくは【見せたくない単語をファイルに保存する】（P.53）をご覧ください。

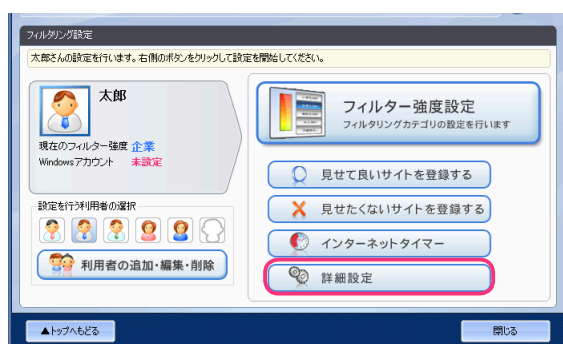
5 以下のメッセージが表示されたら、[はい] をクリックします。

注意

- ファイルからの読み込みを行うと、現在登録されている内容は、すべてファイルの内容に置き換わります。

6 読み込むファイルを指定して、[開く] ボタンをクリックします。

7 [OK] ボタンまたは [適用] ボタンをクリックします。

補足

- 半角 4字、全角 2字未満の単語を登録することはできません。
- すでに登録された単語を重複して登録することはできません。
- [キャンセル] ボタンをクリックすると、ファイルから読み込んだリストは適用されず、元の設定にもどってしまいます。
- [OK] ボタンをクリックすると、詳細設定画面が閉じます。

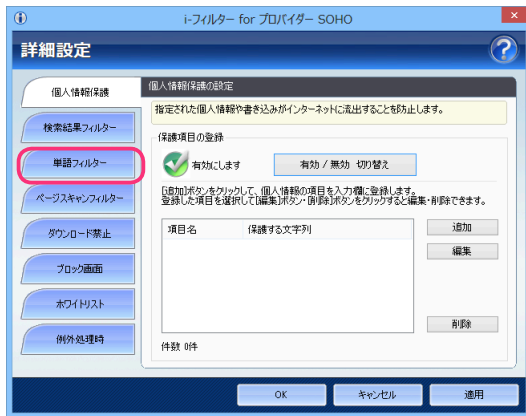
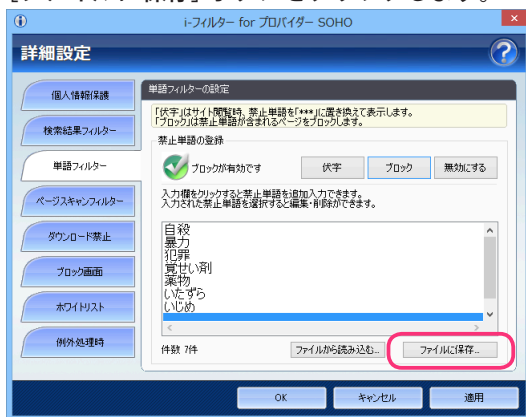
■ 見せたくない単語をファイルに保存する

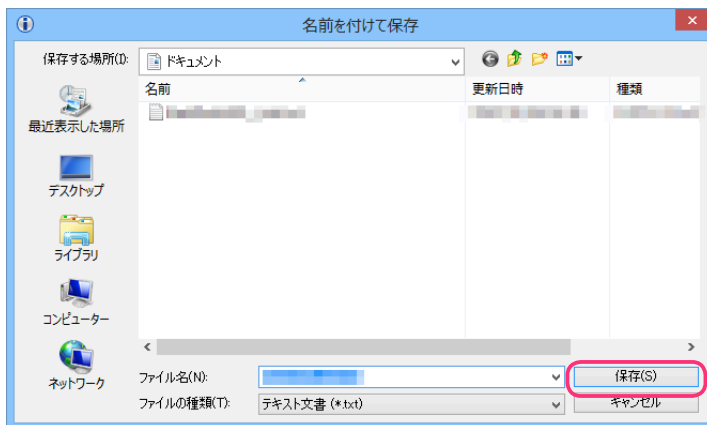
見せたくない単語のリストをファイルに保存することができます。単語を改行で区切った、テキスト形式で保存されます。

1 設定画面のトップページで、[フィルタリング設定] ボタンをクリックします。

2 [詳細設定] ボタンをクリックします。

3 ［単語フィルター］ボタンをクリックします。

4 ［ファイルに保存］ボタンをクリックします。

補足

- ［ファイルから読み込む］ボタンをクリックすると、見せたくない単語のリストをファイルから読み込めます。詳しくは、【見せたくない単語をファイルから読み込む】（P.52）をご覧ください。

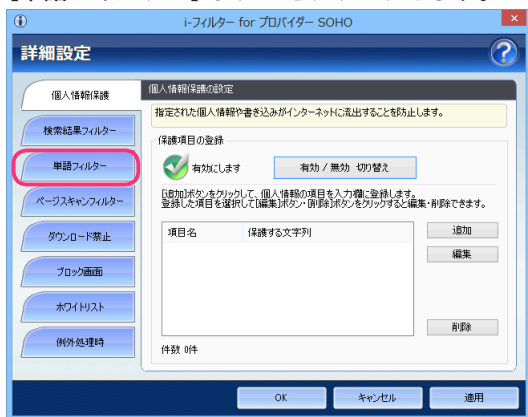
5 保存する場所を指定して、必要があれば［ファイル名］に見せたくない単語リストのファイル名を入力し［保存］ボタンをクリックします。

- ファイル名を変えない場合は、「BlockWord_List.txt」というファイル名で保存されます。

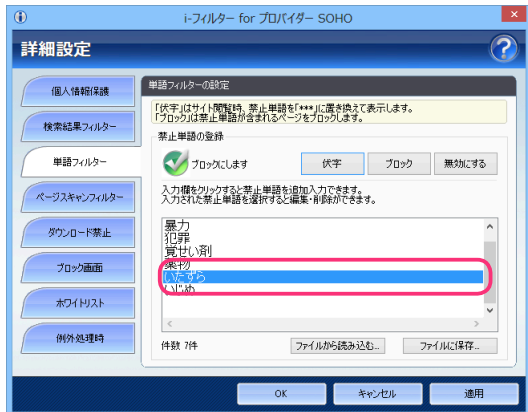
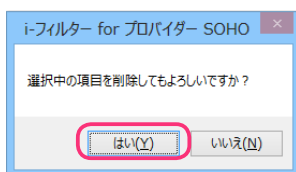
見せたくない単語のリストがファイルに保存されます。

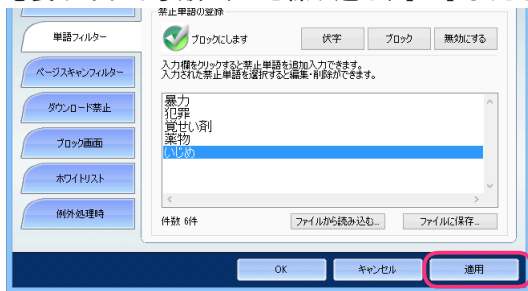
■ 見せたくない単語を削除する

単語フィルターから、登録した単語を削除する手順を説明しています。

1 設定画面のトップページで、［フィルタリング設定］ボタンをクリックします。

2 ［詳細設定］ボタンをクリックします。

3 ［単語フィルター］ボタンをクリックします。

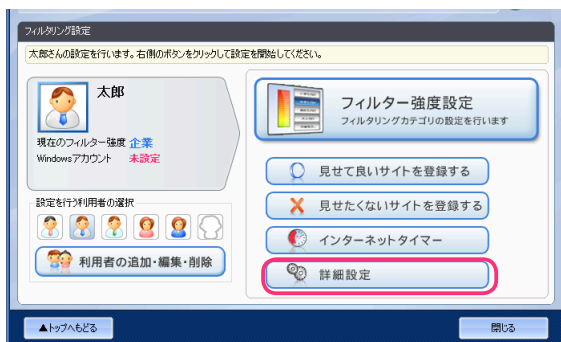
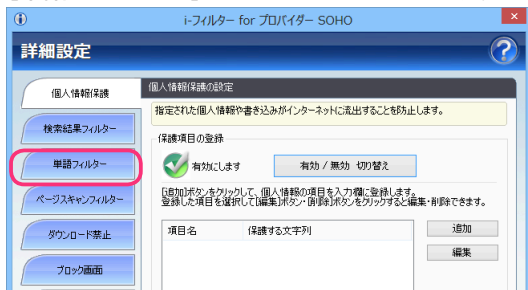
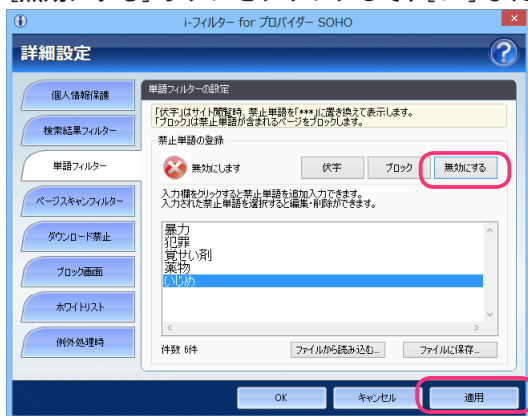
4 削除したい単語を選び、Delete キーを押します。

5 ［はい］をクリックします。

6 必要があれば手順 4、5 を繰り返し、[OK] または [適用] ボタンをクリックします。

補足
- [キャンセル] ボタンをクリックすると、そのとき削除した単語は元にもどってしまいます。
- [OK] ボタンをクリックすると、詳細設定画面が閉じます。

■ 見せたくない単語の設定を無効にする

見せたくない単語として登録してある単語を通常どおり表示させるよう設定できます。

1 設定画面のトップページで、[フィルタリング設定] ボタンをクリックします。

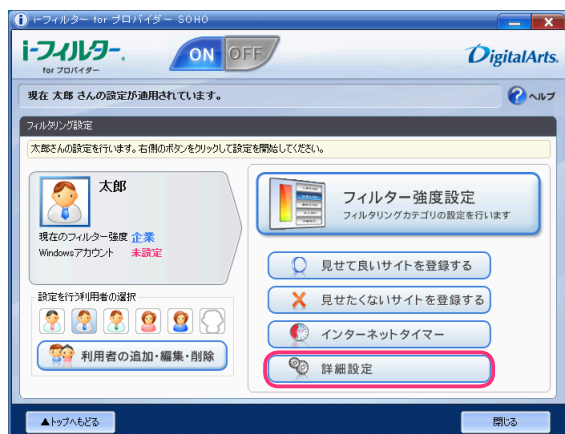
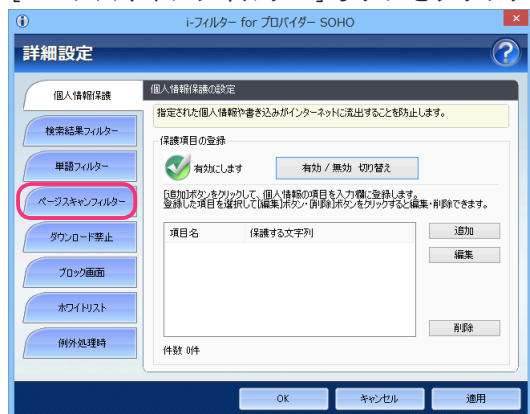
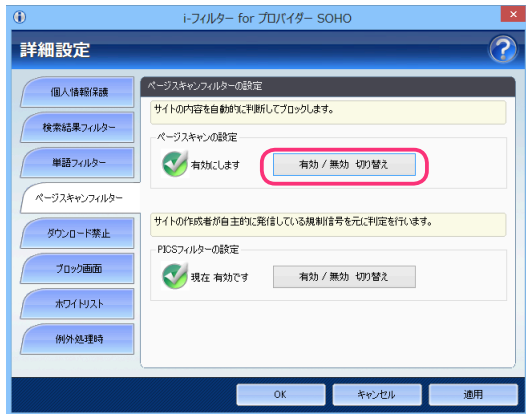
2 単語フィルターを設定する利用者をクリックし、[詳細設定] ボタンをクリックします。

3 [単語フィルター] ボタンをクリックします。

4 [無効にする] ボタンをクリックして、[OK] または [適用] ボタンをクリックします。

- ［伏字］ボタンをクリックすると、見せたくない単語を伏字で表示するよう設定できます。
  詳しくは、【見せたくない単語を伏字にする】（P.48）をご覧ください。
- ［ブロック］ボタンをクリックすると、見せたくない単語を含むサイトをブロックするよう設定できます。
  詳しくは、【見せたくない単語を含むサイトをブロックする】（P.49）をご覧ください。
- ［ファイルから読み込む］ボタンをクリックすると、見せたくない単語のリストをファイルから読み込むことができます。詳しくは、【見せたくない単語をファイルから読み込む】（P.52）をご覧ください。
- ［ファイルに保存］ボタンをクリックすると、見せたくない単語のリストをファイルに保存することができます。
  詳しくは、【見せたくない単語をファイルに保存する】（P.53）をご覧ください。
- ［OK］ボタンをクリックすると、詳細設定画面が閉じます。

サイトの内容を自動的に判断する（ページスキャンの設定）

学習データを基にサイトの内容を自動的にブロックするかどうか設定できます。この機能を「ページスキャン」と呼びます。利用者ごとにページスキャンを適用するかどうかを設定できます。

・ページスキャンは、Internet Explorerのみ HTTPS（SSLの暗号化通信を HTTPに実装したプロトコル）に対応しております。

1 設定画面のトップページで、［フィルタリング設定］ボタンをクリックします。

2 ページスキャンを設定する利用者をクリックし、［詳細設定］ボタンをクリックします。

3 ［ページスキャンフィルター］ボタンをクリックします。

4 ［ページスキャンの設定］の［有効／無効 切り替え］ボタンをクリックして 有効にします を表示させ、［OK］ボタンまたは［適用］ボタンをクリックします。

- ページスキャン機能を無効にしたい場合は、［有効／無効 切り替え］ボタンをクリックして、 無効にします を表示させます。
- ［OK］ボタンをクリックすると、詳細設定画面が閉じます。

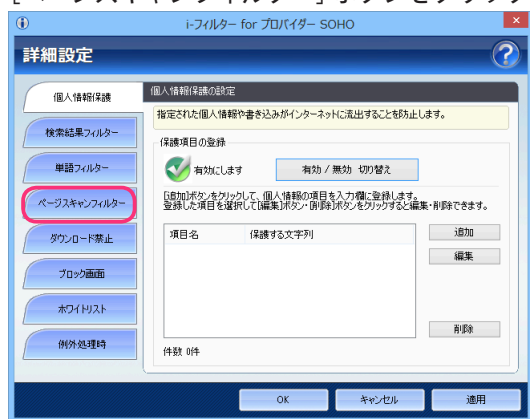
規制信号のあるサイトを見せたくない（PICSフィルター）

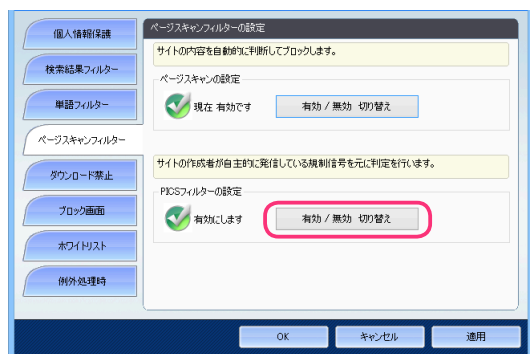
サイトをつくる人・企業は、自主的に PICSラベルという規制信号を自分のサイトにつけることができます。「i-フィルター」はアクセス先のサイトに PICSラベルがついているかどうかを判断してブロックすることができます。この機能を「PICSフィルター」と呼びます。利用者ごとに PICSフィルターを適用するかどうかを設定できます。

・PICSフィルターは Internet Explorerのみ HTTPS（SSLの暗号化通信を HTTPに実装したプロトコル）に対応しております。

1 設定画面のトップページで、［フィルタリング設定］ボタンをクリックします。

2 PICS フィルターを設定する利用者をクリックし、［詳細設定］ボタンをクリックします。

3 ［ページスキャンフィルター］ボタンをクリックします。

4 ［PICS フィルターの設定］の［有効／無効 切り替え］ボタンをクリックして、有効にします を表示させ、［OK］ボタンまたは［適用］ボタンをクリックします。

補足

- PICSフィルター機能を無効にしたい場合は、［有効／無効 切り替え］ボタンをクリックして、無効にします を表示させせます。
- ［OK］ボタンをクリックすると、詳細設定画面が閉じます。

ファイルをダウンロードさせない（ダウンロード禁止）

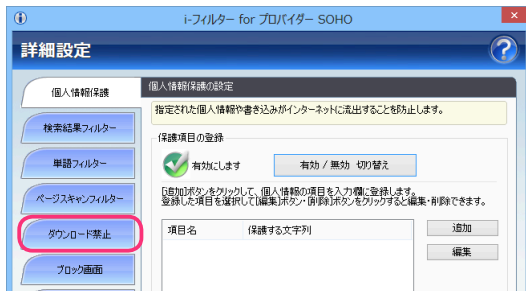
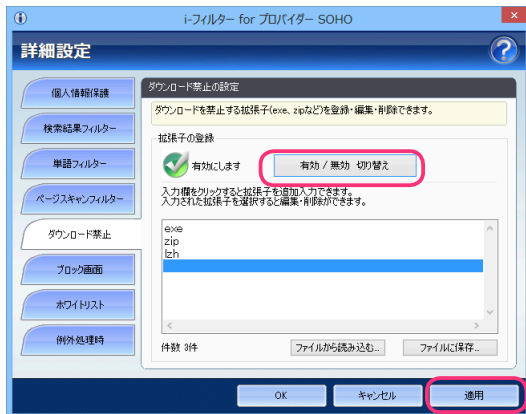
ファイルの拡張子を指定して、該当するファイルをダウンロードさせないよう設定できます。初期設定では、「exe」「zip」「lzh」が登録されています。この設定を変えなければ、exe（実行ファイル）形式、zip（圧縮ファイル）形式、lzh（圧縮ファイル）形式のファイルはダウンロードできません。ダウンロードさせないファイルの拡張子は、すべての利用者で共用しますが、ダウンロード禁止機能の有効／無効は、利用者ごとに設定できます。

注意

- 「i-フィルター」がダウンロードを禁止できるのは、ブラウザー経由のダウンロードのみです。ダウンロード専用のソフトウェアを使ったダウンロードを禁止することはできません。

1 設定画面のトップページで、［フィルタリング設定］ボタンをクリックします。

2 ダウンロードの禁止を設定する利用者をクリックし、［詳細設定］ボタンをクリックします。

3 ［ダウンロード禁止］ボタンをクリックします。

4 ［有効／無効 切り替え］ボタンをクリックして、有効にします を表示させ、［OK］ボタンまたは［適用］ボタンをクリックします。

補足

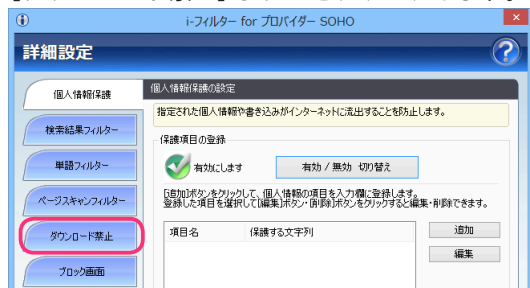
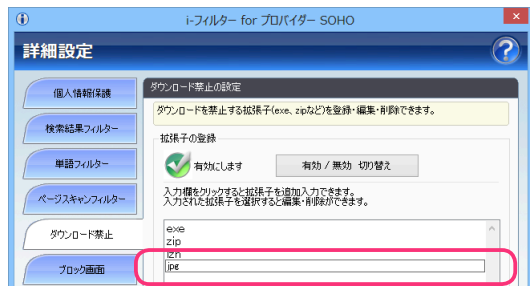
- ダウンロードの禁止機能を無効にしたい場合は、［有効／無効 切り替え］ボタンをクリックして、無効にします を表示させます。
- ［OK］ボタンをクリックすると、詳細設定画面が閉じます。

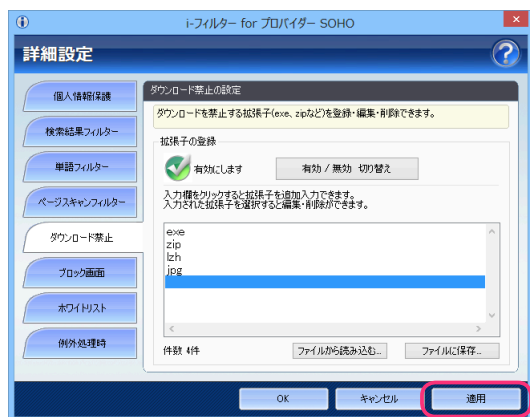
■ **ダウンロードさせないファイル形式を登録する**

ダウンロードさせないファイルのファイル形式を登録する方法を説明しています。
ダウンロードさせないファイルの拡張子は、1件につき半角 3文字以上 500文字以内、1,000 件まで登録できます。

1 設定画面のトップページで、［フィルタリング設定］ボタンをクリックします。

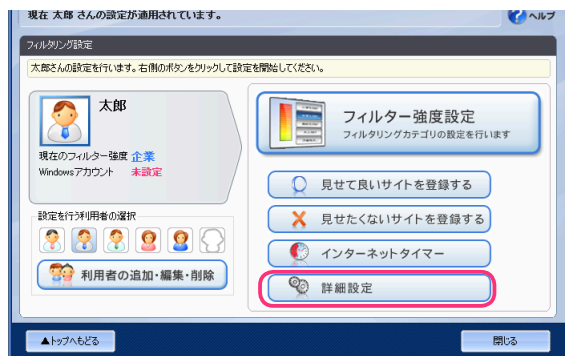
2 ［詳細設定］ボタンをクリックします。

3 ［ダウンロード禁止］ボタンをクリックします。

4 入力欄をクリックし、青く表示された入力欄を再度クリックして、ダウンロードさせないファイル形式を入力します。

- ファイルの拡張子を入力してください。拡張子の前につける「.」（ドット）は不要です。
- 1件のファイルの拡張子は、半角 3文字以上 500文字以下で入力してください。
- ダウンロード禁止に登録した拡張子と部分的に一致する拡張子を持つファイルはすべてダウンロードされません。例えば「jpe」と登録すると、.jpe や .jpeg の拡張子を持つファイルはダウンロードされません。

5 必要があれば手順 4 を繰り返し、［OK］ボタンまたは［適用］ボタンをクリックします。

- ファイルの拡張子は、1,000件まで登録できます。
- 登録した拡張子をクリックすると、拡張子を変えることができます。
- ［ファイルから読み込む］ボタンをクリックすると、ダウンロードさせないファイル形式のリストをファイルから読み込むことができます。詳しくは、【ダウンロードさせないファイル形式をファイルから読み込む】（P.62）をご覧ください。
- ［ファイルに保存］ボタンをクリックすると、ダウンロードさせないファイル形式のリストをファイルに保存することができます。詳しくは、【ダウンロードさせないファイル形式をファイルに保存する】（P.63）をご覧ください。
- ［OK］ボタンをクリックすると、詳細設定画面が閉じます。

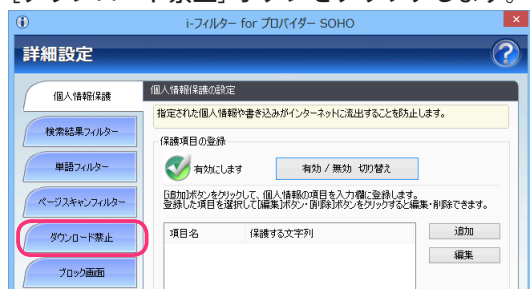
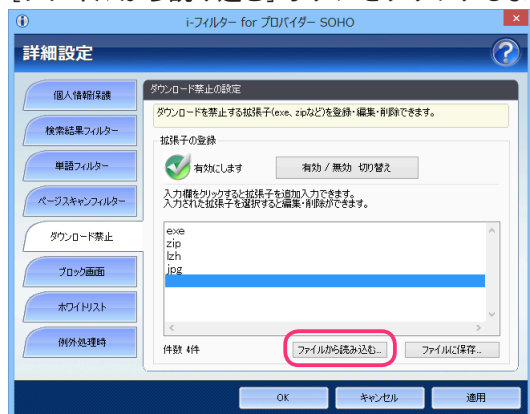
■ ダウンロードさせないファイル形式をファイルから読み込む

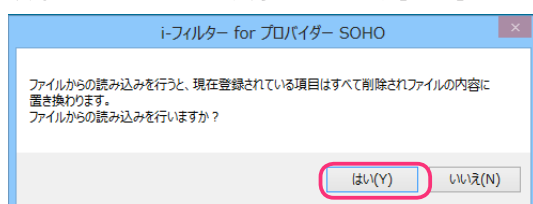
ダウンロードさせたくないファイル形式のリストをファイルから読み込むことができます。
たくさんのファイル形式を登録するときに便利です。ファイル形式は、拡張子により指定します。
あらかじめ拡張子のリストがテキスト形式で保存されている必要があります。拡張子は改行で区切っておいてください。拡張子のリストには、1件につき半角 3文字以上 500文字以下、1,000件まで登録できます。

1 設定画面のトップページで、［フィルタリング設定］ボタンをクリックします。

2 ［詳細設定］ボタンをクリックします。

3 ［ダウンロード禁止］ボタンをクリックします。

4 ［ファイルから読み込む］ボタンをクリックします。

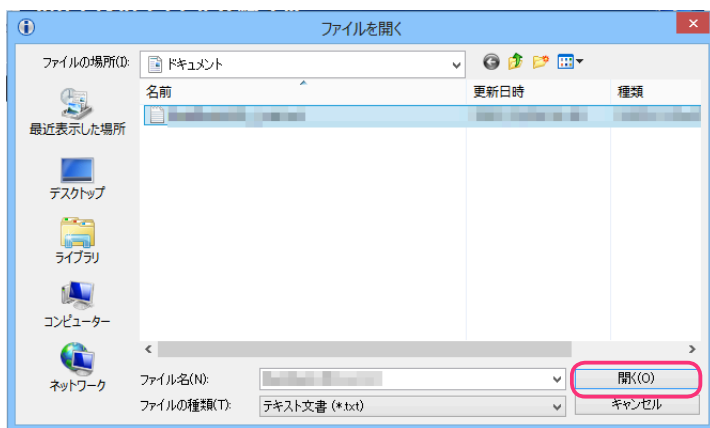
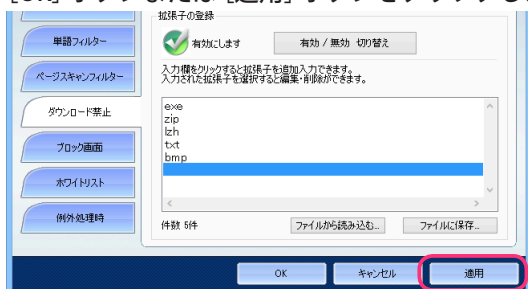
補足

・［ファイルに保存］ボタンをクリックすると、ダウンロードさせないファイル形式のリストをファイルに保存できます。
詳しくは、【ダウンロードさせないファイル形式をファイルに保存する】（P.63）をご覧ください。

5 以下のメッセージが表示されたら、［はい］をクリックします。

注意

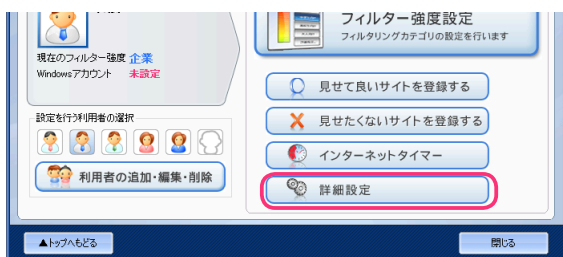
・ ファイルからの読み込みを行うと、現在登録されている内容は、すべてファイルの内容に置き換わります。

6 読み込むファイルを指定して、［開く］ボタンをクリックします。

7 ［OK］ボタンまたは［適用］ボタンをクリックします。

補足

- ［キャンセル］ボタンをクリックすると、ファイルから読み込んだリストは適用されず、元の設定にもどってしまいます。
- ［OK］ボタンをクリックすると、詳細設定画面が閉じます。

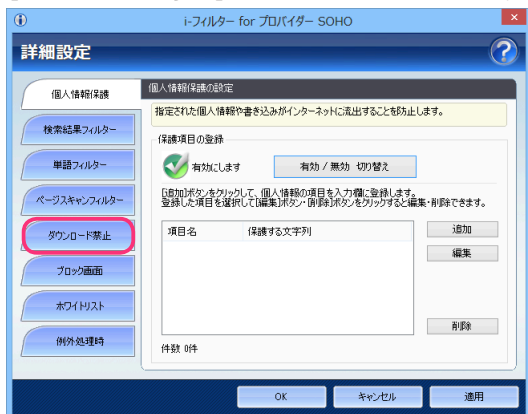
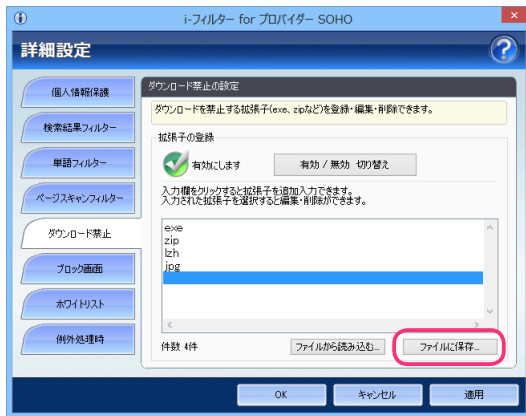
■ ダウンロードさせないファイル形式をファイルに保存する

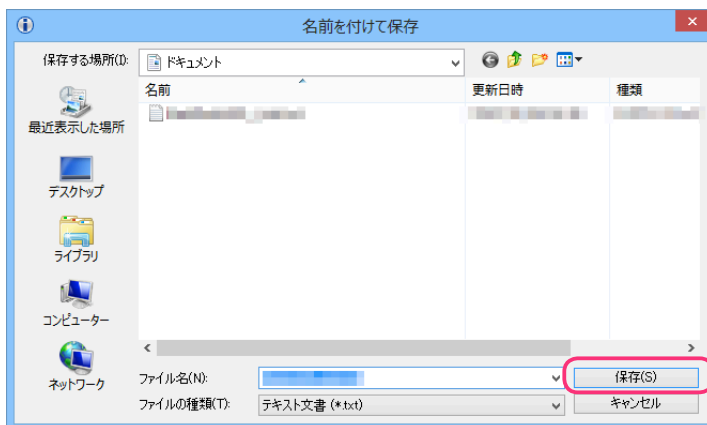
ダウンロードさせないファイル形式のリストをファイルに保存することができます。拡張子を改行で区切った、テキスト形式で保存されます。

1 設定画面のトップページで、［フィルタリング設定］ボタンをクリックします。

2 ［詳細設定］ボタンをクリックします。

3 ［ダウンロード禁止］ボタンをクリックします。

4 ［ファイルに保存］ボタンをクリックします。

補足

- ［ファイルから読み込む］ボタンをクリックすると、ダウンロードさせないファイル形式のリストをファイルから読み込めます。詳しくは【ダウンロードさせないファイル形式をファイルから読み込む】（P.62）をご覧ください。

5 保存する場所を指定して、必要があれば［ファイル名］にダウンロードさせないファイル形式リストのファイル名を入力し、［保存］ボタンをクリックします。

- ファイル名を変えない場合は、「BlockExtension_List.txt」というファイル名で保存されます。

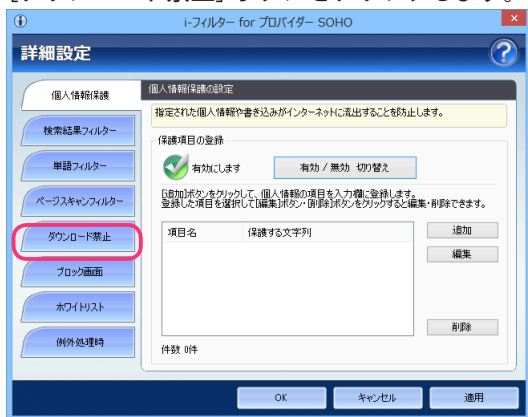
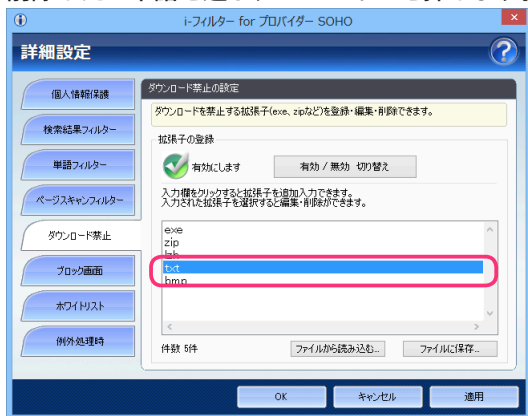
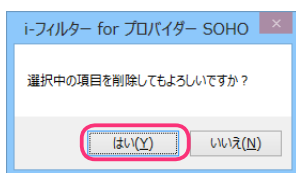
ダウンロードさせないファイル形式のリストがファイルに保存されます。

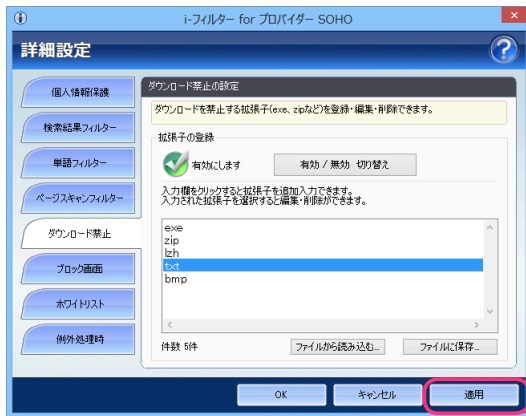
■ ダウンロードさせないファイル形式を削除する

ダウンロードさせないファイル形式として登録した拡張子の設定を削除する方法を説明しています。

1 設定画面のトップページで、[フィルタリング設定] ボタンをクリックします。

2 [詳細設定] ボタンをクリックします。

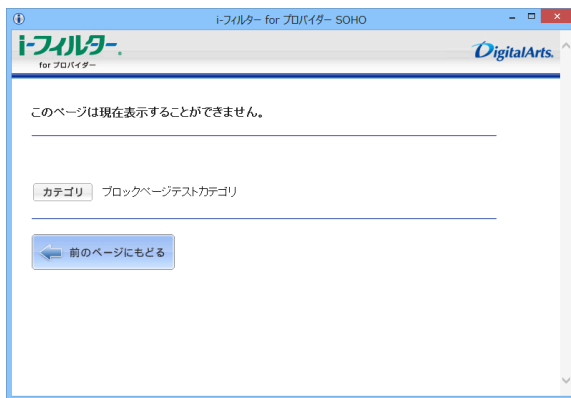
3 [ダウンロード禁止] ボタンをクリックします。

4 削除したい単語を選び、Delete キーを押します。

5 [はい] をクリックします。

6 必要があれば手順 4、5 を繰り返し、[OK] または [適用] ボタンをクリックします。

- [キャンセル] ボタンをクリックすると、そのとき削除した拡張子は元にもどってしまいます。
- [OK] ボタンをクリックすると、詳細設定画面が閉じます。

ブロック画面の設定をする（ブロック画面）

サイトへのアクセスがブロックされたときは、ブラウザーにブロック画面が表示されます。ブロック画面の種類は以下のとおりです。利用者ごとにお好みのブロック画面を選ぶことができます。
また、ブロック画面をオリジナルで作成することもできます。

ブロック画面 1・2

「i-フィルター」標準のブロック画面の1つです。詳しく設定し、画面をカスタマイズできます。設定によっては、お好みの文字やブロック理由を表示させることができます。また、ブロックを解除できる機能を有効にすることもできます。

ブロック画面 1

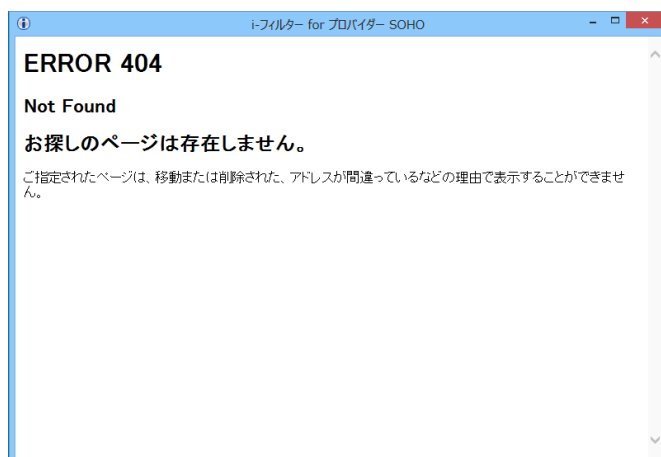
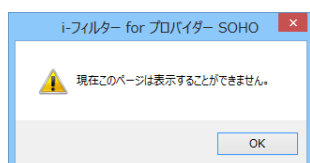
ブロック画面 2

・ブラウザーによっては画像が正しく表示されないことがあります。

「アクセス禁止」画面

エラーコード 403の「ウェブサイトによってこのページの表示を拒否されました」または「Forbidden」画面が表示されます。一般的には、サーバーが「読み出し禁止」にしているコンテンツを読み込もうとしたときに表示される画面です。

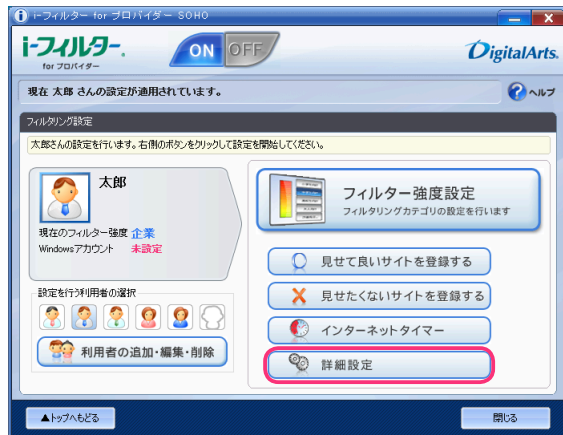
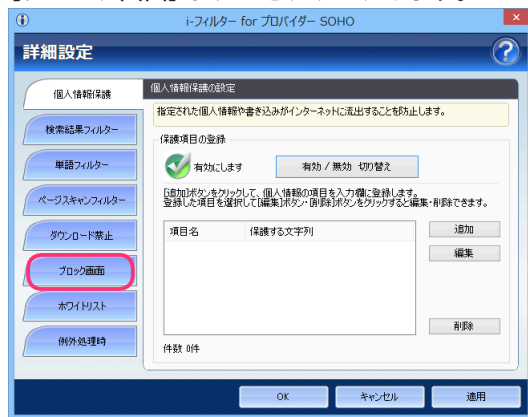
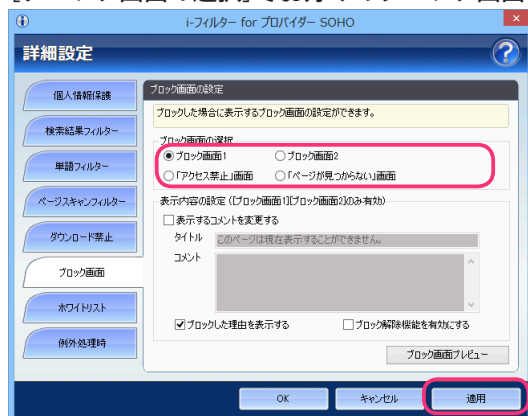
「ページが見つからない」画面

エラーコード 404の「ウェブページが見つかりません」または「Not Found」ページが表示されます。
一般的には、指定された URLが存在しないときに表示されるページです。

• Internet Explorer以外のブラウザーを使っている場合、「https」ではじまる URLのページがブロックされたときは、以下のブロック画面が表示されます。

■ ブロック画面を選ぶ

サイトへのアクセスがブロックされたときに表示されるブロック画面を、利用者ごとに選ぶ手順を説明しています。

補足
- ・ブロック画面をカスタマイズしたいときは、【ブロック画面にオリジナルのコメントを設定する】（P.69）をご覧ください。

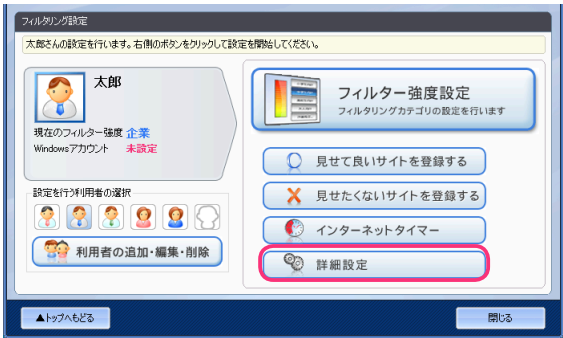
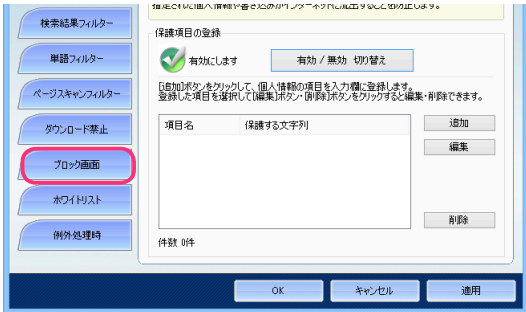
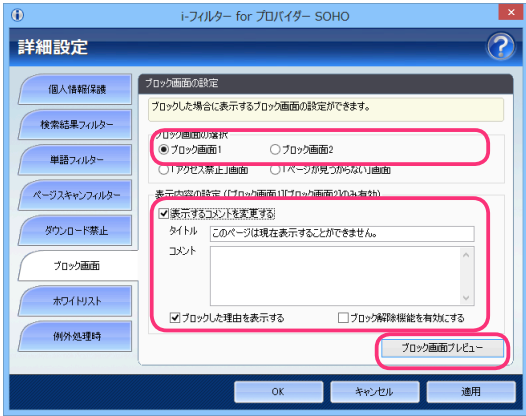
1 設定画面のトップページで、［フィルタリング設定］ボタンをクリックします。

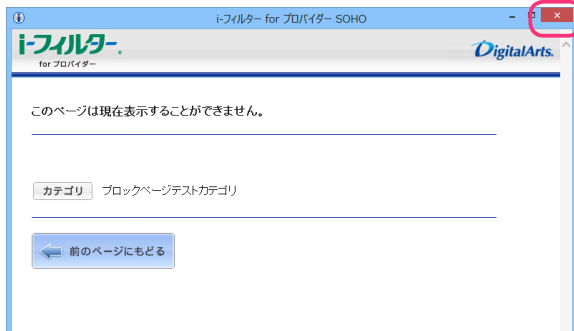
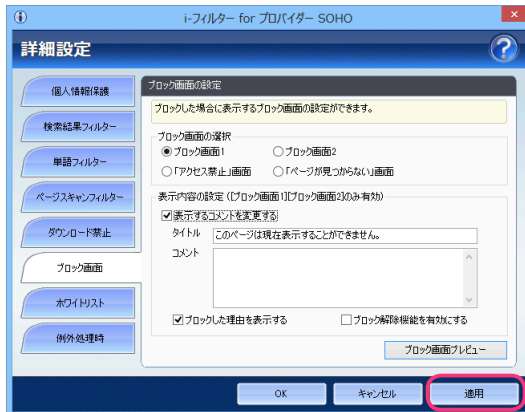
2 ブロック画面を設定する利用者をクリックし、［詳細設定］ボタンをクリックします。

3 ［ブロック画面］ボタンをクリックします。

4 ［ブロック画面の選択］でお好みのブロック画面をクリックし、［OK］ボタンまたは［適用］ボタンをクリックします。

補足
- ［ブロック画面プレビュー］ボタンをクリックすると、選んだブロック画面を確認できます。
- 選べるブロック画面は以下のとおりです。【ブロック画面の設定をする（ブロック画面）】（P.66）の冒頭を参考にしてください。
  ブロック画面 1／ブロック画面 2／「アクセス禁止」画面／「ページが見つからない」画面
- ［OK］ボタンをクリックすると、詳細設定画面が閉じます。

■ ブロック画面にオリジナルのコメントを設定する

サイトへのアクセスがブロックされたときに表示されるブロック画面に、利用者ごとに異なるコメントを設定する手順を説明しています。

1 設定画面のトップページで、[フィルタリング設定] ボタンをクリックします。

2 ブロック画面を設定する利用者をクリックし、[詳細設定] ボタンをクリックします。

3 [ブロック画面] ボタンをクリックします。

4 [ブロック画面の選択] で、ブロック画面 1・2 のいずれかの画面をクリックして、[表示内容の設定] で以下の設定をし、[ブロック画面プレビュー] ボタンをクリックします。

設定項目	設定内容
表示するコメントを変更する	チェックマークをつけるとブロック画面に表示されるコメントとタイトルをオリジナルのものに変えることができます。[タイトル] と [コメント] にお好みの文字を入力します。 ※ [タイトル] 100 文字以内、[コメント] 300 文字以内で入力してください。
ブロックした理由を表示する	チェックマークをつけると、ブロックした理由がブロック画面に表示されます。 (例：ブロック状況：インターネットタイマー)
ブロック解除機能を有効にする	チェックマークをつけると、ブロック画面に [解除] ボタンが表示されます。 利用者が、[解除] ボタンをクリックすると、「i- フィルター」は 3 分間フィルターオフになり、すべてのサイトを見ることができるようになります。ブロック解除から 3 分経つと、「i- フィルター」がフィルターオンの状態になります。 インターネットタイマーおよび個人情報保護機能によってブロックされたページを解除することはできません。

5 プレビュー画面を確認し、右上の［x］ボタンをクリックして閉じます。

6 ［OK］ボタンまたは［適用］ボタンをクリックします。

補足

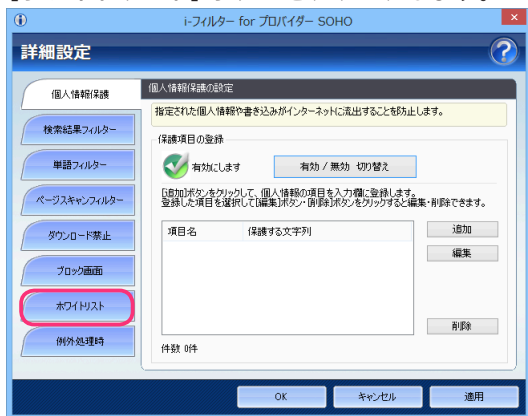
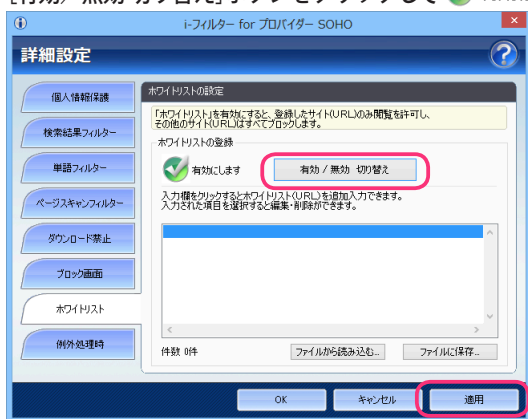
- 確認したブロック画面を変えるには、手順 4、5を操作し直してください。
- ［OK］ボタンをクリックすると、詳細設定画面が閉じます。
- ブロック画面のプレビューに表示されたボタンをクリックすることはできません。

登録したサイトだけを見せる（ホワイトリスト）

指定したサイトだけにアクセスするよう制限することができます。この機能を「ホワイトリスト」と呼びます。
ホワイトリスト機能を有効にすると、フィルター強度設定、見せて良いサイト、見せたくないサイト、検索結果フィルター、単語フィルター、ページスキャン、PICSフィルター、ダウンロード禁止は無効となります。
フィルターの優先順位は、【教えて！「i-フィルター」】（P.121）をご覧ください。
ホワイトリストはすべての利用者で共用しますが、ホワイトリスト機能の有効／無効は利用者ごとに設定できます。

1 設定画面のトップページで、［フィルタリング設定］ボタンをクリックします。

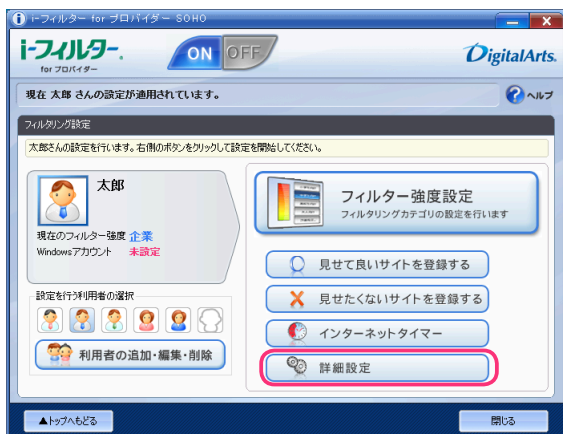
2 ホワイトリストを設定する利用者をクリックし、［詳細設定］ボタンをクリックします。

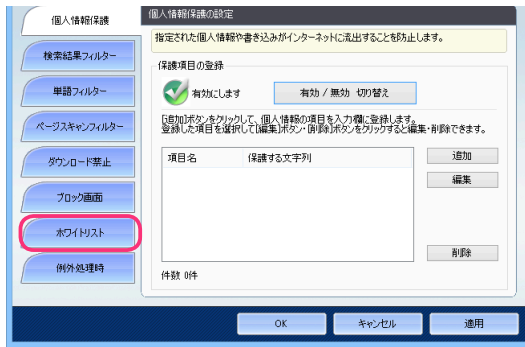
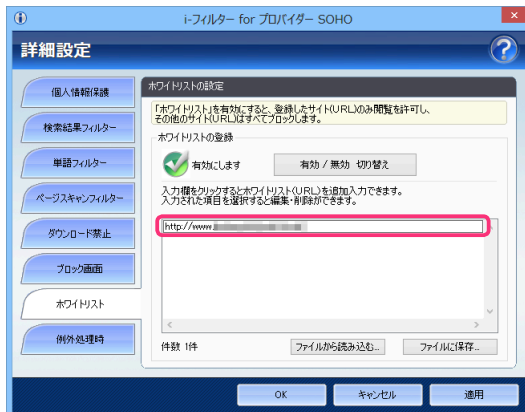
3 ［ホワイトリスト］ボタンをクリックします。

4 ［有効／無効 切り替え］ボタンをクリックして ✅有効にします を表示させ、［OK］ボタンまたは［適用］ボタンをクリックします。

補足

- ホワイトリストを無効にしたい場合は、［有効／無効 切り替え］ボタンをクリックして、 ❌無効にします を表示させます。
- 入力欄に URLを入力することで、ホワイトリストを登録できます。
  詳しくは、【ホワイトリストを登録する】をご覧ください。
- ［ファイルから読み込む］ボタンをクリックすると、ホワイトリストをファイルから読み込めます。
  詳しくは、【ホワイトリストをファイルから読み込む】（P.73）をご覧ください。
- ［ファイルに保存］ボタンをクリックすると、ホワイトリストをファイルに保存できます。
  詳しくは、【ホワイトリストをファイルに保存する】（P.74）をご覧ください。
- ［OK］ボタンをクリックすると、ホワイトリストを登録する画面が閉じます。

■ ホワイトリストを登録する

指定したサイトだけにアクセスできるホワイトリストの URLを追加する手順を説明しています。
ホワイトリストは、1件につき半角 500文字、1,000件まで登録できます。

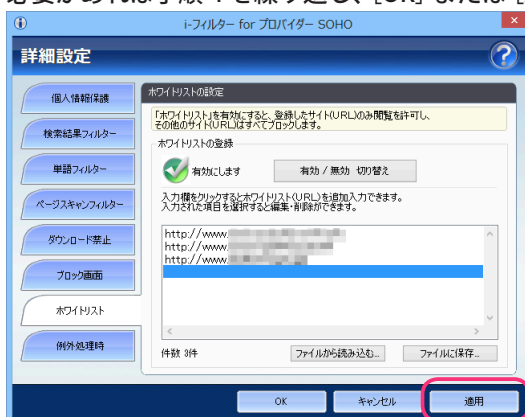
1 設定画面のトップページで、［フィルタリング設定］ボタンをクリックします。

2 ［詳細設定］ボタンをクリックします。

3 ［ホワイトリスト］ボタンをクリックします。

4 入力欄をクリックし、青く表示された入力欄を再度クリックして、ホワイトリストの URL を入力します。

注意

- ホワイトリストに登録した URLと部分的に一致する URLを持つサイトはすべて表示されます。例えば「www.daj」と登録すると、http://www.daj.jp/ifilter や http://www.daj.co.jp といったサイトは表示されます。
- ホワイトリストとして「http」を登録すると、すべてのサイトが表示されます。これはすべてのサイトで「http」を含むためです。
- 「https」ではじまるサイトは、性質上ホスト名しか参照することができません。URLのホスト名の部分のみを入力してください。例えば https://www.daj.jp/ifilter の場合、www.daj.jp と入力します。

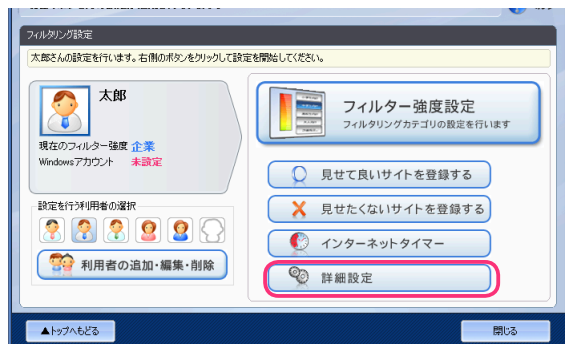
補足

- 1件の URLは、半角 500文字以内で入力してください。
- 「?」、「*」をワイルドカードとして使うことはできません。

5 必要があれば手順 4 を繰り返し、［OK］または［適用］ボタンをクリックします。

補足

- 1,000件までの URLをホワイトリストにできます。
- 登録した URLをクリックすると、URLを変えることができます。
- ［キャンセル］ボタンをクリックすると、そのとき追加した URLは削除されます。
- ［OK］ボタンをクリックすると、詳細設定画面が閉じます。

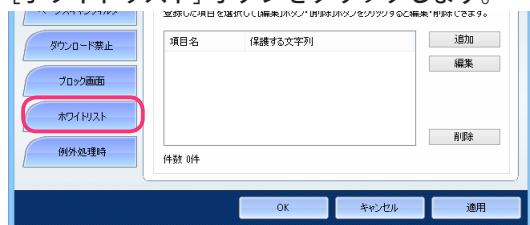
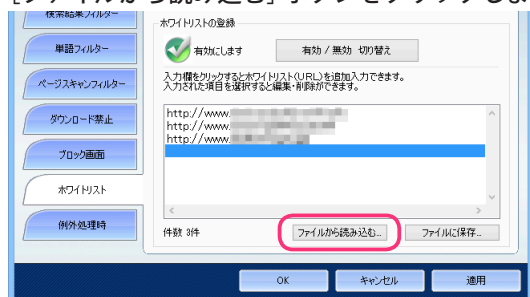
■ ホワイトリストをファイルから読み込む

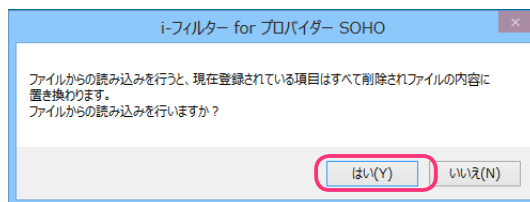
指定したサイトだけにアクセスできるホワイトリストの URLをファイルから読み込むことができます。
たくさんのサイトを登録するときに便利です。あらかじめ URLのリストがテキスト形式で保存されている
必要があります。
URLは改行で区切っておいてください。ホワイトリストには、1件につき半角 500文字、1,000件まで登録できます。

1 設定画面のトップページで、［フィルタリング設定］ボタンをクリックします。

2 ［詳細設定］ボタンをクリックします。

3 ［ホワイトリスト］ボタンをクリックします。

4 ［ファイルから読み込む］ボタンをクリックします。

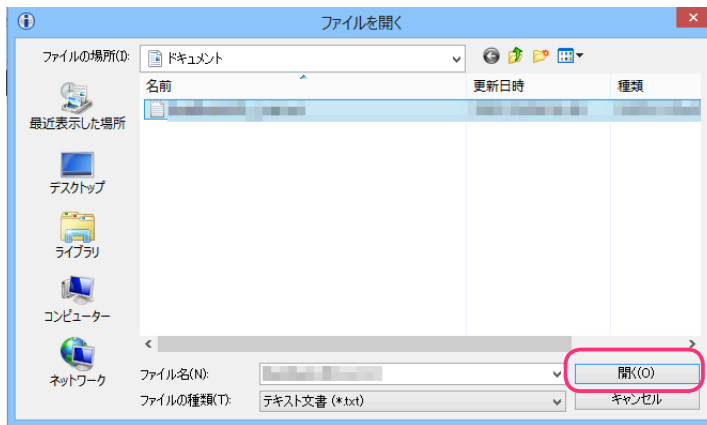
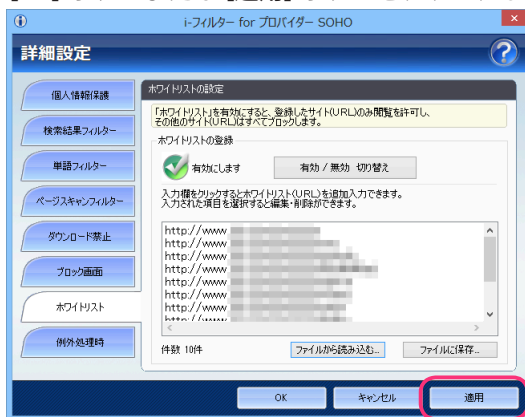
補足

- ［ファイルに保存］ボタンをクリックすると、ホワイトリストをファイルに保存できます。
  詳しくは、【ホワイトリストをファイルに保存する】(P.74) をご覧ください。

5 以下のメッセージが表示されたら、［はい］をクリックします。

注意

- ファイルからの読み込みを行うと、現在登録されている内容は、すべてファイルの内容に置き換わります。

6 読み込むファイルを指定して、［開く］ボタンをクリックします。

7 ［OK］ボタンまたは［適用］ボタンをクリックします。

補足

- ［キャンセル］ボタンをクリックすると、ファイルから読み込んだリストは適用されず、元の設定にもどってしまいます。
- ［OK］ボタンをクリックすると、詳細設定画面が閉じます。

■ ホワイトリストをファイルに保存する

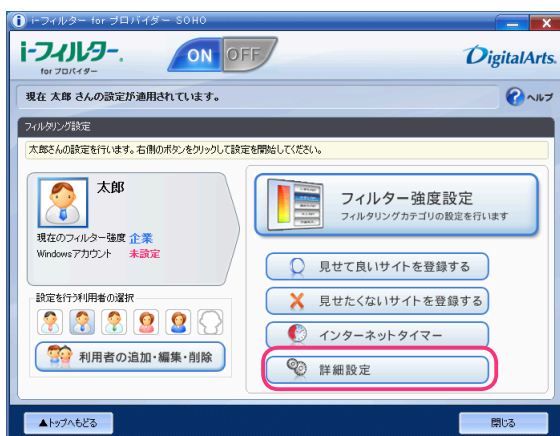
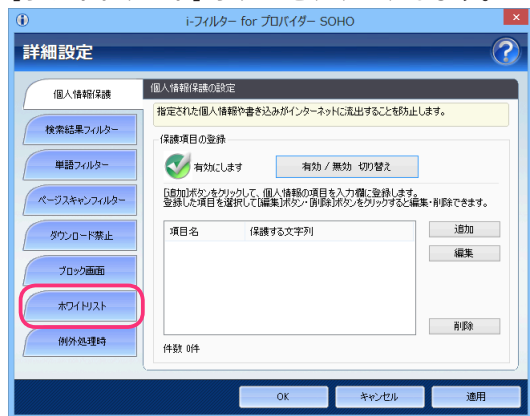
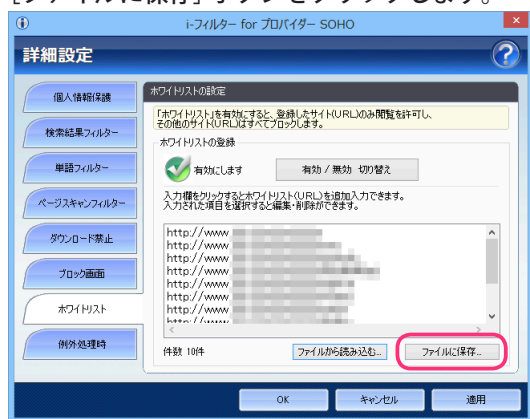
指定したサイトだけにアクセスできるホワイトリストをファイルに保存することができます。
URLを改行で区切った、テキスト形式で保存されます。

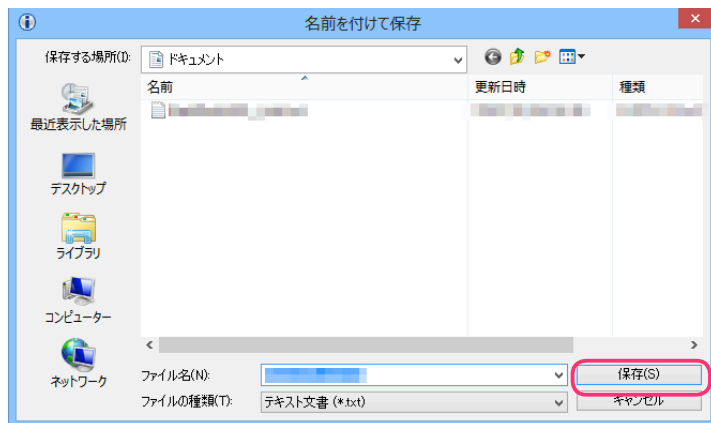
1 設定画面のトップページで、［フィルタリング設定］ボタンをクリックします。

2 ［詳細設定］ボタンをクリックします。

3 ［ホワイトリスト］ボタンをクリックします。

4 ［ファイルに保存］ボタンをクリックします。

補足

- ［ファイルから読み込む］ボタンをクリックすると、ホワイトリストをファイルから読み込めます。
  詳しくは、【ホワイトリストをファイルから読み込む】（P.73）をご覧ください。

5 保存する場所を指定して、必要があれば［ファイル名］にホワイトリストのファイル名を入力し、［保存］ボタンをクリックします。

- ファイル名を変えない場合は、「WhiteURL_List.txt」というファイル名で保存されます。

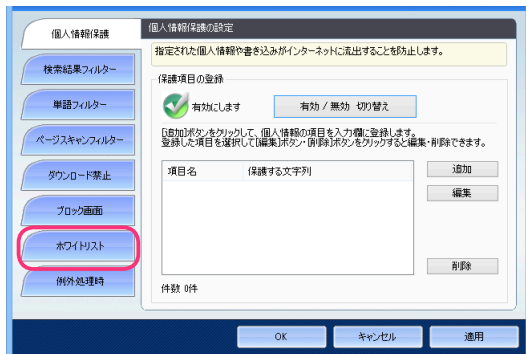
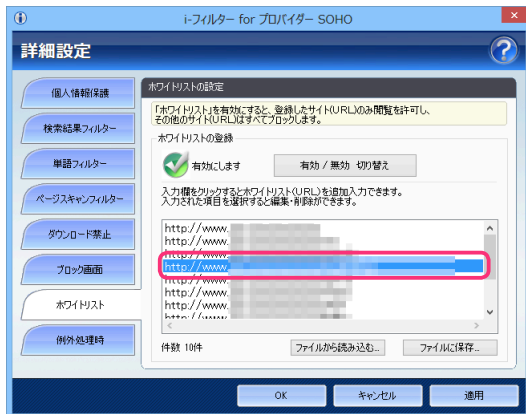
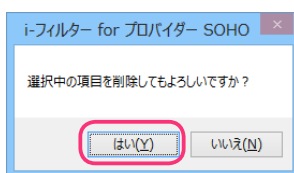
ホワイトリストがファイルに保存されます。

■ ホワイトリストを削除する

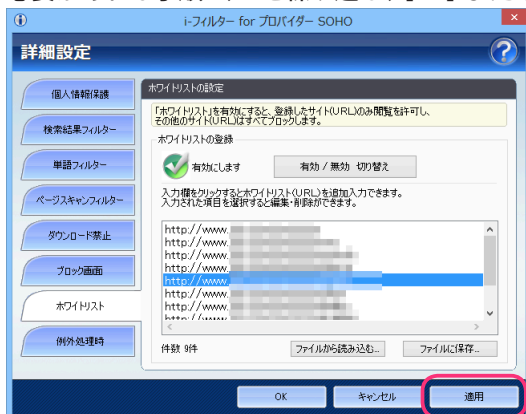
指定したサイトだけにアクセスできるホワイトリストから、URLを削除する手順を説明しています。

1 設定画面のトップページで、［フィルタリング設定］ボタンをクリックします。

2 ［詳細設定］ボタンをクリックします。

3 ［ホワイトリスト］ボタンをクリックします。

4 削除したい URL を選び、Delete キーを押します。

5 ［はい］をクリックします。

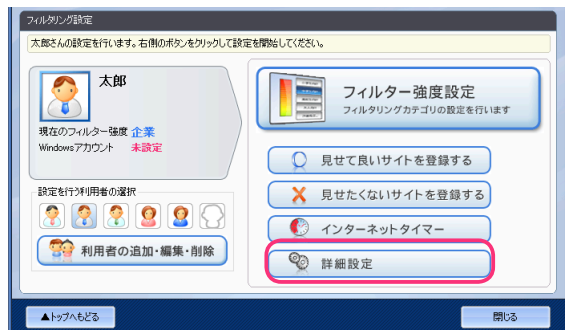
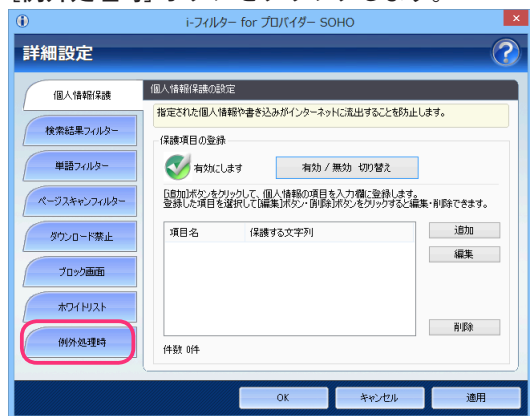
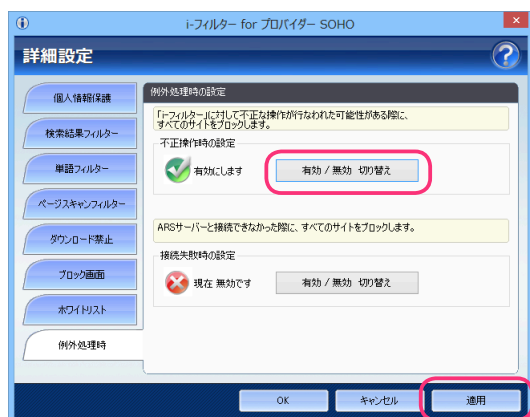
6 必要があれば手順 4、5 を繰り返し、［OK］または［適用］ボタンをクリックします。

補足

- ［キャンセル］ボタンをクリックすると、そのとき削除した URLは元にもどってしまいます。
- ［OK］ボタンをクリックすると、詳細設定画面が閉じます。

不正な操作時の設定をする（不正操作時の設定）

「i-フィルター」に対して不正な操作が行われた可能性がある際に、自動的にすべてのサイトをブロックするかどうか設定できます。不正操作時の設定は、利用者ごとに設定できます。

1 設定画面のトップページで、［フィルタリング設定］ボタンをクリックします。

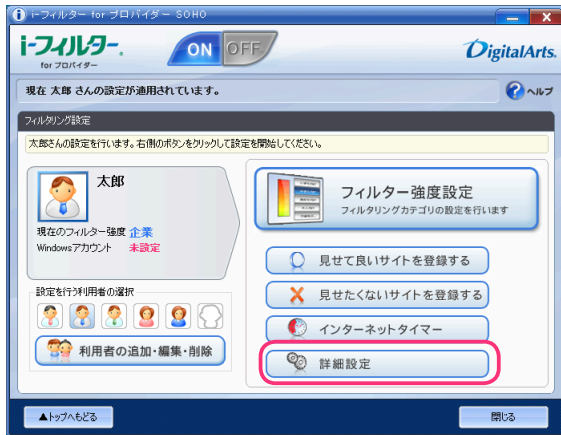
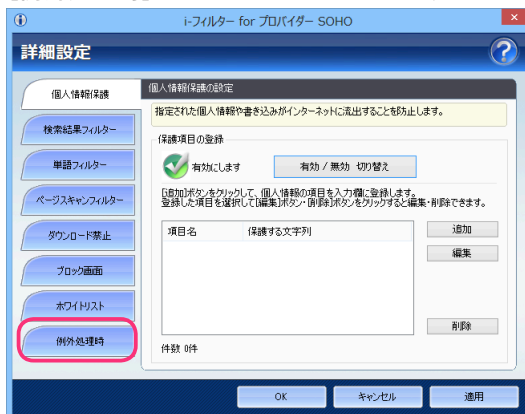
2 不正操作時の設定をする利用者をクリックし、［詳細設定］ボタンをクリックします。

3 ［例外処理時］ボタンをクリックします。

4 ［不正処理時の設定］の［有効／無効 切り替え］ボタンをクリックして、有効にします を表示させ、［OK］ボタンまたは［適用］ボタンをクリックします。

補足

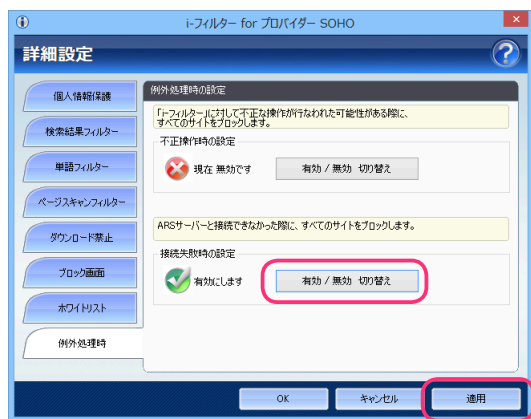
- 不正操作時の設定を無効にしたい場合は、「有効／無効 切り替え」ボタンをクリックして、無効にします を表示させます。
- ［OK］ボタンをクリックすると、詳細設定画面が閉じます。

ARSサーバー接続に失敗したときの設定をする（接続失敗時の設定）

ARSサーバーに接続できなかった際に、自動的にすべてのサイトをブロックするかどうか設定できます。
接続失敗時の設定は利用者ごとに設定できます。

1 設定画面のトップページで、［フィルタリング設定］ボタンをクリックします。

2 接続失敗時の設定をする利用者をクリックし、［詳細設定］ボタンをクリックします。

3 ［例外処理時］ボタンをクリックします。

4 ［接続失敗時の設定］の［有効／無効 切り替え］ボタンをクリックして、 有効にしますを表示させ、［OK］ボタンまたは［適用］ボタンをクリックします。

補足

- 接続失敗時の設定を無効にしたい場合は、［有効 /無効 切り替え］ボタンをクリックして、 無効にしますを表示させます。
- ［OK］ボタンをクリックすると、詳細設定画面が閉じます。

4 インターネット利用状況を知ろう

すべての利用者のインターネットアクセス履歴を見られます。アクセス数の多いサイト、サイトのカテゴリ、検索単語のランキングなどが一目でわかります。アクセス履歴から URLを選んでフィルターに追加することもできます。

どんなカテゴリのサイトを見たかを知る（カテゴリ割合）

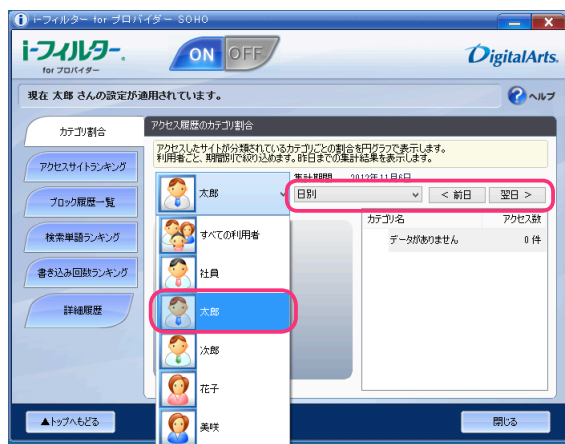
どんなカテゴリ（分類）のサイトを見たかがグラフでわかります。アクセスしたサイトだけでなく、アクセスしようとしてブロックされたサイトもグラフの集計対象となります。
日別や週別など集計期間を指定し、利用者ごとのカテゴリ割合もわかります。

注意

• 当日分は表示されません。

1 設定画面のトップページで［インターネット利用状況確認］ボタンをクリックします。

2 利用者を選び、［集計期間］で利用状況の集計期間を選びます。

補足

• ほかのページが表示されている場合は、［カテゴリ割合］ボタンをクリックしてください。
•［すべての利用者］を選ぶと、すべての利用者のアクセスが利用状況の対象となります。
• 集計期間は、以下のいずれかを選べます。
　日別／週別（月曜～日曜）／月別／ 1年間

カテゴリ割合が円グラフで表示されます。

- ［集計期間］で［日別］を設定している場合に、［前日］ボタンまたは［翌日］ボタンをクリックすると、表示された日の前日または翌日のカテゴリ割合を見られます。
- ［集計期間］で［週別(月曜～日曜)］を設定している場合に、［前週］ボタンまたは［翌週］ボタンをクリックすると、表示された日の前週または翌週のカテゴリ割合を見られます。
- ［集計期間］で［月別］を設定している場合に、［前月］ボタンまたは［翌月］ボタンをクリックすると、表示された日の前月または翌月のカテゴリ割合を見られます。
- カテゴリの内容については、【フィルターのカテゴリ一覧】(P.124) をご覧ください。

よく見たサイトのランキングを知る（アクセスサイトランキング）

どんなサイトをよく見たかがグラフと URLでわかります。日別や週別など集計期間を指定し、利用者ごとのアクセスサイトランキングもわかります。

- 当日分は表示されません。

1 設定画面のトップページで［インターネット利用状況確認］ボタンをクリックします。

2 ［アクセスサイトランキング］ボタンをクリックします。

- ［詳細履歴］ボタンをクリックすると、利用状況を詳しく知ることができます。
詳しくは、【利用状況を詳しく知る(詳細履歴)】(P.86) をご覧ください。

3 利用者を選び、［集計期間］で利用状況の集計期間を選びます。

•［すべての利用者］を選ぶと、すべての利用者のアクセスが利用状況の対象となります。
• 集計期間は、以下のいずれかを選べます。
日別／週別（月曜～日曜）／月別／ 1年間

よく見たサイトとアクセス件数がランキングで表示されます。

• ［集計期間］で［日別］を設定している場合に、［前日］ボタンまたは［翌日］ボタンをクリックすると、表示された日の前日または翌日のアクセスサイトランキングを見られます。
• ［集計期間］で［週別（月曜～日曜）］を設定している場合に、［前週］ボタンまたは［翌週］ボタンをクリックすると、表示された日の前週または翌週のアクセスサイトランキングを見られます。
• ［集計期間］で［月別］を設定している場合に、［前月］ボタンまたは［翌月］ボタンをクリックすると、表示された日の前月または翌月のアクセスサイトランキングを見られます。

ブロックされたサイトを知る（ブロック履歴一覧）

アクセスしようとしてブロックされたサイトを見ることができます。日別にブロックされたサイトを表示できます。

1 設定画面のトップページで［インターネット利用状況確認］ボタンをクリックします。

2 ［ブロック履歴一覧］ボタンをクリックします。

補足

- ［詳細履歴］ボタンをクリックすると、利用状況を詳しく知ることができます。
  詳しくは、【利用状況を詳しく知る(詳細履歴)】(P.86) をご覧ください。

3 利用者を選びます。

補足

- ［すべての利用者］を選ぶと、すべての利用者のアクセスが利用状況の対象となります。

ブロックされたサイトとブロック理由が一覧で表示されます。

補足

- ［前日］ボタンまたは［翌日］ボタンをクリックすると、前日または翌日にブロックされたサイトを見られます。

検索に使った単語のランキングを知る（検索単語ランキング）

インターネット検索サイトで検索に使った単語が、グラフと検索回数でわかります。日別や週別など集計期間を指定し、利用者ごとの検索単語ランキングもわかります。

注意

・当日分は表示されません。

1 設定画面のトップページで［インターネット利用状況確認］ボタンをクリックします。

2 ［検索単語ランキング］ボタンをクリックします。

補足

・［詳細履歴］ボタンをクリックすると、利用状況を詳細に知ることができます。
　詳しくは、【利用状況を詳しく知る（詳細履歴）】（P.86）をご覧ください。

3 利用者を選び、［集計期間］で利用状況の集計期間を選びます。

補足

・［すべての利用者］を選ぶと、すべての利用者のアクセスが利用状況の対象となります。
・集計期間は、以下のいずれかを選べます。
　日別／週別（月曜～日曜）／月別／ 1年間

検索に使った単語と検索回数がランキングで表示されます。

- ［集計期間］で［日別］を設定している場合に、［前日］ボタンまたは［翌日］ボタンをクリックすると、表示された日の前日または翌日の検索単語ランキングを見られます。
- ［集計期間］で［週別（月曜～日曜）］を設定している場合に、［前週］ボタンまたは［翌週］ボタンをクリックすると、表示された日の前週または翌週の検索単語ランキングを見られます。
- ［集計期間］で［月別］を設定している場合に、［前月］ボタンまたは［翌月］ボタンをクリックすると、表示された日の前月または翌月の検索単語ランキングを見られます。

よく使うコミュニティサイトのランキングを知る（書き込み回数ランキング）

掲示板やブログ、SNSなどのコミュニティサイトでどれだけ情報を発信したかが、グラフと書き込み回数でわかります。書き込み先のサイトも表示されます。日別や週別など集計期間を指定し、利用者ごとの書き込み回数ランキングもわかります。

- 当日分は表示されません。

1 設定画面のトップページで［インターネット利用状況確認］ボタンをクリックします。

2 ［書き込み回数ランキング］ボタンをクリックします。

- ［詳細履歴］ボタンをクリックすると、利用状況を詳細に知ることができます。
  詳しくは、【利用状況を詳しく知る（詳細履歴）】（P.86）をご覧ください。

3 利用者を選び、［集計期間］で利用状況の集計期間を選びます。

- ［すべての利用者］を選ぶと、すべての利用者のアクセスが利用状況の対象となります。
- 集計期間は、以下のいずれかを選べます。
  日別／週別（月曜～日曜）／月別／1年間

書き込み数の多いサイトと書き込み回数がランキングで表示されます。

- ［集計期間］で［日別］を設定している場合に、［前日］ボタンまたは［翌日］ボタンをクリックすると、表示された日の前日または翌日の書き込み回数ランキングを見られます。
- ［集計期間］で［週別（月曜～日曜）］を設定している場合に、［前週］ボタンまたは［翌週］ボタンをクリックすると、表示された日の前週または翌週の書き込み回数ランキングを見られます。
- ［集計期間］で［月別］を設定している場合に、［前月］ボタンまたは［翌月］ボタンをクリックすると、表示された日の前月または翌月の書き込み回数ランキングを見られます。

利用状況を詳しく知る（詳細履歴）

利用者ごとに利用状況を詳しく知ることができます。さらに表示された利用状況の URLをフィルターに登録したり、ファイルに保存することもできます。

1 設定画面のトップページで［インターネット利用状況確認］ボタンをクリックします。

2 ［詳細履歴］ボタンをクリックします。

3 ［利用者の選択］で利用者を選び、利用状況を確認します。

表示される履歴の意味は以下のとおりです。

○年○月○日の履歴	以下の利用状況が時間帯ごとに分けて表示されます。	
	全アクセス	ブロックされたアクセスと許可されたアクセスをあわせたアクセス数が表示されます。
	ブロック	ブロックされたアクセス数が表示されます。
	禁止時間	インターネットタイマーで禁止された時間にアクセスしようとした回数が表示されます。
	個人情報	個人情報を発信しようとした回数が表示されます。
（インターネットへのアクセス履歴が表示されます）	時刻	アクセスした時刻が表示されます。
	利用者名	利用者名が表示されます。
	カテゴリ	アクセスした結果が表示されます。
	URL	アクセス対象の URL が表示されます。
	タイトル	アクセス対象のタイトルが表示されます。

補足

- ［すべての利用者］を選ぶと、すべての利用者のアクセスが利用状況の対象となります。
- ［ブロックのみ］にチェックマークをつけると、ブロックされたサイトのみの詳しい履歴が表示されます。
- ［ページのみ］にチェックマークをつけると、画像ファイル、音楽ファイル、スタイルシート、スクリプトファイルを除いたページのみの詳しい履歴が表示されます。
- ［日付］で日付をクリックすると、該当する日付の詳しい履歴が表示されます。
- 履歴をダブルクリックすると、該当するサイトにアクセスできます。
- タイトルの表示は文字化けする場合があります。

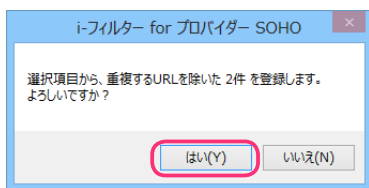
詳しい履歴から URLを見せて良いサイトに登録する

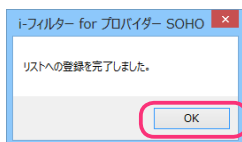
詳細履歴画面に表示された URLを選んで、見せて良いサイトに登録することができます。

1 詳細履歴画面で、見せて良いサイトとして登録したい URLを選びます。

補足

- クリックすると、1つの URLを選べます。
- URLをクリックし、次に Shiftキーを押しながら別の URLをクリックすると、最初に選んだ URLと次に選んだ URLの間にあるすべての URLを選べます。
- Ctrlキーを押しながら URLをクリックすると、複数の URLを選べます。

2 ［見せて良いサイトに登録］ボタンをクリックします。

3 ［はい］ボタンをクリックします。

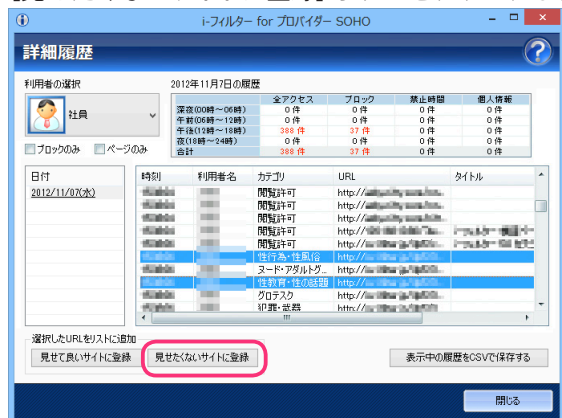
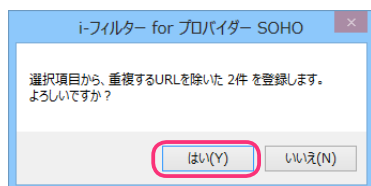
4 以下のメッセージが表示されたら［OK］ボタンをクリックします。

選んだ URLが見せて良いサイトに登録されます。

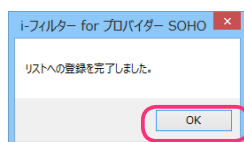
詳しい履歴から URLを見せたくないサイトに登録する

詳細履歴画面に表示された URLを選んで、見せたくないサイトに登録することができます。

1 詳細履歴画面で、見せたくないサイトとして登録したい URLを選びます。

- URLをクリックすると選べます。
- URLをクリックし、次に Shiftキーを押しながら別の URLをクリックすると、最初に選んだ URLと次に選んだ URLの間にあるすべての URLを選べます。
- Ctrlキーを押しながら URLをクリックすると、複数の URLを選べます。

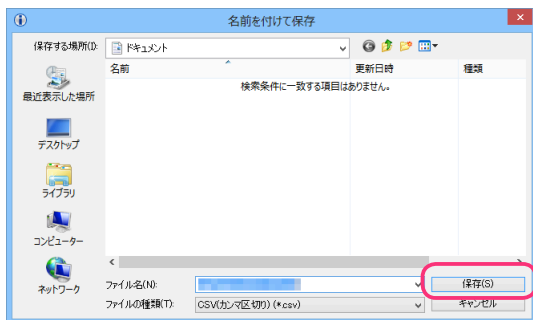
2 ［見せたくないサイトに登録］ボタンをクリックします。

3 ［はい］ボタンをクリックします。

4 以下のメッセージが表示されたら［OK］ボタンをクリックします。

選んだ URLが見せたくないサイトに登録されます。

詳しい履歴を CSVファイルに保存する

表示された詳細履歴の内容を CSV形式のファイルで保存することができます。CSV形式とは、テキストデータをカンマ（,）で区切ったファイルの形式です。テキストエディタや表計算ソフトなどで閲覧・編集することができます。

1 詳細履歴画面で［表示中の履歴を CSVで保存する］ボタンをクリックします。

2 保存する場所を選び、［ファイル名］にファイル名を入力し、［保存］ボタンをクリックします。

- ファイル名を変えない場合は、「LogReport_yyyymmdd.csv」というファイル名で保存されます。
- yyyyは「年」（西暦 2012など）、mmは「月」（01～ 12）、ddは「日」（01～ 31）で設定されます。

詳しい履歴がファイルに保存されます。

5「i-フィルター」を使いこなそう（システム設定）

「i-フィルター」を使いこなすためのさまざまな設定について説明しています。

「i-フィルター」を最新の状態にする（データ更新）

フィルターデータや「i-フィルター」のプログラムは随時更新されています。最新のフィルターデータやプログラムファイルをインターネット経由で手に入れ、フィルターの精度を高めましょう。これを「データ更新」と呼びます。データ更新には、以下の2つの方法があります。

- 【「i-フィルター」を自動でデータ更新する】
  意識しなくても自動的にデータ更新が行われます。つねに最新の「i-フィルター」をお使いいただけます。
- 【「i-フィルター」を今すぐ更新する】（P.92）
  お好きなときにデータ更新できます。

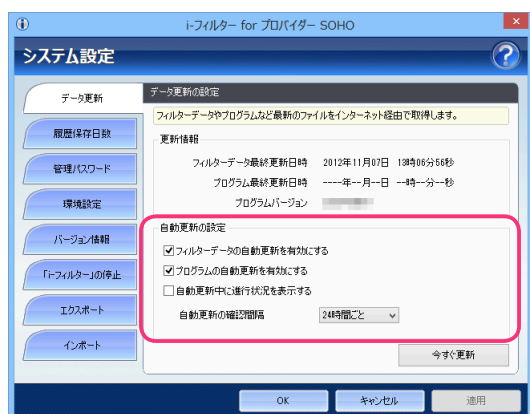
「i-フィルター」を自動でデータ更新する

つねに意識をしなくても、指定した時間ごとに、自動的に最新のファイルをダウンロードしてデータ更新を行うことを「自動更新」と呼びます。「i-フィルター」をつねに最新の状態に保つためには、自動更新の設定を有効にすることをお勧めします。初期設定では、自動更新が有効になっています。

補足

- データ更新中にインターネットへのアクセスが切断されても、アクセス復旧後にデータの続きをダウンロードし、データ更新の続きを行います。
- フィルターデータの多くはARSサーバーで持っているため、実際にダウンロードされるデータはごくわずかです。

1 設定画面のトップページで［システム設定］ボタンをクリックします。

2 設定したい内容に設定して、［OK］ボタンまたは［適用］ボタンをクリックします。

設定項目	設定内容
フィルターデータの自動更新を有効にする	チェックマークをつけると、フィルターデータを自動更新するよう設定されます。
プログラムの自動更新を有効にする	チェックマークをつけると、プログラムを自動更新するよう設定されます。
自動更新中に進行状況を表示する	チェックマークをつけると、自動更新中に進行状況が表示されるよう設定されます。
自動更新の確認間隔	自動更新する場合、最新のフィルターデータ、またはプログラムがないか確認する間隔を設定します。以下から時間の間隔を選べます。初期設定では、「24 時間ごと」が設定されています。 3 時間ごと／ 6 時間ごと／ 9 時間ごと／ 12 時間ごと／ 24 時間ごと／ 48 時間ごと

補足

- システム設定画面でほかのボタンが表示されている場合は、[データ更新] ボタンをクリックします。
- [更新情報] には、フィルターデータの最終更新日時、プログラムの最終更新日時、プログラムのバージョンが表示されます。
- データ更新中にもインターネットにアクセスしたり、フィルター機能を使えます。
- インストール直後のデータ更新は自動で行われます。
- [OK] ボタンをクリックすると、システム設定画面が閉じます。

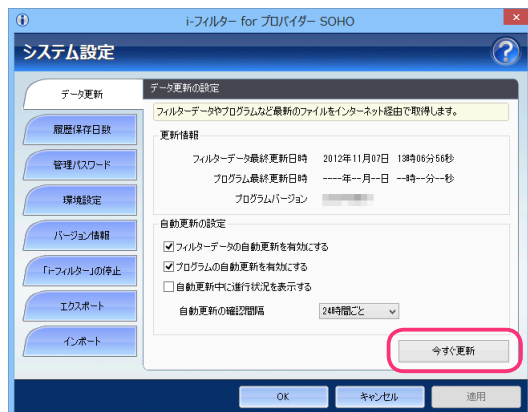
「i-フィルター」を今すぐ更新する

最新のフィルターデータやプログラムファイルをお好みのときにダウンロードし、データ更新する手順を説明しています。

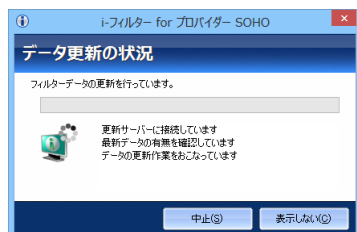
補足

- データ更新中にインターネットへのアクセスが切断されても、アクセス復旧後にデータの続きをダウンロードし、データ更新の続きを行います。
- フィルターデータの多くは ARSサーバーで持っているため、実際にダウンロードされるデータはごくわずかです。

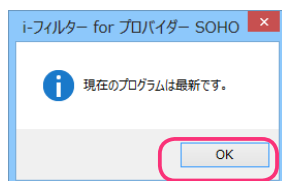
1 設定画面のトップページで [システム設定] ボタンをクリックします。

2 [今すぐ更新] ボタンをクリックします。

補足

- システム設定画面でほかのボタンが表示されている場合は、[データ更新] ボタンをクリックします。
- [更新情報] には、フィルターデータの最終更新日時、プログラムの最終更新日時、プログラムのバージョンが表示されます。

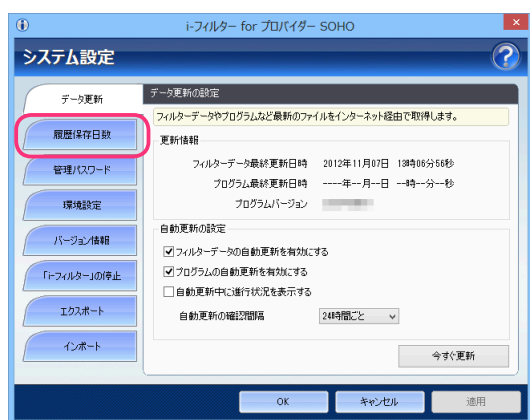
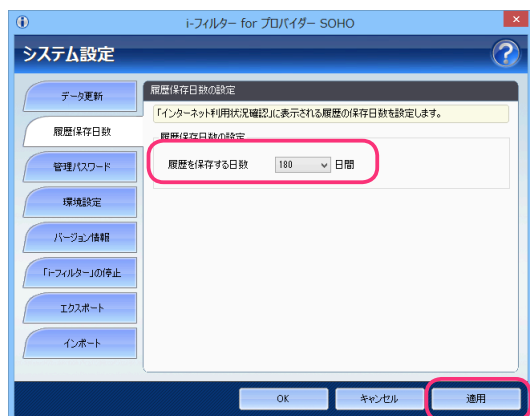
データ更新状況が表示されます。

補足

- データ更新中にもインターネットにアクセスしたり、フィルター機能を使えます。
- インストール直後のデータ更新は自動で行われます。
- 自動更新機能を無効にするには、【「i-フィルター」を自動でデータ更新する】(P.91) をご覧になり、[フィルターデータの自動更新を有効にする] と [プログラムの自動更新を有効にする] のチェックマークをはずしてください。

3 以下のメッセージが表示されたら、[OK] ボタンをクリックします。

履歴の保存日数を設定する

利用状況の表示（P.83）は、インターネットのアクセス履歴を基にしています。アクセス履歴を保存する日数を設定する方法を説明しています。

1 設定画面のトップページで［システム設定］ボタンをクリックします。

2 ［履歴保存日数］ボタンをクリックします。

3 ［履歴を保存する日数］を設定して、[OK] ボタンまたは［適用］ボタンをクリックします。

- インターネットでアクセスしたり、ブロックされた履歴を保存する日数を以下から選べます。初期設定では、「365」が設定されています。
  0（なし）／ 7／ 15／ 30／ 60／ 90／ 180／ 365
- ［履歴を保存する日数］に「0（なし）」を設定した場合は、履歴が保存されません。
  過去の履歴もすべて削除されます。
- ［履歴を保存する日数］に「0（なし）」以外を設定した場合は、設定した日数が過ぎた履歴が古いものから自動的に削除されます。
- 「i-フィルター」の再起動後に設定が有効になります。
- [OK] ボタンをクリックすると、システム設定画面が閉じます。

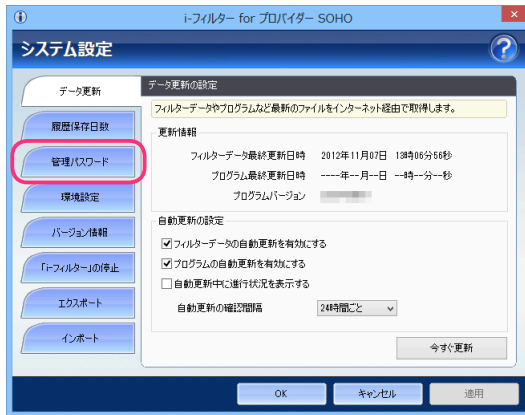
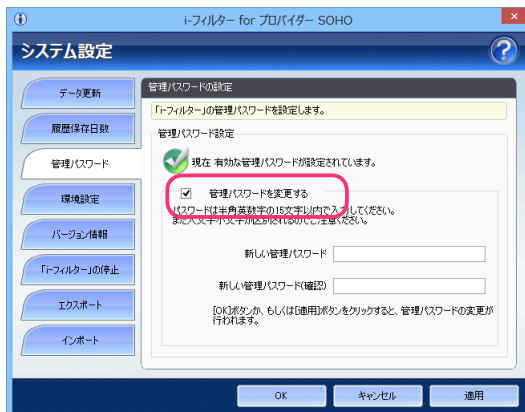
「i-フィルター」設定用の管理パスワードを変える

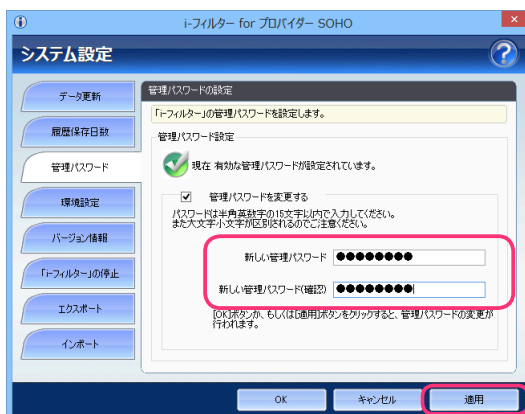
「i-フィルター」の設定に使う管理パスワードを変える手順を説明しています。

注意

- 管理パスワードを忘れてしまったときは、設定画面にログインできなくなります。管理パスワードの入力画面で［管理パスワードを忘れた場合］をクリックして、パスワード解読キー発行の手続きを行ってください。
  詳しくは、【困ったときには（管理パスワード）】（P.117）をご覧ください。

1 設定画面のトップページで［システム設定］ボタンをクリックします。

2 ［管理パスワード］ボタンをクリックします。

3 ［管理パスワードを変更する］にチェックマークをつけます。

4 ［新しい管理パスワード］と［新しい管理パスワード（確認）］に新しい管理パスワードを入力して、［OK］ボタンまたは［適用］ボタンをクリックします。

補足

- 管理パスワードは半角英数字 15 字以内で入力します。大文字と小文字は区別されます。
- 管理パスワードは、「i-フィルター」の設定を行うための大切なものです。忘れてしまわないように大切に保管してください。
- 管理パスワードは、ほかの使用者に知られると設定の変更ができてしまうので、知られないようにしてください。
- ［OK］ボタンをクリックすると、システム設定画面が閉じます。

起動に関する表示とプロキシサーバーの設定をする

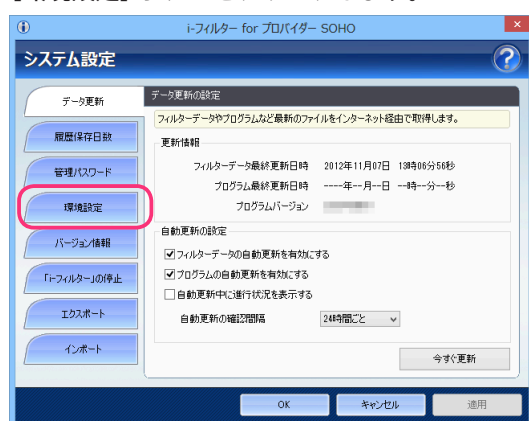
「i-フィルター」の起動に関する設定やプロキシサーバーの設定について説明しています。

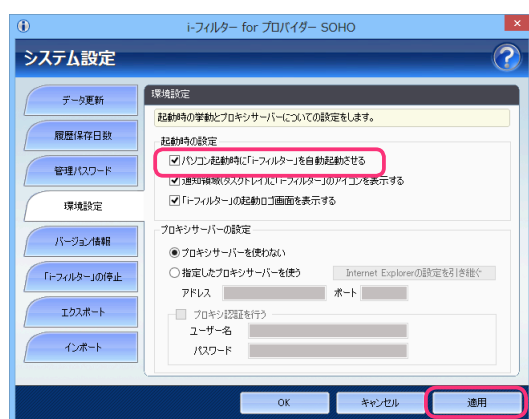
「i-フィルター」の起動に関する設定をする

「i-フィルター」の起動に関する設定について説明しています。

■ **自動的に起動する／しない**

Windows を起動すると、自動的に「i-フィルター」が起動するよう設定できます。初期設定では、「i-フィルター」が自動的に起動するよう設定されています。
セキュリティのために自動的に起動するよう設定しておくことをお勧めします。

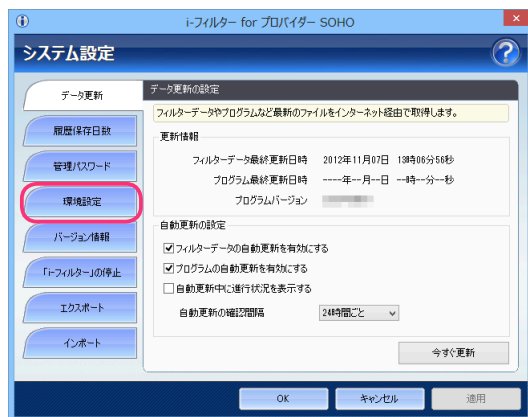
1 設定画面のトップページで［システム設定］ボタンをクリックします。

2 ［環境設定］ボタンをクリックします。

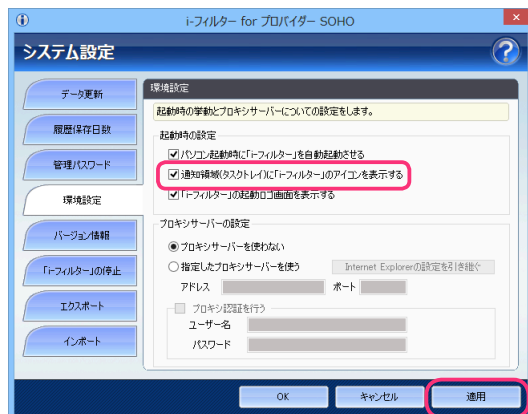
3 ［起動時の設定］で［パソコン起動時に「i- フィルター」を自動起動させる］にチェックマークをつけて、［OK］ボタンまたは［適用］ボタンをクリックします。

- 自動的に起動させたくない場合は［パソコン起動時に「i-フィルター」を自動起動させる］のチェックマークをはずして、［OK］ボタンまたは［適用］ボタンをクリックします。
- ［OK］ボタンをクリックすると、システム設定画面が閉じます。

■ 通知領域(タスクトレイ)にアイコンを表示する/しない

通知領域(タスクトレイ)に、「i-フィルター」のアイコン を表示させる手順を説明しています。
初期設定では通知領域(タスクトレイ)にアイコンを表示するよう設定されています。

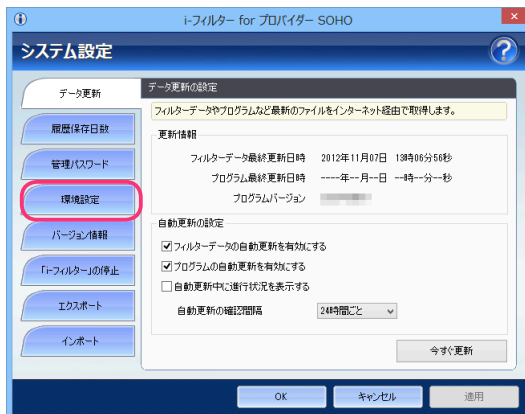
- 通知領域(タスクトレイ)の から、「i-フィルター」の設定を行う設定画面を表示させることができます。詳しくは、【設定画面を表示する】(P.7)をご覧ください。
- 通知領域(タスクトレイ)の の状態から、「i-フィルター」のオン/オフや現在利用可能かを知ることができます。詳しくは、【通知領域(タスクトレイ)のアイコンを使う】(P.107)をご覧ください。
- 通知領域(タスクトレイ)の にカーソルをあわせると、フィルタリングされる利用者がポップアップで表示されます。また、インターネットタイマーの制限時間を設定した場合は、現在の残り時間がポップアップで表示されます。詳しくは、【インターネットを使う制限時間の残り時間を確認する】(P.41)をご覧ください。

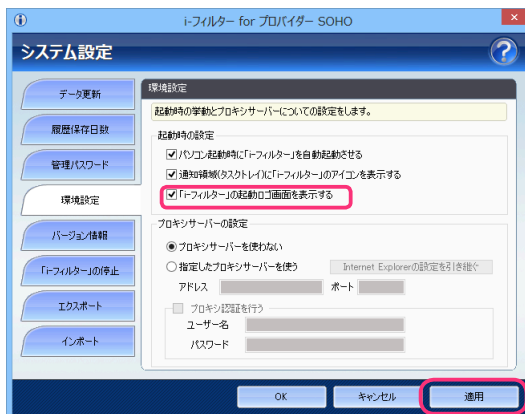
1 設定画面のトップページで[システム設定]ボタンをクリックします。

2 [環境設定]ボタンをクリックします。

3 [起動時の設定]で[タスクトレイ(通知領域)に「i-フィルター」のアイコンを表示する]にチェックマークをつけて、[OK]ボタンまたは[適用]ボタンをクリックします。

- 通知領域(タスクトレイ)に を表示させたくない場合は、[タスクトレイ(通知領域)に「i-フィルター」のアイコンを表示する]のチェックマークをはずして、[OK]ボタンまたは[適用]ボタンをクリックします。
- 「i-フィルター」の再起動後に設定が有効になります。
- [OK]ボタンをクリックすると、システム設定画面が閉じます。

■ 起動時にロゴ画面を表示する／しない

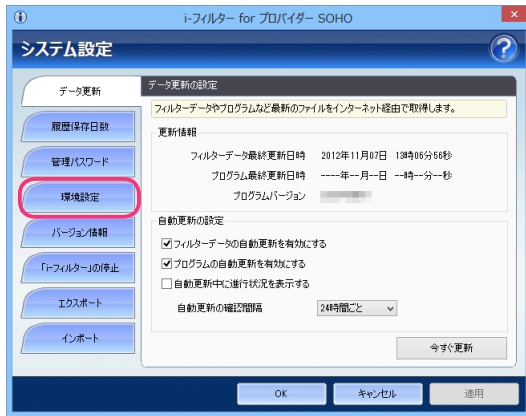
「i-フィルター」の起動時にロゴ画面を表示させる方法を説明しています。

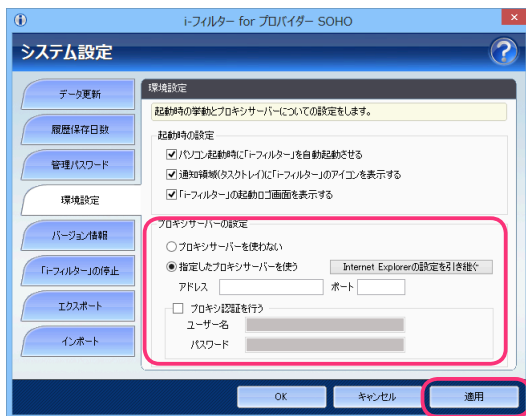
1 設定画面のトップページで［システム設定］ボタンをクリックします。

2 ［環境設定］ボタンをクリックします。

3 ［起動時の設定］で［「i-フィルター」の起動ロゴ画面を表示する］にチェックマークをつけて、［OK］ボタンまたは［適用］ボタンをクリックします。

- 起動時にロゴ画面を表示させたくない場合は、［「i-フィルター」の起動ロゴ画面を表示する］のチェックマークをはずして、［OK］ボタンまたは［適用］ボタンをクリックします。
- ［OK］ボタンをクリックすると、システム設定画面が閉じます。

プロキシサーバーの設定をする

インターネットのアクセスにプロキシサーバーの設定をしているときは、「i-フィルター」でもプロキシサーバーの設定をする必要があります。通常は設定する必要はありません。

1 設定画面のトップページで［システム設定］ボタンをクリックします。

2 ［環境設定］ボタンをクリックします。

3 ［プロキシサーバーの設定］でプロキシサーバーの設定をして、［OK］ボタンまたは［適用］ボタンをクリックします。

設定項目	設定内容	
プロキシサーバーを使わない	プロキシサーバーを使いません。 ※ 通常は、この設定を選んでください。	
Internet Explorer の設定を引き継ぐ	Internet Explorer のプロキシサーバー設定を自動で読み込みます。	
指定したプロキシサーバーを使う	プロキシサーバーを手動で設定します。	
	アドレス	プロキシサーバーのアドレスを入力します。 ※ 半角英数で入力してください。
	ポート	プロキシサーバーのポートを入力します。 ※ ほかのソフトウェアと重複しないものを入力してください。 ※ 半角数字で入力してください。
プロキシ認証を行う	ユーザー名	認証を行うための、ユーザー名を入力します。
	パスワード	認証を行うための、パスワードを入力します。

- プロキシ認証は、Basic認証のみ対応しています。
- ［OK］ボタンをクリックすると、システム設定画面が閉じます。

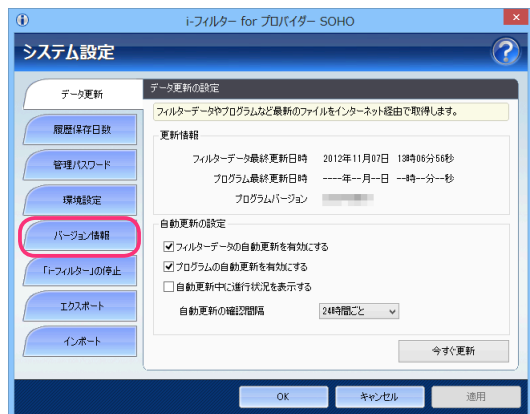
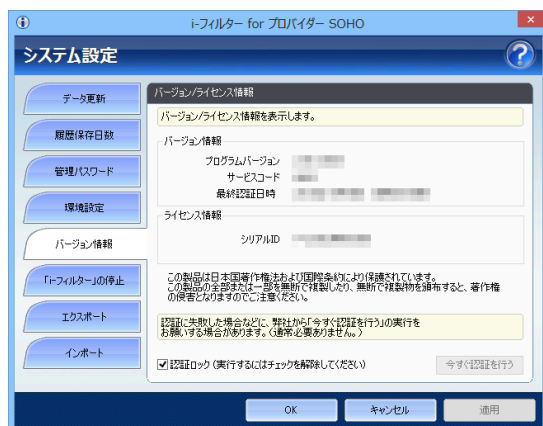
バージョン情報を見る

「i-フィルター」のバージョン情報、ライセンス情報を表示できます。プログラムのバージョンやサービスコード、最終認証日時、シリアル IDがわかります。サポートをお受けいただく場合に必要となる情報です。

補足

- 通知領域（タスクトレイ）の をクリックして、[サポート] → [バージョン情報] をクリックしても バージョン情報・ライセンス情報を見ることができます。

1 設定画面のトップページで［システム設定］ボタンをクリックします。

2 ［バージョン情報］ボタンをクリックします。

バージョン情報とライセンス情報が表示されます。

表示・設定項目		表示・設定内容
バージョン情報	プログラムバージョン	「i- フィルター」のバージョンが表示されます。
	サービスコード	「i- フィルター」の製品コードが表示されます。
	最終認証日時	最後に「i- フィルター」のサーバーへ認証を行った日時が表示されます。
ライセンス情報	シリアル ID	「i- フィルター」のシリアル ID が表示されます。
［認証ロック］		認証を確認するときなどに使う場合があります。

「i-フィルター」を停止／起動する

「i-フィルター」の停止方法と再起動方法について説明しています。

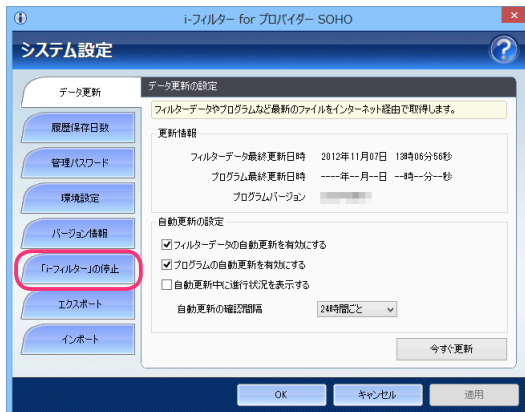
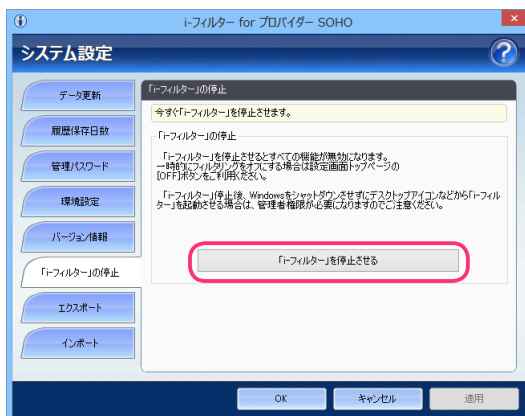
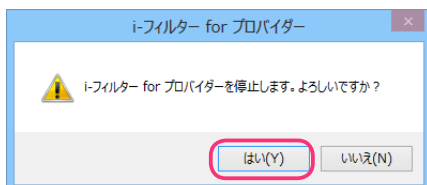
「i-フィルター」を停止する

「i-フィルター」を停止させることができます。「i-フィルター」を停止させると、「i-フィルター」の機能がご利用できなくなります。

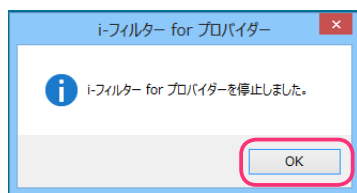
注意

- 「i-フィルター」を停止させることができるのは、Windowsの管理者権限を持つ利用者のみです。

1 設定画面のトップページで［システム設定］ボタンをクリックします。

2 ［「i-フィルター」の停止］ボタンをクリックします。

3 ［「i-フィルター」を停止させる］ボタンをクリックします。

4 ［はい］ボタンをクリックします。

5 「次のプログラムにこのコンピューターへの変更を許可しますか？」というメッセージが表示されたら［続行］ボタンをクリックしてください。

- Windows XPの場合は、この操作は必要ありません。手順 6に進んでください。

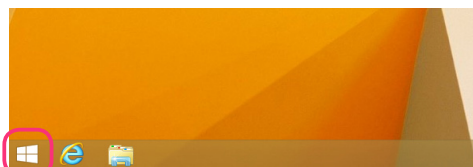
6 ［OK］ボタンをクリックします。

「i-フィルター」が停止されます。

- 「i-フィルター」を自動的に起動するように設定している場合は、Windowsを再起動したり、ログオンし直したりすると「i-フィルター」が起動します。詳しくは、【自動的に起動する／しない】（P.95）をご覧ください。

「i-フィルター」を起動する

「i-フィルター」を起動する方法を説明しています。

- 「i-フィルター」を起動させることができるのは、Windowsの管理者権限を持つ利用者のみです。

1 画面左下の［スタートチップ］をクリックします。

2 スタート画面（またはアプリ一覧画面）から［i-フィルター for プロバイダー SOHO］をクリックします。

- Windows 8の場合は、マウスポインターを画面右上に合わせチャームを表示し、［スタート］をクリックします。次に表示されたスタート画面から［i-フィルター for プロバイダー SOHO］をクリックします。
- Windows 7、Vista、XPの場合は、Windowsのスタートボタンから［すべてのプログラム］（または［プログラム］）→［i-フィルター for プロバイダー SOHO］→［i-フィルター for プロバイダー SOHO］をクリックします。
- デスクトップの［i-フィルター for プロバイダー SOHO］アイコンをダブルクリック（設定によってはシングルクリック）しても同様の操作です。

3 「次のプログラムにこのコンピューターへの変更を許可しますか？」というメッセージが表示されたら、［続行］ボタンをクリックします。

- Windows XPの場合は、この操作は必要ありません。

「i-フィルター」が起動します。

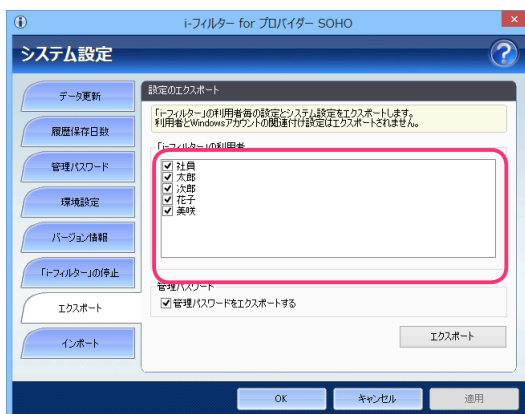
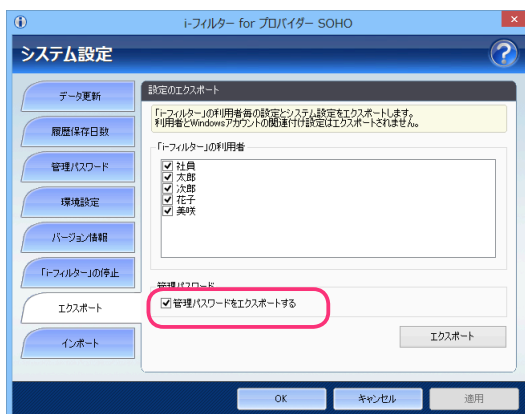
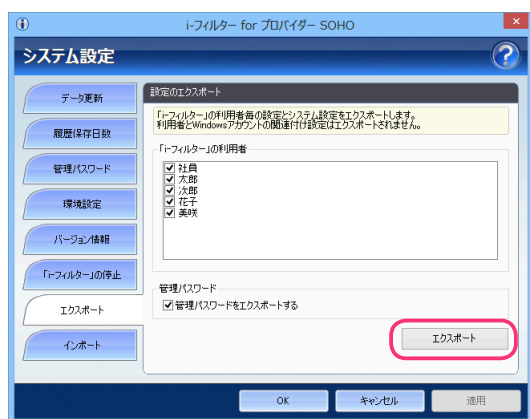
設定をエクスポートする

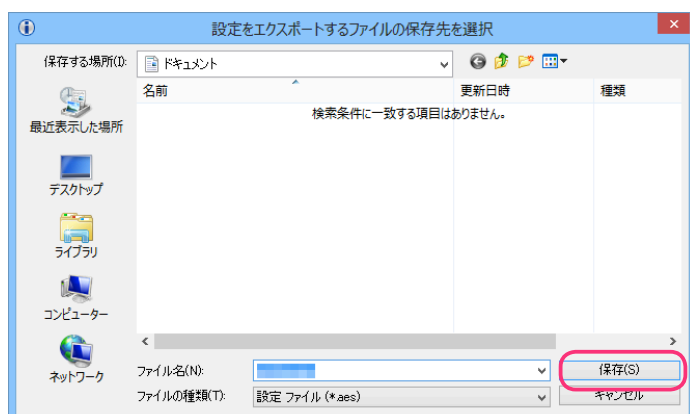
「i-フィルター」の利用者ごとの設定とシステム設定をエクスポートする手順を説明しています。

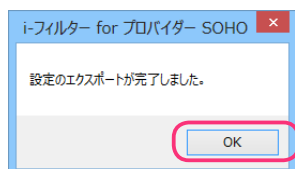
- 利用者と Windowsアカウントの関連付けの設定はエクスポートすることはできません。

1 設定画面のトップページで [システム] 設定ボタンをクリックします。

2 [エクスポート] ボタンをクリックします。

3 設定をエクスポートしたい「i- フィルター」の利用者を選択します。

4 管理パスワードをエクスポートする場合は [管理パスワードをエクスポートする] にチェックをつけます。
管理パスワードをエクスポートしない場合はチェックをはずしてください。

5 [エクスポート]ボタンをクリックします。

6 保存する場所を選び、[ファイル名] にファイル名を入力し、[保存] ボタンをクリックします。

補足

- ファイル名を変えない場合は、「setting.aes」というファイル名で保存されます。

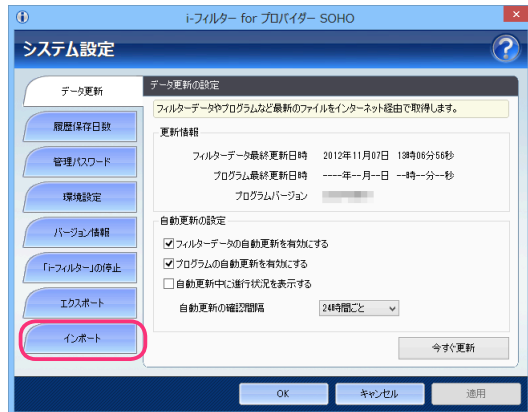
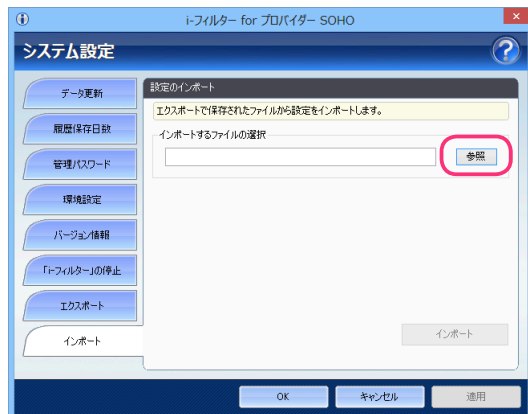
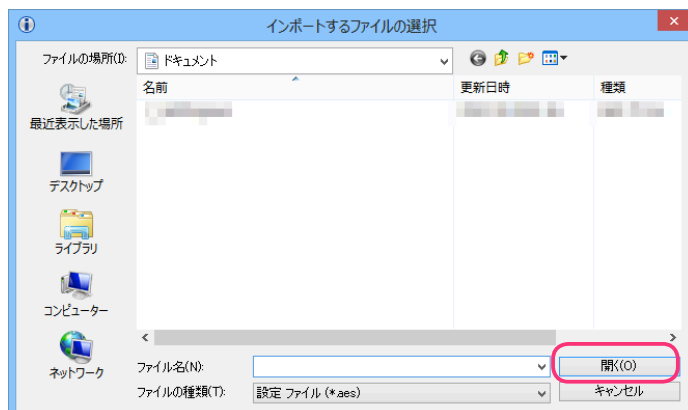
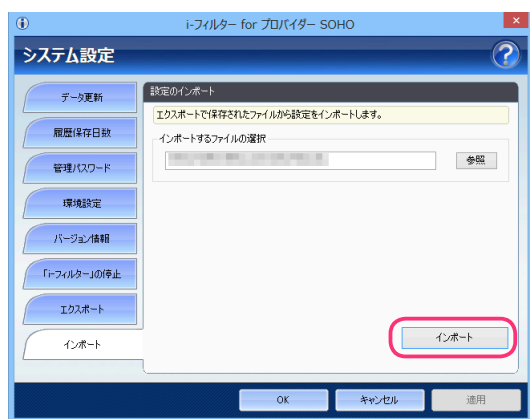
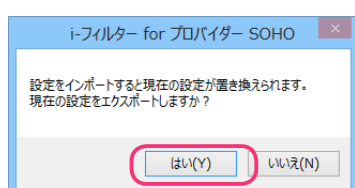
7 以下のメッセージが表示されたら、[OK] ボタンをクリックします。

補足

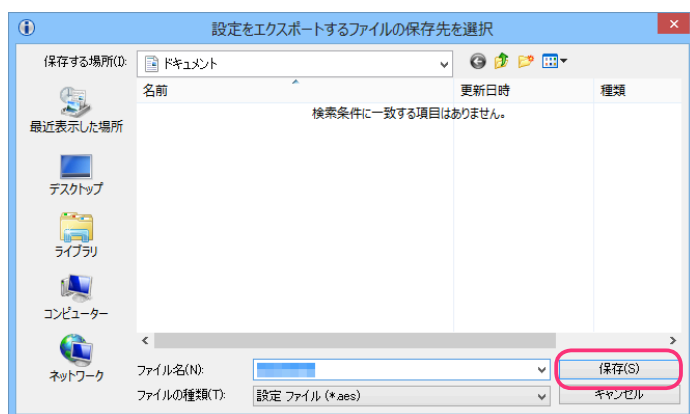
- エクスポート画面の［OK］ボタンをクリックすると、システム設定画面が閉じます。

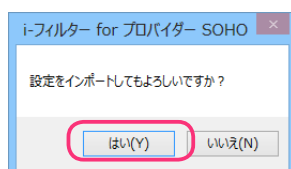
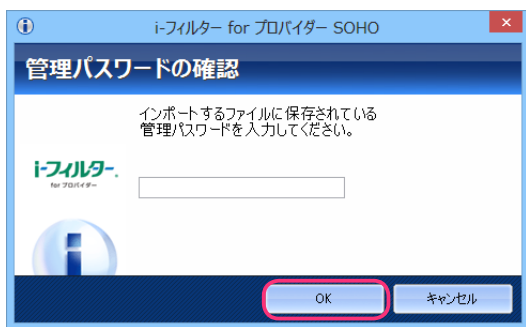
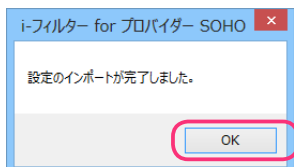
設定をインポートする

エクスポートで保存されたファイルから設定をインポートする手順を説明しています。

1 設定画面のトップページで [システム設定]ボタンをクリックします。

2 [インポート]ボタンをクリックします。

3 [参照] ボタンをクリックします。

4 インポートするファイルを選択し、[開く] ボタンをクリックします。

5 [インポート] ボタンをクリックします。

6 現在の設定をバックアップのため、エクスポートする場合は、[はい] ボタンをクリックします。
バックアップの必要がない場合は、[いいえ] ボタンをクリックして、8 へお進みください。

7 保存する場所を選び、[ファイル名] にファイル名を入力し、[保存] ボタンをクリックします。

補足

・ファイル名を変えない場合は、「setting.aes」というファイル名で保存されます。

8 以下のメッセージが表示されたら、[はい] ボタンをクリックします。

9 インポートするファイルに保存されている、「管理パスワード」を入力して、[OK] ボタンをクリックします。

10 以下のメッセージが表示されたら、[OK] ボタンをクリックします。

- インポート画面の［OK］ボタンをクリックすると、システム設定画面が閉じます。

6 その他

「i-フィルター」を使うための便利な機能をご紹介します。

通知領域（タスクトレイ）のアイコンを使う

通知領域（タスクトレイ）に表示される「i-フィルター」アイコンから「i-フィルター」の設定や利用者の切り替えなどを行えます。

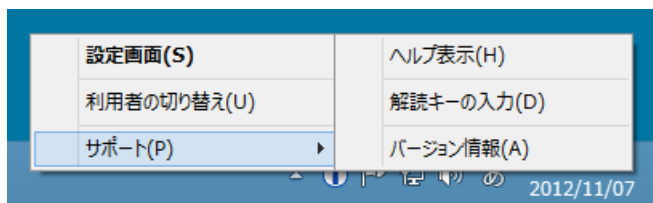
通知領域（タスクトレイ）のアイコンで、フィルター機能の状態がわかります。

（青色）	フィルター機能がオンです。詳しくは、【フィルターをオン／オフする】（P.10）をご覧ください。
（灰色）	フィルター機能がオフです。詳しくは、【フィルターをオン／オフする】（P.10）をご覧ください。
	「i- フィルター」が利用停止の状態になっています。「i- フィルター」のシリアル ID が利用できない可能性があります。詳しくは、ご契約のプロバイダーまでご確認ください。

補足

- 「i-フィルター」の設定画面が表示されている場合は、通知領域（タスクトレイ）の からの操作は行えません。
- お客さまの設定により、通知領域（タスクトレイ）の が表示されないよう設定している場合があります。
  詳しくは、【通知領域（タスクトレイ）にアイコンを表示する／しない】（P.96）をご覧ください。
- お客さまの設定により、アイコンが隠れている場合があります。通知領域（タスクトレイ）にある をクリックして、隠れていたアイコンを表示させてください。

■ 通知領域（タスクトレイ）のアイコンからできること

通知領域（タスクトレイ）の をクリックすると、ポップアップメニューが表示されます。
メニューから項目をクリックすると、指定した項目を実行できます。

通知領域（タスクトレイ）の から実行できるメニューは、以下のとおりです。

設定画面	設定画面が表示されます。詳しくは、【設定画面を表示する】（P.7）をご覧ください。	
利用者の切り替え	利用者切り替え画面が表示されます。詳しくは【利用者を切り替える】（P.16）をご覧ください。 ※ 利用者が 1 人の場合は、[利用者の切り替え] がグレーで表示され、選ぶことができません。	
サポート	ヘルプ表示	ヘルプが表示されます。詳しくは、【ヘルプを見る】（P.108）をご覧ください。
	解読キーの入力	管理パスワードを表示するための解読キー入力画面が表示されます。 詳しくは、【困ったときには（管理パスワード）】（P.117）をご覧ください。
	バージョン情報	バージョン情報画面が表示されます。詳しくは、【バージョン情報を見る】（P.99）をご覧ください。

ヘルプを見る

「i-フィルター」について、わからない点や知りたいことがあったときは、ヘルプを見ることができます。

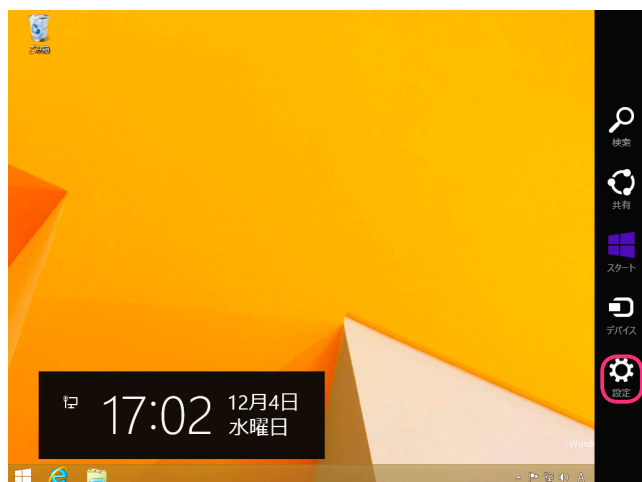
- かんたんナビゲーションを使うと、「i-フィルター」の使い方を目的別に探せます。ヘルプと併せてご覧ください。
  詳しくは、【かんたんナビゲーションで操作がすぐわかる】（P.11）をご覧ください。

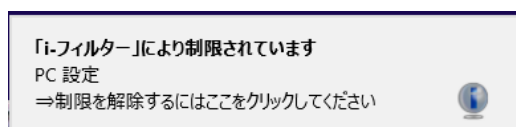
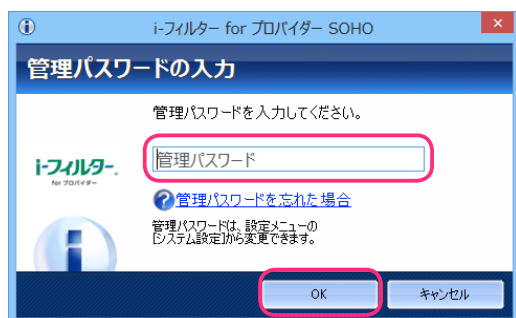
1 設定画面のトップページで、［ヘルプ］ボタンをクリックします。

- システム設定画面、詳細履歴画面でヘルプを見るには、をクリックします。
- 通知領域（タスクトレイ）のをクリックして、［サポート］→［ヘルプ表示］をクリックしてもヘルプを表示できます。

PC設定の制限を解除する

Windows 8.1、8をお使いの場合、「i-フィルター」によって PC設定の起動を制限しています。
PC設定の制限は「i-フィルター」の管理パスワードで解除することができます。

1 マウスポインターを画面右上にあわせチャームを表示し、[設定] ボタンをクリックします。

2 [PC 設定の変更] をクリックします。

3 画面右上に表示される「i- フィルター」のメッセージをクリックします。

4 管理パスワードを入力し、[OK] ボタンをクリックします。

「i-フィルター」をアンインストールする

「i-フィルター」をアンインストールする手順を説明しています。

Windows 8.1、8をお使いの場合

Windows 8.1、8をお使いの場合に、「i-フィルター」をアンインストールする方法を説明しています。

・「i-フィルター」をアンインストールするときは、必ず管理者（Administrator）権限でログオンして行ってください。

1 「i-フィルター」を停止させます。

・「i-フィルター」の停止については【「i-フィルター」を停止する】（P.100）をご覧ください。
・ほかのアプリケーションを終了します。

2 画面左下の [スタートチップ] をクリックします。

次に スタート画面が表示されるので、画面左下の をクリックします。
表示された アプリ一覧画面の中から [コントロールパネル] をクリックします。

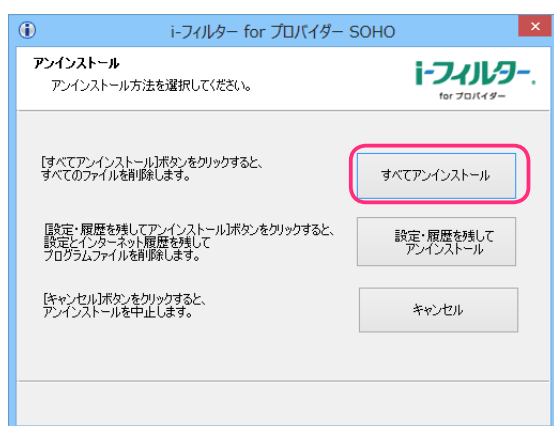
・Windows 8の場合はマウスポインターを画面右上に合わせチャームを表示し、[スタート]をクリックします。
次に表示された スタート画面上で右クリックをして表示される [すべてのアプリ]をクリックします。
表示された アプリ一覧画面の中から [コントロールパネル]をクリックします。

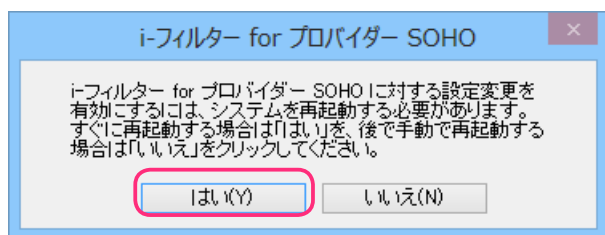
3 ［プログラムのアンインストール］をクリックします。

・ 上記画面と異なる画面が表示された場合は、画面左上にある［コントロール パネル ホーム］を
クリックしてください。

4 ［i- フィルター for プロバイダー SOHO］をクリックし、［アンインストール］をクリックします

5 「次のプログラムにこのコンピューターに対するソフトウェアの更新を許可しますか？」というメッセージが表示されたら、［はい］ボタンをクリックします。

6 ［すべてアンインストール］ボタンをクリックします。

- 設定・履歴を残してアンインストールしたい場合は、［設定・履歴を残してアンインストール］ボタンをクリックしてください。
- ［設定・履歴を残してアンインストール］を選択した場合でも、管理パスワードは初期化されます。

7 ［はい］ボタンをクリックします。

- すぐに Windowsを終了させたくない場合は、［いいえ］ボタンをクリックしてください。

Windowsが再起動され、「i-フィルター」のアンインストールが完了します。

Windows 7、Vistaをお使いの場合

Windows 7、Vistaをお使いの場合に、「i-フィルター」をアンインストールする方法を説明しています。

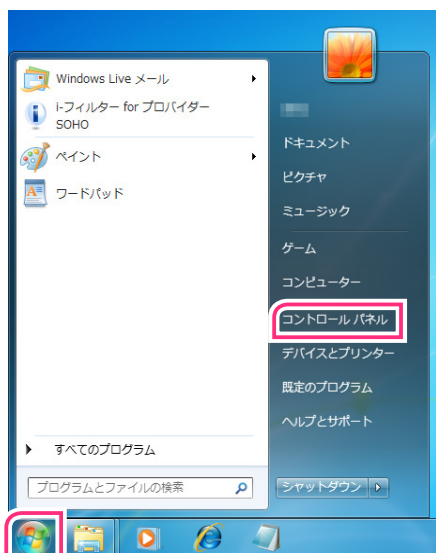
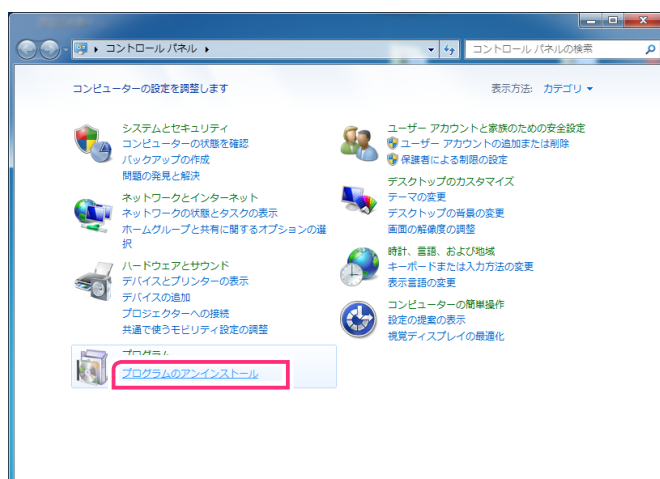
注意

・「i-フィルター」をアンインストールするときは、必ず管理者（Administrator）権限でログオンして行ってください。

1 「i-フィルター」を停止させます。

補足

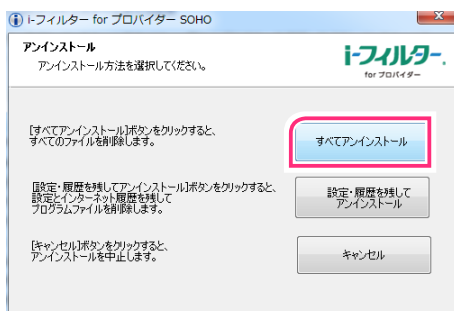
・「i-フィルター」の停止については【「i-フィルター」を停止する】（P.100）をご覧ください。
・ほかのアプリケーションを終了します。

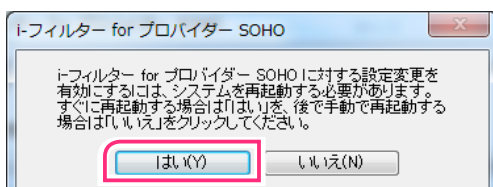
2 Windows のスタートボタンから［コントロールパネル］をクリックします。

3 ［プログラムのアンインストール］をクリックします。

補足

・上記画面と異なる画面が表示された場合は、画面左上にある［コントロール パネル ホーム］をクリックしてください。

4 ［i- フィルター for プロバイダー SOHO］をクリックし、［アンインストール］をクリックします。

5 「次のプログラムにこのコンピューターに対するソフトウェアの更新を許可しますか？」というメッセージが表示されたら、［はい］ボタンをクリックします。

6 ［すべてアンインストール］ボタンをクリックします。

- 設定・履歴を残してアンインストールしたい場合は、［設定・履歴を残してアンインストール］ボタンをクリックしてください。
- ［設定・履歴を残してアンインストール］を選択した場合でも、管理パスワードは初期化されます。

7 ［はい］ボタンをクリックします。

- すぐに Windowsを終了させたくない場合は、［いいえ］ボタンをクリックしてください。

Windowsが再起動され、「i-フィルター」のアンインストールが完了します。

Windows XPをお使いの場合

Windows XPをお使いの場合に、「i-フィルター」をアンインストールする方法を説明しています。

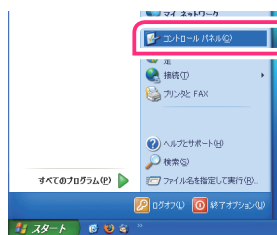
注意

・「i-フィルター」をアンインストールするときは、必ず管理者（Administrator）権限でログオンして行ってください。

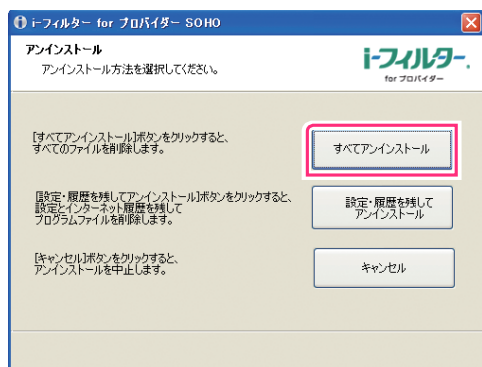
1 「i-フィルター」を停止させます。

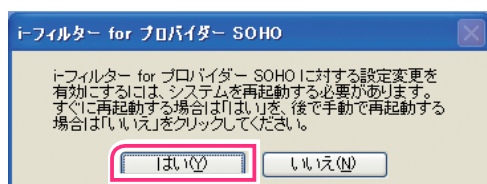
補足

・「i-フィルター」の停止については【「i-フィルター」を停止する】（P.100）をご覧ください。
・ほかのアプリケーションを終了します。

2 Windows のスタートボタンから、［コントロールパネル］をクリック（または［設定］をクリックした後、［コントロールパネル］をクリック）します。

3 ［プログラムの追加と削除］（または［アプリケーションの追加と削除］）をクリック（またはダブルクリック）します。

4 ［i-フィルター for プロバイダー SOHO］をクリックして、［削除］ボタンをクリックします。

5 ［すべてアンインストール］ボタンをクリックします。

- 設定・履歴を残してアンインストールしたい場合は、［設定・履歴を残してアンインストール］ボタンをクリックしてください。
- ［設定・履歴を残してアンインストール］を選択した場合でも、管理パスワードは初期化されます。

6 ［はい］ボタンをクリックします。

- すぐに Windowsを終了させたくない場合は、［いいえ］ボタンをクリックしてください。

Windowsが再起動され、「i-フィルター」のアンインストールが完了します。

付 録

困ったときの解決方法や「i-フィルター」の便利な使い方など、「i-フィルター」についての役立つ情報を記載しています。

Q&A

お客さまからよくいただく質問とその回答を記載しています。困ったときや、「i-フィルター」について知りたいときにご覧ください。

困ったときには（インストール）

インストールに関することで困ったときにお読みください。

Q1. インストールに時間がかかる、インストール終了間際でパソコンを操作できなくなる

A1. 他社セキュリティ対策ソフトが動作しているとインストールに時間がかかるときがあります。
他社セキュリティ対策ソフト上で適切な設定を行ってください。それでも解決しない場合は、
他社セキュリティ対策ソフトを一時的に停止させてください。他社セキュリティ対策ソフトの設定について詳しくは、他社セキュリティ対策ソフトの取扱説明書やヘルプをご覧の上、ご利用のメーカー様にお問い合わせください。

Q2.「シリアル ID が違います」と表示される

A2. シリアルIDを間違えている可能性があります。正しいシリアルIDを必ず半角英数で入力してください。

Q3. ファイアウォール製品などから、警告が表示される

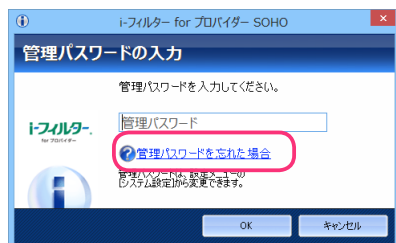
A3.「i- フィルター」は、インストール中および使用中にインターネットに接続する必要があります。
ファイアウォール ※ が警告を表示した場合には、すべて許可・つねに許可にするよう設定してください。

※ 一般的なウイルス対策製品には、ファイアウォールの機能が含まれています。

困ったときには（管理パスワード）

Q4. 管理パスワードを忘れてしまった

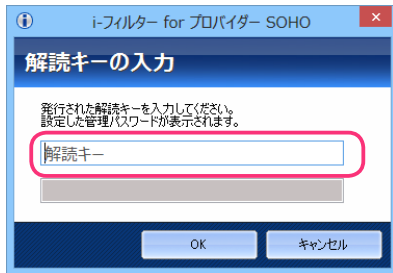
A4. 管理パスワードを忘れた場合、「解読キー」を入手することで、設定済みの管理パスワードを表示できます。
ご契約のサポート窓口へ、問い合わせをしてください。

① 管理パスワードの入力画面で［管理パスワードを忘れた場合］をクリックしライセンス情報を確認します。

② サポート窓口へお問い合わせをして、「解読キー」の連絡があるまでお待ちください。

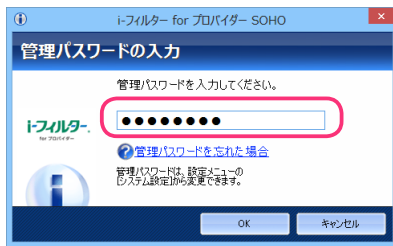
• 解読キーには、有効期限があります。有効期限内に以下の手順を行ってください。

③ 通知領域（タスクトレイ） の をクリックして、［サポート］ →［解読キーの入力］ をクリックします。

付録

④ ［解読キーの入力］に手順 2で発行された解読キーを入力して、[OK] ボタンをクリックします。

⑤ 管理パスワードが表示されます。

・管理パスワードは、忘れたりほかの利用者に知られないよう大切に保管してください。

⑥ 管理パスワードの入力画面に、表示された管理パスワードを入力します。

Q5.「管理パスワードが不正です」と表示される

A5. 管理パスワードを大文字で入力している可能性があります。正しい管理パスワードを入力してください。
管理パスワードはアルファベットの大文字・小文字が区別されます。キーボードの CapsLock 機能がオンになっていないか確認してください。

・CapsLock機能とは、入力する英字の大文字・小文字を切り替える機能のことです。
キーボードの[CapsLock] キーを押すたびに、機能のオン／オフが切り替わるようになっていて、
オフの状態では小文字が、オンの状態では大文字が入力されます。

困ったときには（起動・停止）

「i-フィルター」の起動／終了に関することで困ったときにお読みください。

Q6. Windows 起動時に「i- フィルター」が起動されない

A6. Windows 起動時に「i- フィルター」が自動起動するように設定しないと、Windows 起動時に「i- フィルター」は起動されません。セキュリティのため「i- フィルター」を自動起動する設定をするようお勧めします。
詳しくは、【自動的に起動する／しない】(P.95) をご覧ください。

Q7.「i-フィルター」を停止できない

A7. 起動中の「i- フィルター」は、常駐動作しています。「i- フィルター」の設定画面を閉じた状態では、「i- フィルター」は停止していません。「i- フィルター」の停止方法について詳しくは、【「i- フィルター」を停止する】(P.100) をご覧ください。

困ったときには（フィルタリング）

フィルタリングに関することで困ったときにお読みください。

Q8. フィルターを解除したい

A8. 以下の3 つの方法があります。いずれかを行ってください。

・フィルター機能をオフにする

フィルター機能をオフにしている間は、フィルタリングされません。詳しくは、【「i-フィルター」をオフにする】（P.10）をご覧ください。

・いつもフィルター OFF に設定する

いつもフィルター OFFにすれば、フィルタリングされません。ただし、インターネットタイマーと個人情報保護機能を有効にできます。詳しくは、【個人情報を守りつつインターネットのアクセスを許可する】（P.24）をご覧ください。

・「i-フィルター」を停止する

「i-フィルター」を終了すれば、フィルタリングされません。詳しくは、【「i-フィルター」を停止する】（P.100）をご覧ください。

Q9. ブロックしたいサイトが表示されてしまう

A9. 以下の理由が考えられます。

・フィルター機能がオフになっている

フィルターを設定しても、フィルター機能をオンにしないと、フィルタリングされません。「i-フィルター」がオンになっていることをご確認ください。詳しくは、【「i-フィルター」をオンにする】（P.10）をご覧ください。

・すべてのサイトにアクセスできるよう設定されている

フィルター強度設定で［いつもフィルター OFF］が設定されていると、フィルタリングはされません。
詳しくは、【個人情報を守りつつインターネットのアクセスを許可する】（P.24）をご覧ください。

・見せて良いサイト、ホワイトリストの登録方法が間違っている

見せて良いサイト、ホワイトリストでは、登録された URLの部分的に一致するサイトを表示許可します。
見せて良いサイト、ホワイトリストに「http://」などを登録してしまうと、ほとんどすべてのサイトが表示されます。
見せて良いサイトについて詳しくは、【見せて良いサイトを登録する（許可 URL）】（P.25）をご覧ください。
ホワイトリストについて詳しくは、【登録したサイトだけを見せる（ホワイトリスト）】（P.70）をご覧ください。

・ブラウザーのキャッシュが残っている

ブラウザーのキャッシュが残っていると、キャッシュが表示されることがあります。キャッシュを削除することをお勧めします。一時的には、キーボードの［Ctrl］キーを押しながら［F5］キーを押して、ページを更新できます。

【ブラウザー（Internet Explorer）のキャッシュの削除方法】

① Internet Explorerの［ツール］→［インターネットオプション］をクリックします。

② インターネットオプション画面の［全般］で、以下のいずれかの操作を行います。

＜ Inernet Explorer 8、9、10、11 の場合＞

［閲覧の履歴 ］の ［削除 ］ボタンをクリックし、［インターネット一時ファイル ］のチェックボックスにチェックをつけ、［削除 ］ボタンをクリックします。

＜ Inernet Explorer 7 の場合＞

［閲覧の履歴］ の［削除］ ボタンをクリックし、［インターネット一時ファイル］ の［ファイルの削除］ ボタンをクリックして、さらに［はい］ ボタンををクリックします。

＜ Inernet Explorer 6 の場合＞

［インターネット一時ファイル］ の［ファイルの削除］ ボタンをクリックして、さらに［OK］ をクリックします。

・不正な操作が行われた可能性がある

「i-フィルター」に対して不正な操作が行われた可能性がある場合に、不正操作時の設定が無効に設定されていると、フィルタリングされません。不正操作時の設定を有効にすることで、すべてのサイトをブロックするか設定できます。
詳しくは、【不正な操作時の設定をする（不正操作時の設定）】（P.77）をご覧ください。

・ARS サーバーに接続できない

ARSサーバーに接続できないときは、フィルタリングされません。
接続失敗時の設定を有効にすることで、すべてのサイトをブロックするか設定できます。
詳しくは、【ARSサーバー接続に失敗したときの設定をする（接続失敗時の設定）】（P.78）をご覧ください。

・シリアル ID が利用不可である

利用可能なシリアルIDでないと「i-フィルター」の機能をお使いになれません。詳しくは、までご確認ください。

・フィルターデータに登録されていない

上記可能性のどれにも該当しない場合は、フィルターデータに登録されていない可能性があります。
【「i-フィルター」を今すぐ更新する】（P.92）をご覧になり、フィルターデータを更新してください。
「i-フィルター」のフィルターデータは、世界のメディアに関する研究成果に基づいた高い精度を誇っていますが、すべてのサイトをフィルタリングできるわけではありません。万が一、お客さまにとって有害と思われるサイトが見えてしまったら、大変お手数ですが、弊社ホームページにアクセスしてください。フィルターデータ追加修正依頼フォームから該当サイトの URLをご指摘いただければ幸いです。当社の格付け基準と照合し、フィルタリングの強化に反映させていただきます。また、見せたくないリストに登録いただければ、該当サイトはすみやかにフィルタリングされます。詳しくは、【見せたくないサイトを登録する (禁止 URL)】（P.30）をご覧ください。

Q10. 表示されるはずのサイトがブロックされてしまう。

A10. 以下の理由が考えられます。

- **見せたくないサイトの登録方法が間違っている**

  見せたくないサイトとして URLが登録されると、その URLが部分的に一致するサイトをブロックします。
  見せたくないサイトとして「http://」などを登録してしまうと、ほとんどすべてのサイトがブロックされます。
  見せたくないサイトについて詳しくは、【見せたくないサイトを登録する (禁止 URL)】(P.30)をご覧ください。

- **ホワイトリスト機能を有効にしている**

  ホワイトリストの機能が有効になっていると、フィルター強度設定、見せたくないサイト、見せて良いサイト、検索結果フィルター、単語フィルター、ページスキャン、PICSフィルター、ダウンロード禁止は、無効になります。
  ホワイトリスト機能を使わずフィルタリングするには、ホワイトリスト機能を無効にする必要があります。
  ホワイトリスト機能について詳しくは、【登録したサイトだけを見せる(ホワイトリスト)】(P.70)をご覧ください。

- **不正な操作が行われた可能性がある**

  ブラウザーに「Service Unavailable」と表示される場合には「i-フィルター」に対して不正な操作が行われた可能性があり、すべてのサイトがブロックされます。詳しくは、【不正な操作時の設定をする(不正操作時の設定)】(P.77)をご覧ください。この場合には、「i-フィルター」を停止した後、「i-フィルター」を起動してください。
  または、パソコン(OS)を再起動してください。詳しくは【「i-フィルター」を停止する】(P.100)、
  【「i-フィルター」を起動する】(P.101)をご覧ください。

- **ARS サーバーに接続できない**

  ARSサーバーに接続できないときに、接続失敗時の設定が有効に設定されていると、すべてのサイトがブロックされます。詳しくは、【ARSサーバー接続に失敗したときの設定をする(接続失敗時の設定】(P.78)をご覧ください。

Q11. ブラウザーにサイトは表示されるが、一部灰色で表示される部分がある。

A11. 「i-フィルター」では画像(バナーなど)に対してもフィルター機能が動作し、ブロックすることができます。
画像がブロックされた場合、画像部分が灰色で表示されます。

Q12. ブロック画面にブロックされた理由が表示されない。

A12. ブロック画面にブロックされた理由を表示させるには、以下の条件を満たすブロック画面を設定している必要があります。

- **ブロック画面 1・2 のいずれかを選ぶ**

  ブロックした理由を表示するよう設定している([ブロックした理由を表示する]にチェックマークがついている)
  ブロック画面の設定方法は、【ブロック画面の設定をする(ブロック画面)】(P.66)をご覧ください。

Q13. [フィルター強度設定] ボタン、[見せたくないサイトを登録する] ボタン、[見せて良いサイトを登録する] ボタンのほか、詳細設定画面でいくつかのボタンがグレーで表示されてクリックできない。

A13. 以下のいずれかの設定がされていると、上記のボタンはグレーで表示されて操作できなくなります。

- いつもフィルター OFF の設定をしている

  いつもフィルターOFFを設定すると、インターネットタイマーと個人情報保護機能以外のフィルターはすべて無効となります。
  フィルター強度設定画面でカテゴリセットを選ぶと、グレー表示されていた箇所が通常の表示にもどり、設定ができるようになります。フィルターを設定する手順については、
  【フィルターを設定する】(P.9)、【フィルター強度を設定する】(P.21)をご覧ください。

- **ホワイトリスト機能を有効にしている**

  ホワイトリスト機能とは、ホワイトリストに登録したサイトだけにアクセスできるフィルターです。
  インターネットタイマー、個人情報保護、ブロック画面設定以外のフィルター設定は、すべて無効となります。
  ホワイトリスト機能を無効にすると、グレー表示されていた箇所が通常の表示にもどり、設定ができるようになります。
  ホワイトリスト機能の操作方法については、【登録したサイトだけを見せる(ホワイトリスト)】(P.70)をご覧ください。

困ったときには（警告・表示）

表示に関することで困ったときにお読みください。

Q14. インストール中にファイアウォール製品などから、警告が表示されました。

A14.「i- フィルター」は、インストール中および使用中にインターネットに接続する必要があります。ファイアウォール製品が警告を表示した場合、下記の名称については、すべて許可・つねに許可にするように設定をしてください。

※「i- フィルター for」ではじまるすべてのソフトウェア（プログラム）、aeGC(.exe)、aecontrol_maneger(.exe)、aebigbrother(.exe)、aeudt(.exe) ファイアウォールの設定はファイアウォールの取扱説明書などをご覧の上、ご利用のメーカー様へお問い合わせください。

Q15. バージョンがわからない

A15. バージョン情報を見る方法については、【バージョン情報を見る】（P.99）をご覧ください。

教えて！「i-フィルター」

「i-フィルター」について詳しく知りたいときにお読みください。

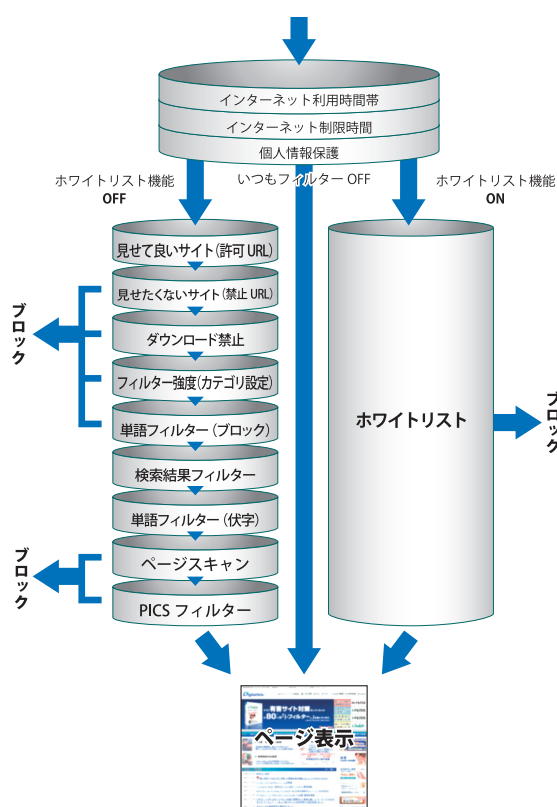
Q16. フィルタリングって何？

A16. 「i- フィルター」では、インターネット上のホームページの内容を判別して、表示を許可したりブロックしたりすることをフィルタリングと呼んでいます。

Q17. どのような項目をフィルタリングしているの？

A17. 弊社が分類したカテゴリに該当するサイトにフィルタリングします。そのサイトがどのカテゴリに属し、どの強度に該当するのかという格付け基準は、各国のメディアに関する研究結果や事例などを踏まえ、デジタルアーツ株式会社が独自に定めたものを使っています。詳しくは、【フィルターのカテゴリ一覧】（P.124）をご覧ください。

Q18. 複数のフィルターの設定ができる「i- フィルター」、フィルタリングする順番は？

A18. 「i-フィルター」では、サイトをブロックするフィルターとサイトを表示するフィルター（ホワイトリスト）を同時にかけることはできません。ホワイトリスト機能を有効にすると、インターネットタイマーと個人情報保護以外のすべてのフィルターは無効となります。「i-フィルター」でフィルタリングする順番は、以下のとおりです。

Q19. 規制対象サイトはいつどのように更新されるの？

A19. どのサイトをフィルタリングするのかを決めているのは、フィルターデータです。「i- フィルター」のフィルターデータは、日本語・英語・中国語圏の専任スタッフが完全目視で随時収集・強化しています。

Q20. インターネットを使っていないときに「i- フィルター」を起動したらどうなるの？

A20. インターネットを使っていないとき、または接続していないときに、「i-フィルター」を起動しても、何も起こりません。また動作に問題は起こりません。インターネットに接続されると、フィルタリングを行います。

Q21. 管理パスワードを設定しなくても使えるの？

A21. 管理パスワードは設定しなくても使えますが、セキュリティ上設定することをお勧めします。

Q22. インターネットを使う制限時間（インターネットタイマー）はどのようにカウントされているの？

A22. インターネット利用タイマーは、ブラウザーを起動してなんらかのサイトに最初にアクセスしたときからカウントが開始されます。また、ブラウザーを閉じたときにカウントが終了します。
なお、［制限時間のリセット］欄の［リセット］ボタンをクリックしたとき、または
［1 日のインターネット制限時間の設定］で設定時間を再設定したときにカウントされた時間は元にもどります。

Q23. インターネットに接続していない状態でサイトを読んでいる場合（キャッシュに残ったサイトを見ているだけ）もインターネットアクセス時間制限にカウントされますか？

A23. ブラウザーを起動している間は制限時間がカウントされます。

Q24. ゲームのカテゴリを規制しているのに、子どもがゲームで遊んでいるようだ。

A24.「i- フィルター」はインターネットブラウザーを利用するときにフィルタリングを行います。
ソフト自体の動作やブラウザーを利用しないソフトの通信は遮断できません。

Q25.「i-フィルター」の機能をオフにすることと、いつもフィルター OFF はどう違うの？

A25.『「i- フィルター」をオフ』は、［OFF］ボタンをクリックして設定します。フィルターの設定は一時的にすべて無効になり、インターネットアクセスや情報発信に制限をかけることができなくなります。
「i- フィルター」を再起動することで再び［ON］になります。
『いつもフィルター OFF』は、フィルター強度設定から［いつもフィルター OFF］ボタンをクリックして設定します。
インターネットタイマー、個人情報の保 護、ブロック画面の設定以外のフィルター設定は無効となります。
「i- フィルター」をオフにする操作は【「i- フィルター」をオフにする】（P.10）、すべてのサイトを見ること許可する設定は【個人情報を守りつつインターネットのアクセスを許可する】（P.24）をご覧ください。

Q26. いつも見たいサイトがブロックされてしまうので、カスタマイズ（変更）したい。

A26. ブロックされている理由（カテゴリ）からそれぞれの内容を確認して設定を変更しましょう。ブロック画面にカテゴリが表示されていない場合には、ブロックしている理由を表示するように設定を変更してください。
詳しくは【ブロック画面にオリジナルのコメントを設定する】（P.69）をご覧ください。

- **書き込みブロック**

  特定のサイトのみブロックしたくない場合は、見せて良いサイトとして登録してください。
  詳しくは、【見せて良いサイトを登録する】(P.25) をご覧ください。
  掲示板、ブログ、SNS、チャットなど、コミュニケーションカテゴリ（ウェブメール、ホスティングを除く）に属するサイトへの書き込みを許可する場合は、書き込みブロックを無効にしてください。
  詳しくは、【掲示板・ブログへの書き込みを禁止する】(P.22) をご覧ください。

- **購入ページブロック**

  特定のサイトのみブロックしたくない場合は、見せて良いサイトとして登録してください。
  詳しくは、【見せて良いサイトを登録する】(P.25) をご覧ください。
  ショッピングカテゴリ、または金融・経済カテゴリ（投資情報、不動産を除く）に該当するサイトに属するサイトへの購入操作を許可する場合は、購入ページブロックを無効にしてください。
  詳しくは、【ショッピングを禁止する】（P.23）をご覧ください。

- **見せたくないサイト**

  見せたくないサイトとして登録されていますので、その設定を変更してください。
  詳しくは、【見せたくないサイトを削除する】（P.35）をご覧ください。

- **インターネットタイマー**

  インターネットタイマーで利用可能な時間帯の設定または 1日のインターネット制限時間の設定がされています。
  時間帯を変更する場合は、【インターネットを使う時間帯を制限する】（P.38）をご覧ください。
  制限時間をリセットするときは、【インターネットを使う制限時間をリセットする】（P.40）をご覧ください。

- **個人情報保護**

  直前で入力した文字列が保護する個人情報として登録されていますので、その設定を変更してください。
  詳しくは、【個人情報を守る（個人情報保護）】（P.42）をご覧ください。

- **単語フィルター**

  そのサイトに記載されている単語が見せたくない単語として登録されています。一時的にフィルターをオフにして
  サイトの内容を確認してから、設定を変更してください。詳しくは、【見せて良いサイトを登録する】（P.25）をご覧ください。
  見せたくない単語を伏字表示させたり、単語フィルターを無効にしてください。
  詳しくは、【見せたくない単語を設定する（単語フィルター）】（P.48）をご覧ください。

- **ページスキャン**

  特定のサイトのみブロックしたくない場合は、見せて良いサイトとして登録してください。
  詳しくは、【見せて良いサイトを登録する】（P.25）をご覧ください。
  サイトの内容を自動的に判断してブロックさせたくない場合は、ページスキャンを無効にしてください。
  詳しくは、【サイトの内容を自動的に判断する（ページスキャンの設定）】（P.57）をご覧ください。

- **PICS フィルター**

  PICS ラベルが付いているかどうかで判断してブロックさせたくない場合は、PICSフィルターを無効にしてください。
  詳しくは、【規制信号のあるサイトを見せたくない（PICSフィルター）】（P.58）をご覧ください。

- **ダウンロード禁止**

  ダウンロードしたいファイルの拡張子が登録されていますので、その設定を変更してください。
  詳しくは、【ファイルをダウンロードさせない（ダウンロード禁止）】（P.59）をご覧ください。

- **ホワイトリスト**

  ホワイトリストの設定を変更してください。詳しくは、【ホワイトリストを登録する】（P.71）をご覧ください。

- **ARS サーバー接続失敗**

  ARSサーバーに接続できなかった場合にすべてのサイトをブロックするよう設定されています。
  一時的にフィルターをオフにする場合は、【「i-フィルター」をオフにする】（P.10）をご覧ください。
  ブロックしないように設定を変更する場合は、接続失敗時の設定を無効にしてください。
  詳しくは、【ARSサーバー接続に失敗した時の設定をする（接続失敗時の設定）】（P.78）をご覧ください。

- **カテゴリ名称が表示されている**

  カテゴリの内容については、【フィルターのカテゴリ一覧】（P.124）をご覧ください。
  特定のサイトのみブロックしたくない場合は、見せて良いサイトとして登録してください。
  詳しくは、【見せて良いサイトを登録する】（P.25）をご覧ください。
  表示されているカテゴリすべて見せて良い場合には、設定を変更してください。
  詳しくは、【フィルター強度を設定する】（P.21）をご覧ください。

フィルターのカテゴリ一覧

フィルター強度設定画面でブロックしたいカテゴリにチェックマークを付けて指定すると、フィルターを細かく設定できます。カテゴリにチェックマークをつけると、該当するサイトがブロックされるよう設定されます。
詳しくは、【フィルター強度を設定する】(P.21)をご覧ください。

カテゴリの種類と説明は、以下のとおりです。

カテゴリ		説明
アダルト	性行為・性風俗	過激なヌードや性行為の表現、性風俗店
	ヌード・アダルトグッズ	ヌードの表現、アダルトグッズ
	グラビア	水着・下着姿など露出度の高い姿態の表現
	性教育・性の話題	性の話題、性教育、避妊、性病
犯罪・暴力	グロテスク	過激な暴力などの表現・画像
	犯罪・武器	犯罪テクニック、爆弾、凶器、傷口
	不適切な薬物使用	麻薬・脱法ドラッグ、薬物・健康食品の乱用促進や個人輸入代行
	カルト・テロリズム	テロ組織・カルト集団、破壊活動に関わったとされる団体の情報
コミュニケーション	出会い	出会い系サイト、メル友募集、恋愛・結婚の斡旋
	掲示板	掲示板、掲示板専用レンタルサーバー
	ブログ	ブログ、ブログ専用レンタルサーバー
	SNS	会員同士のつながりを促進するコミュニティサイト
	会員向け掲示板	会員向け Q&A型コミュニティサイト
	ソーシャルブックマーク	インターネットを介したブックマーク共有サービス
	ウェブメール	ブラウザーでのメール送受信、メール転送サービス
	チャット	チャット、チャット専用レンタルサーバー
	メールマガジン	メールマガジン配信サイト
	ホスティング	個人ホームページスペース、ホスティング・レンタルサーバー
エンターテイメント	芸能	芸能プロダクション、タレント公式サイト・ファンサイト、芸能ニュース
	映画・演劇	映画製作・配給会社、作品、劇団、映画俳優
	音楽	音楽レーベル、アーティスト公式サイト・ファンサイト、楽曲販売、歌詞検索
	TV・ラジオ	放送局、番組
	漫画・アニメ	漫画家公式サイト、作品、ウェブ漫画、漫画ダウンロード販売
	動画・音楽配信	インターネットラジオ、インターネット TV、動画・音楽配信
	ゲーム	ゲーム会社公式サイト、ゲーム情報、ブラウザーゲーム
	スポーツ	競技団体・スポーツメーカー・選手公式サイト、スポーツニュース
	占い・超常現象	占い、UFO、心霊現象、都市伝説
ショッピング	ショッピング	ショッピングサイト、商品情報検索・比較
	オークション	ネットオークション
	コンピューター用品	パソコンメーカー直販サイト
	オフィス用品	オフィス用品メーカー直販サイト
不正 IT技術	不正アクセス技術	ハッキング・クラッキングの技術
	ウイルス技術情報	ウイルスやスパイウェアなどのプログラム配布・製作技術
	違法ソフト・反社会行為	違法ソフトウェアコピー、シリアル配布などの権利侵害行為、フィッシング詐欺
	クラッシャーサイト	ブラウザーを介してパソコンに悪影響を及ぼすサイト
地域	旅行・観光	旅行・観光情報、旅行代理店
	タウン情報	地域ポータル、地域限定の情報検索サイト
	アミューズメント施設	遊園地、遊戯場、テーマパーク、多目的施設
	旅客鉄道	公共交通機関、道路港湾施設、交通運行情報
	グルメ	飲食店情報紹介・検索
仕事	求人	求人情報サイト、再就職支援、人材派遣

カテゴリ		説明
金融・経済	投資情報	金融・株式・投資商品の紹介、取引のアドバイス
	オンライントレード	オンライン金融商品取引
	消費者金融	オンラインキャッシング、カードローン、銀行・信販系の個人向け金融
	インターネット銀行	インターネット銀行、オンラインでの銀行取引
	不動産	不動産物件の賃貸・販売情報
ギャンブル	ギャンブル	競馬・競輪・競艇・オンラインカジノ・パチンコ、その他の賭博行為
	懸賞・くじ	宝くじ・ナンバーズ・ロトくじ、懸賞サイト（期間限定は除く）
アルコール・タバコ	アルコール・タバコ	タバコ・酒造メーカー、成人嗜好品
情報サービス	ニュース	ニュースサイト、ニュース検索
	ポータル	総合情報サイト
	検索エンジン	ウェブ検索サービス
	画像・動画検索エンジン	画像・動画・音声ウェブ検索サービス
ツール	総合ソフトウェアダウンロード	ソフトウェア紹介・配布総合サイト
	オンラインストレージ	インターネットを介したファイル保存サービス
	アップローダー	不特定多数ユーザーでのファイル共有サイト、ファイル共有ソフトウェア情報
	ウェブ翻訳・URL変換	ウェブサイト翻訳
	匿名アクセス・プロキシ	プロキシサーバー、匿名メール発信、匿名化を目的としたアクセス中継
宗教	宗教	宗教団体（宗教法人・連合・連盟）及び、神社・寺院などの宗教施設サイトや宗教信仰・宗教理念・活動内容など詳細に紹介しているサイト（※破壊活動に関与した宗教団体は対象外）
主張	誹謗・中傷	誹謗、中傷、糾弾、差別
	主張	個人的嗜好、対立を招く恐れのある表現
	いたずら	下品な表現、ドッキリ、カンニング
行政・教育	政府・自治体	政府・自治体の運営するサイト
	学校・教育施設	学校・公的教育機関の運営するサイト
	軍事・防衛関連	国軍などの公的な軍事・防衛組織、軍事・防衛産業企業の公式サイト
その他	緊急	緊急性・事件性の高いサイト
	特殊	今あるほかのカテゴリに属さない話題性・フィルタリング需要の高いサイト

用語集

「i-フィルター」で使う用語を説明しています。

■ ARS（Active Rating System/ アクティブレイティングシステム）
【i-フィルターとは】（P.1）をご覧ください。

■ PICS
PICS（自主規制信号）とは、サイト作成者がそのサイト内に自主的に発信している規制信号のことです。

■ PICS フィルター
【規制信号のあるサイトを見せたくない（PICSフィルター）】（P.58）をご覧ください。

■ URL
インターネット上の情報がどこにあるかを表すものです。サイトにアクセスするには、URLを指定します。

■ ウェブサイト（サイト）
ひとまとまりに公開されているウェブページの集まりやそのインターネット上での場所のことを指します。

■ ウェブページ
インターネット上で公開されている文書のことです。
ウェブブラウザーに 1度に表示されるデータのまとまりのことを指します。

■ Windows アカウント
Windows のユーザーアカウントのことです。
ユーザー アカウントを使うと、そのパソコンを使う人それぞれが、個別のファイルを保存したり、
見た目などのさまざまな設定を個別に持つことができます。

■ Windows アカウント連携
【「i-フィルター」の利用者とは】（P.13）、【新しい利用者をつくる】（P.13）をご覧ください。

■「アクセス禁止」画面
【ブロック画面の設定をする（ブロック画面）】（P.66）をご覧ください。

■ インターネットタイマー
【インターネットを使う日時を制限する（インターネットタイマー）】（P.36）をご覧ください。

■ 解読キー
【困ったときには（管理パスワード）】（P.117）をご覧ください。

■ 書き込みブロック
【掲示板・ ブログへの書き込みを禁止する】（P.22）をご覧ください。

■ 拡張子
ファイルの種類を示す文字です。ファイル名の最後についている「.」（ドット）の後の文字が拡張子に当たります。
例えば「.txt」（テキストファイル）や「.jpg」（画像ファイル）などがあります。

■ カテゴリ
【フィルター強度を設定する】（P.21）、【フィルターのカテゴリ一覧】（P.124）をご覧ください。

■ かんたんナビゲーション
【かんたんナビゲーションで操作がすぐわかる】（P.11）をご覧ください。

■ 管理パスワード
【「i-フィルター」設定用の管理パスワードを変える】（P.94）、【困ったときには（管理パスワード）】（P.117）を
ご覧ください。

■ 既定で起動する利用者
【起動時の利用者を選ぶ】（P.17）をご覧ください。

■ キャッシュ

キャッシュ（一時ファイル）とは、ウェブブラウザーで1度表示したサイトをパソコンに一時的に蓄えておくことです。これによって、次から同じサイトを表示するときにインターネット上にあるサイトではなくパソコンの中の一時ファイルを読み込むことで表示を速くすることができます。代表的なウェブブラウザーでは、このような機能を標準で持っています。

■ 検索結果フィルター

【見せたくないサイトを検索結果に表示させない（検索結果フィルター）】（P.47）をご覧ください。

■ 購入ページブロック

【ショッピングを禁止する】（P.23）をご覧ください。

■ 個人情報

個人を識別できる情報のことです。氏名、住所、電話番号、生年月日は基より、勤務先や所属学校名、
クレジットカード番号など複数の情報を組み合わせれば個人を識別できる情報も個人情報に当たります。

■ 個人情報保護

【個人情報を守る（個人情報保護）】（P.42）をご覧ください。

■ シリアル ID

【バージョン情報を見る】（P.99）をご覧ください。

■ 設定画面

【設定画面を表示する】（P.7）をご覧ください。

■ ダウンロード

ダウンロードとは、インターネットなどから自分のパソコンに情報を取り寄せ、ファイルに保存することです。
ダウンロード（Download）は、略して DLと表記されることもあります。

■ 通知領域（タスクトレイ）

通常、Windowsのデスクトップ画面右下に表示される場所のことです。
時刻表示や Windows上でつねに動いているソフトウェア（プログラム）のアイコンが表示されています。

■ データ更新

【「i-フィルター」を最新の状態にする（データ更新）】（P.91）をご覧ください。

■ 認証

シリアル IDが有効かどうか、ライセンスを管理しているサーバーに確認することです。

■ バージョン情報

【バージョン情報を見る】（P.99）をご覧ください。

■ ファイアウォール

ファイアウォール（防火壁）とは、インターネット（外部）からパソコンなど（内部ネットワーク）への不正な
アクセスを防ぐためのものです。

■ フィルター ON/OFF

【フィルターをオン／オフする】（P.10）をご覧ください。

■ フィルターデータ

【「i-フィルター」を最新の状態にする（データ更新）】（P.91）をご覧ください。

■ フィルター強度（カテゴリセット）

【フィルターを設定する】（P.9）をご覧ください。

■ 伏字

【見せたくない単語を伏字にする】（P.48）をご覧ください。

■ プロキシ（プロキシサーバー）

企業など、直接インターネットに接続できないコンピューターの「代理」としてインターネット接続を行う機器または、ソフトウェアのことです。ご家庭では必要ありません。

■ プログラムデータ

【「i-フィルター」を最新の状態にする（データ更新）】（P.91）をご覧ください。

■ ブロック

【ブロック画面の設定をする（ブロック画面）】（P.66）をご覧ください。

■「ページが見つからない」画面

【ブロック画面の設定をする（ブロック画面）】（P.66）をご覧ください。

■ ページスキャン

【サイトの内容を自動的に判断する（ページスキャンの設定）】（P.57）をご覧ください。

■ ホスト名

ネットワークに接続されたコンピューターを識別しやすいようにつける名前のことです。
例えば「http://www.daj.jp/ask/」という URLの場合には「www.daj.jp」がホスト名になります。

■ ホワイトリスト

【登録したサイトだけを見せる（ホワイトリスト）】（P.70）をご覧ください。

■ 見せたくないサイト

【見せたくないサイトを登録する（禁止 URL）】（P.30）をご覧ください。

■ 見せて良いサイト

【見せて良いサイトを登録する（許可 URL）】（P.25）をご覧ください。

■ ライセンス情報

【バージョン情報を見る】（P.99）をご覧ください。

■ 利用者

【利用者について】（P.13）をご覧ください。

■ 履歴

【インターネット利用状況を知ろう】（P.80）をご覧ください。

お問い合わせ

お困りのときに、【Q&A】（P.117）や製品のサポート情報をご覧になっても解決できないときは、サポート窓口にお問い合わせください。

■ お問い合わせの際にご用意いただくもの

サポート窓口にご連絡いただく前に、あらかじめ以下の項目について確認し、お伝えいただくと、的確な調査や回答を行いやすくなります。このページを印刷して以下のメモ欄に書き込んでいただき、ご活用ください。

<table>
<tr><th colspan="2">ご用意いただくもの</th><th>メモ</th></tr>
<tr><td colspan="2">「i-フィルター」のシリアル ID
（例：ABCDEFGH @IJKLMN）</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">パソコンのメーカー名／機種名
（例：A 社製 PC-123）</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">お使いの Windows のバージョン
（例：Windows Vista Home Premium）</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">お使いのブラウザーの名前とバージョン
（例：Internet Explorer 7）</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">具体的なお困りの症状
（エラー発生日、エラーメッセージなど）</td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="3">「i-フィルター」のバージョン
※ バージョンの確認方法について詳しくは、【バージョン情報を見る】（P.99）をご覧ください。</td><td>プログラムバージョン</td><td></td></tr>
<tr><td>サービスコード</td><td></td></tr>
<tr><td>最終認証日時</td><td>年　月　日　時　分　秒</td></tr>
</table>

■ お問い合わせ

ご契約の サポート窓口までお問い合わせください。

付録